

(受資活 7 - 1)

本庁舎洋式トイレ温水洗浄機能化改修工事

図番	図 面 名 称	縮 尺	図番	図 面 名 称	縮 尺	図番	図 面 名 称	縮 尺
A-00	図面リスト	――	M-01	機械設備工事特記仕様書 -1	――	E-01	電気設備工事特記仕様書 -1	――
A-01	共通特記仕様書	――	M-02	機械設備工事特記仕様書 -2	――	E-02	電気設備工事特記仕様書 -2	――
A-02	建築改修工事特記仕様書 -1	――	M-03	凡例・衛生器具表 他	――	E-03	照明器具姿図	――
A-03	建築改修工事特記仕様書 -2	――	M-04	1 階平面図	1/200	E-04	1 階東 便所平面図	1/100
A-04	建築改修工事特記仕様書 -3	――	M-05	2 階平面図	1/200	E-05	1 階西 便所平面図	1/100
A-05	建築改修工事特記仕様書 -4	――	M-06	3 階、8 階 平面図	1/200	E-06	2 階東 便所平面図	1/100
A-06	建築改修工事特記仕様書 -5	――	M-07	1 階、2 階 東・西 便所平面図	1/50	E-07	2 階西 便所平面図	1/100
A-07	アスベスト対策工事特記仕様書	――	M-08	3 階、8 階 東 バリアフリー便所平面図	1/50	E-08	3 階東 便所平面図	1/100
A-08	付近見取図	1/2500				E-09	8 階東 便所平面図	1/100
A-09	地階平面図 現況・仮設図	1/200				E-10	地階西、3 階西、4 階西 平面図	1/100
A-10	1 階平面図 現況・仮設図	1/200				E-11	5 階西、6 階西 平面図	1/100
A-11	2 階平面図 現況・仮設図	1/200				E-12	分電盤結線図（1）	――
A-12	3 階平面図 現況・仮設図	1/200				E-13	分電盤結線図（2）	――
A-13	4 階、5 階平面図 現況・仮設図	1/200				E-14	分電盤結線図（3）	――
A-14	6 階、8 階平面図 現況・仮設図	1/200				E-15	分電盤結線図（4）	――
A-15	断面図 B-B	1/200				E-16	分電盤結線図（5）	――
A-16	1 階、2 階 東・西 便所現況平面図	1/100				E-17	分電盤結線図（6）	――
A-17	3 階、8 階 東 バリアフリー便所現況平面図	1/100				E-18	分電盤結線図（7）	――
A-18	1 階、2 階 東 便所改修天井伏図 便所・廊下仕上表	1/100				E-19	分電盤結線図（8）	――
A-19	1 階、2 階 西 便所改修天井伏図 3 階、8 階 東 バリアフリー便所改修天井伏図	1/100				E-20	分電盤結線図（9）	――
						E-21	分電盤結線図（10）	――
						E-22	分電盤結線図（11）	――

特記仕様	株式会社 木下建築設計事務所 611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹生	製図年月日 R07.01			工事名称 本庁舎洋式トイレ温水洗浄機能化改修工事	縮尺	図面番号
		訂正年月日					No A-00 号図
		監修	設計	製図	図面名称 図面リスト		枚ノ内

[illegible]

2

⑤ 工事用水

⑥ 工事用電力

⑦ 仮囲い等

8 設計G L

仮設工事

2

1 埋め戻し及び盛土 (3.2.3)

2 建設発生土の処理 (3.2.5)

3 鉄筋の種類 (5.2.1)

4 溶接金網 (5.2.2)

5 コンクリートの種類 (6.2.1)

6 コンクリートの強度 (6.2.2) (6.2.4) (6.10.2) (6.14.1)

7 セメントの類別 (6.3.1)

8 骨材 (6.3.1)

9 混和材料 (6.3.1)

土・鉄筋・コンクリート工事

2

10 構造体強度補正值 (6.3.2)

11 コンクリートの試験 (6.9.2) ~ (6.9.5)

12 軽量コンクリート (6.10.1) ~ (6.10.3)

13 寒中コンクリート (6.11.1)

14 暑中コンクリート (6.12.2)

15 ｺﾝｸﾘｰﾄﾐﾅｰ車の過積載防止対策等

土・鉄筋・コンクリート工事

3

1 既存防水の処理 (3.1.4) (3.2.3) ~ (3.2.5)

2 既存下地の処理 (3.2.6)

3 アスファルト防水 (3.3.2) ~ (3.3.5)

防水改修工事

3

4 改質アスファルトシート防水 (3.4.2) ~ (3.4.4)

5 合成高分子系ﾒｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ防水 (3.5.2) ~ (3.5.4)

防水改修工事

3

6 塗膜防水 (3.6.2) ~ (3.6.3)

7 漏水試験

8 保証書

9 施工標識

10 シーリング (3.1.4) (3.7.2) ~ (3.7.8)

11 とい(雨水)

防水改修工事

3

接着工法の場合で、P Cｺﾝｸﾘｰﾄ部材下地の場合
目地処理 図示による
入隅部の増張り (S - F 1、S I - F 1 の場合) 図示による
絶縁用ｼｰﾄ及び可塑削形防止用ｼｰﾄ 発泡ﾎﾟﾘｴﾃﾝｼｰﾄ
仕上げ塗料 ｶｰｼﾙﾊﾞｰ
脱気装置 (絶縁工法) 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所/㎡)
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定めること。
固定金具の材質及び寸法形状
防錆処理した鋼板、ｽﾃｰﾝｽﾃｰﾝ鋼板又はそれらの片面若しくは両面に樹脂を積層加工した鋼板で、厚さ0.4mm以上のもの
種 別 及 び 工 程
防水層 施工箇所 仕上塗料
種類 使用量
P O X 工法 X-1 X-2
X-1H X-2H 表3.6.1
L 4 X 工法 X-1 X-2
X-1H X-2H 表3.6.2
P 1 Y 工法 Y-2 表3.6.3
P 2 Y 工法
脱気装置 (X-1) 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所/㎡)
保護層 設ける 設けない
水張り試験を行う (屋内 屋外)
受注者、防水施工業者、防水材料メーカーの連名による保証書を提出すること。
(保証年限は工事項目の物引渡しより10年間以上とする。)
工事完了後に監督職員の指示する位置へ取り付ける。
材質 真鍮製エッチング仕上 150×100
設置数量 () 箇所
シーリング材の種類 改修標尺 表3.7.1による
シーリング改修工法及び施工箇所
改 修 工 法 の 種 別 施 工 箇 所
シーリング充填工法
シーリング再充填工法
拡張シーリング再充填工法
ブリッジ工法
仕上げを行わない施工箇所 (図示による)
目地寸法 コンクリートの打継ぎ目地及びびり割れ誘発目地
幅20mm以上、深さ10mm以上
ガラス回りの目地
幅5mm以上、深さ5mm以上
その他の目地
幅10mm以上、深さ10mm以上
シーリングの試験 簡易接着性試験 (部位)
引張接着性試験 (部位)
外とい(外気に接するとい)
ルーフトレン ルーフトレン (JCW 301)
取付け
水はけ良く、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する
軒どい 硬質塩化ビニル製 (角形) (前高) 巾120mm
(カラー) 巾150mm
たてとい 硬質塩化ビニル管 (VP) (カラー) 径 75mm
谷どい
とい受け金物、足金物 改修標尺 表 3.8.2 により溶融亜鉛めっきを行ったもの
多雪地域の軒といの取付間隔 0.5m 以下

特記仕様

株式会社 木下建築設計事務所

611-0026 京都府宇治市開町37-10
TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080

一級建築士登録 第125477号
細 野 幹 生

製図年月日 R07.01
訂正年月日
監修 設計 製図
工事名称 本庁舎洋式トイレ温水洗浄機能化改修工事
図面名称 建築改修工事特記仕様書-2
縮尺
図面番号 No A-03 号図
枚ノ内

5

建具改修工事

15

自閉式上吊り引戸装置
(5.10.3)

16

重量シャッター
(5.11.2)～(5.11.4)

17

軽量シャッター
(5.12.2)～(5.12.4)

18

オーバーヘッドドア
(5.13.2)～(5.13.4)

19

ガラス
(5.14.2)～(5.14.4)

引き戸用検出装置性能値
改修標仕 表5.9.3による

放射無線周波数電磁界耐性

耐電圧

防 錆

防 滴

電 源

戸の開閉方式

建具表による

引き戸検出装置の種類

表 5.9.4 () による

建具表による

タッチスイッチの種類

無線式タッチスイッチ

光線式タッチスイッチ

車椅子使用者用便房

大形押しボタンスイッチ

非接触スイッチ

凍結防止措置

行う

性能値等の区分

(表5.10.1)

適用戸の総質量(kg)

40以下

40を超えるもの

手動開き力(N)

15以下

20以下

手動開じ力(N)

15以下

20以下

性能等

品質・規格

種 類

管理用シャッター (シャッターケース 設ける)

耐風圧強度 ()

外壁用防火シャッター (シャッターケース 設ける)

耐風圧強度 ()

屋内用防火シャッター (シャッターケース 設ける)

屋内用防煙シャッター (シャッターケース 設ける)

外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度

Pa

開閉方式

電動式 (手動併用)

電動式シャッターには安全装置を設ける

設置箇所

図示による

スラット及びシャッターケース用鋼板

材 質

めっきの付着量

JIS G 3302

Z12又はF12を満足するもの

JIS G 3312

Z12又はF12を満足するもの

開閉方式

電動式 (手動併用)

電動式シャッターには安全装置を設ける

設置箇所

図示による

耐風圧強度

Pa

スラット

材 質

めっきの付着量

形 状

JIS G 3312

Z06又はF06を満足するもの

インターロッキング形

JIS G 3322

A290を満足するもの

オーバーラッピング形

セクション材

スチールタイプ

アルミニウムタイプ

アルミ-ガラスタイプ

耐風圧性能

Pa

開閉方式

バラン式

チェーン式

電動式

電動式シャッターには安全装置を設ける

設置箇所

図示による

収納形式

スタンダード形

ローヘッド形

ハイリフト形

バーチカル形

ガイドレール等

溶融亜鉛めっき鋼板

ステンレス鋼板

20

ガラス留め材
(5.14.2)

21

ガラスブロック
(5.14.5)

22

木製建具
(5.7.2)～(5.7.4)

23

ポリカーボネイト樹脂板

建 具 の 種 類

材 質

アルミニウム製

シーリング材(SR-1)

グレイジングチャンネル

樹脂製

グレイジングチャンネル

鋼製・鋼製軽量・ステンレス製

シーリング材(SR-1)

パテ 1種

2種

木製

パテ (木製用)

防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。

防音仕様、断熱仕様及び耐震仕様については図示による。

寸 法 (mm)

厚 さ (mm)

色 調

パター ン

防 火 認 定

x

図示

クリア

か- ()

なし

品質規格はJIS A5212 による

建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定めること。

壁用金属枠及び補強材

材 質

SUS304

寸法・形状

径5.5mmのはしご形状複筋及び単筋

シーリング

表3.7.1による

SR-1

PS-1

化粧目地モルタルの色

白

グレー

金属製化粧カパー

材質

SUS304

寸法・形状

図示による

目地幅の寸法

平積みの場合

8mm以上、15mm以下

曲面積みの場合

外側15mm以下、内側6mm以上

(曲率半径はガラスブロックの幅寸法の 1 0 倍以上)

伸縮調整目地の位置

6m以下ごとに幅10 ～ 25mmの伸縮調整目地を設ける。

建具材の加工、組立時の含水率の種別

A 種

B 種

代用樹種の適用

可

不可

接着剤のホルムアルデヒド放散量

F

フラッシュ戸

表面材のホルムアルデヒド放散量等

改修標仕5.7.2(2)(イ)(a)による

表面材の合板の種類

合板の種類

規 格 等

備 考

普通合板

表面の樹脂

板面の品質 (広葉樹 1 種)

接着の程度 (1 種 2 種)

天然木化粧合板

樹種名 ()

接着の程度 (1 種 2 種)

特殊加工化粧合板

化粧加工の方法

プリント

ポリエステル化粧合板

メラミン化粧合板

接着の程度 (1 種 2 種)

MDF

表面板の厚さ

図示による

(表5.7.6)

引き戸の召合せかまちのいんろう付きの適用

適用しない

適用する

かまち戸

かまち樹種 ()

鏡板樹種 ()

見込み寸法

36mm

ふすま

張りの種別

型

型

上張り (押入等の裏側以外)

鳥の子

新鳥の子又はビニル紙程度

見込み寸法

19.5mm

戸ぶすま

表面板の仕上

図示による

見込み寸法

30mm

紙張り障子

見込み寸法

30mm

種類

厚さ

mm

揮発性有機化合物対策

(6.5.2)～(6.5.4)

(6.8.2)(6.9.2)

(6.10.2)(6.11.2)

(6.11.4)(6.11.5)

(6.13.2)(6.14.2)

(6.16.4)(9.5.3)

(9.5.4)

2

他の部分との
取り合い等

(6.1.3)

3

既存床の撤去等

(6.2.2)

4

既存壁の撤去等

(6.3.2)

5

木下地等

(6.5.1)～(6.5.9)

木材、木れんが、ビニル床シート・タイル、ゴム床タイル、カーペット、合成樹脂塗床、フローリング、ボード類、タイル、断熱材の接着に使用する
接着剤のホルムアルデヒド放散量
F
木材塗料、フローリング材、ボード類、壁紙、断熱材のホルムアルデヒド放散量
F
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁、床の改修範囲
壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
図示による
範囲() 仕上げ ()
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲
壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
図示による
範囲() 仕上げ ()
天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
既存のまま
図示による
範囲() 仕上げ ()

種 別

工 法

施 工 箇 所

ビニル床シート等

下地材の除去

図示による

合成樹脂塗床材

機械的除去工法

図示による

フローリング張り床材

床タイル

床組

コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、 4 章外壁改修工事による。

間仕切壁撤去に伴う構造体の補修

改修標仕4.3.10によるモルタル塗り

(塗り厚25mmを超える場合の補修 行う 行わない)

材料のホルムアルデヒド放散量
F 又は改修標仕6.5.2(1)(ウ)(b)による
含水率 下地材 A 種(15%以下) B 種(20%以下)
造作材 A 種(15%以下) B 種(18%以下)
以下に規定されているものは、その規定による。

JAS 1083 (製材) に基づく製材

下地用製材

使用箇所

樹 種

寸 法

等級

含水率

保存処理

造作用製材

使用箇所

樹 種

寸 法

等級

含水率

保存処理

広葉樹製材

使用箇所

樹 種

寸 法

等級

含水率

保存処理

JAS 1083 (製材) 以外の製材

(表12.2.2)

使用箇所

樹 種

寸 法

材面の品質

防虫処理

含水率

6

内装改修工事

6

内装改修工事

使用木材のうち杉、ひのきについては京都府産木材とする。
工事完成までに、ウッドマレージ C02京都の木認証書 (京都府産木材証明書及びウッドマレージ C02計算書) (注 1) を提出する事を原則とする。当該認証を受けた木材の使用が困難な場合には、京都の木証明書 (京都府産木材証明書) (注 2) を提出すること。
証明書及び計算書の発行に係る手続きについては次の機関による。
一般財団法人京都府木材組合連合会
TEL : 075-802-2991
注 1) 認証書
注 2) 証明書は製材助、流通業者の全てが取扱事業体又は認証機関登録事業体でなければ発行されない。
詳細は上記法人のホームページを参照すること。
工事完成までに、京都府産木材の産地証明書を提出すること。
京都木材規格 (KTS) 材を使用する場合は、京都木材規格 (KTS) 材証明書 (発行機関：(一社) 京都府木材組合連合会) を提出すること。
「集成材の日本農林規格」による造作用集成材
造作用集成材
使用箇所 品 名 樹 種 見付材面数 寸 法 見付材面の品質
1 等 2 等
化粧ばり造作用集成材
使用箇所 品 名 樹 種 寸法 化粧板厚 見付材面数 見付材面の品質
化粧材 芯材
1 等 2 等
「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材
造作用集成材
使用箇所 樹 種 寸 法 見付材面の品質 含水率
15%以下
化粧ばり造作用集成材
使用箇所 化粧樹種名 芯材樹種名 寸法 化粧板厚 見付材面の品質 含水率
15%以下
JAS 0701 (単板積層材) に基づく造作用単板積層材
造作用単板積層材
使用箇所 品 名 寸法 表面の品質 防虫処理
表面化粧加工なし
1 等 2 等 3 等
表面化粧加工あり
天然木化粧加工 塗装加工
適用する
適用しない
JAS 0701 (単板積層材) 以外の造作用単板積層材
造作用単板積層材
使用箇所 寸法 表面の品質 含水率 防虫処理
表面化粧加工なし
表面化粧加工あり
天然木化粧加工 塗装加工
14%以下
適用する
適用しない
JAS 3079 (直交集成板)
施工箇所 品 名 曲げ性能 (強度等級) 種 別 接着性能 (使用環境) 樹種 寸法 (mm)
集合等
「合板の日本農林規格」による普通合板
使用箇所 品 名 厚さ 樹種名 接着程度 板面の品質 その他処理
押入れ、物入れ 5.5mm 1 類 広葉樹 2 等以上 針葉樹 C - D 以上
「合板の日本農林規格」による構造用合板
使用箇所 品 名 等級 厚さ 樹種名 接着程度 板面の品質 保存処理 その他処理
豊床下地材、フローリング張り下地材 2 級 以上 1 類 以上 C - D 以上
「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板
使用箇所 品 名 厚さ 単板の樹種名 接着程度 防虫処理
1 類 特類
「合板の日本農林規格」による天然化粧合板
使用箇所 化粧板に使用する単板の樹種名 厚さ 接着程度 防虫処理
1 類 2 類
「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板
使用箇所 品 目 厚さ 接着程度 単板の樹種名 化粧加工の方法 防虫処理
1 類 2 類
特記仕様

株式会社 木下建築設計事務所

611-0026 京都府宇治市開町37-10
TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080

一級建築士登録 第125477号
細 野 幹 生

製図年月日 R07.01
訂正年月日
監修 設計 製図

工事名称 本庁舎洋式トイレ温水洗浄機能化改修工事
図面名称 建築改修工事特記仕様書-3

縮尺

図面番号
No A-04 号図

枚ノ内

6

内装改修工事

6

内装改修工事

パーティクルボード

使用箇所	厚さ	各種区分
	15mm	13Pタイプ又は13Mタイプ

JAS Q360に基づく構造用パネル

使用箇所	等級	厚さ

MDF

使用箇所	厚さ	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分

造作材化粧面の釘打ち

隠し釘打ち

釘頭埋め木

つぶし頭釘打ち

釘頭隠し

諸金物の形状、寸法及び材質

かすがい、座金、箱金物及び短冊金物は、表6.5.3から表6.5.5までに示す程度の市販品で、木材の寸法に応じた適切なものとし、コンクリート埋込部を除き、表8.20.1〔鉄鋼の垂鉛めっきの種類〕のF種程度の垂鉛めっきを施したもの

防腐・防蟻処理を省略できる樹種による製材

適用部位

薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

適用部材	保存処理性能区分
	○K2 ○K3 ○K4
	○K2 ○K3 ○K4

薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
	薬剤の製造所の仕様による	JIS K 1571に適合又は同等品

薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理

適用部位

合板等の加圧注入処理等の適用

適用部位

防虫処理

行う

範囲

ラワン材等

「製材の日本農林規格」による保存処理 K1

行わない

⑥ 軽量鉄骨天井地下

野縁等の種類

屋内

19型

○ 25型

屋外

○ 19型

○ 25型

野縁受け・つりボルト・インサートの間隔

@900

mm

周辺部の端からの寸法

150

mm

野縁の間隔

@300

mm

はずれ留め補強

有り

○ 無し

既存の埋込みインサートの使用

再利用しない

○ 再利用する

あと施工アンカーの引抜き試験

行う

10箇所以上

400N/箇所

行わない

開口補強

つりボルト間隔が900mmを超える場合の補強方法

協議する

天井のふところの補強

1.5m以上3m以下

改修標準6.6.4(8)による

3mを超える

天井下地材における耐震性を考慮した補強

行う

行わない

屋外の軒天井、ピロティ天井等における耐風圧性を考慮した補強

行う

行わない

7 軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナ等の種類

表6.7.1におけるスタッドの高さによる区分に応じた種類

スタッドの高さが5mを超える場合

図示による

8 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り

区分	種類	記号	厚さ(mm)	色柄	工法	施工箇所
発泡層無	○単層ビニル床シート	T S	○ 2.5	無地	熱溶接	仕上表による
発泡層有	○複層ビニル床シート	F S	○ 2.0	○マーブル	○	
	○発泡複層ビニル床シート	H S	○	○柄物	○	
	○クッションフロア	K S				

9

カーベツト敷き

9

カーベツト敷き

○ビニル床タイル

区分	種類	記号	厚さ(mm)	色柄	寸法	施工箇所
接着形	○単層ビニル床タイル	T T	○ 2.0	○無地	○300×300	
	○複層ビニル床タイル	F T	○ 2.0	○柄物	○450×450	
置敷形	○置敷きビニル床タイル	F O A	○ 4.0		○500×500	
	○薄型置敷きビニル床タイル	F O B	○		○	

帯電防止床シート

帯電防止タイル

種類	性能	厚さ(mm)
○	体積抵抗値 1.0×10 ⁹ Ω以下	
○		

視覚障害者用床タイル

種類	形状	備考
○塩化ビニル系	300mm角	
○レジンコンクリート系	150mm角	
○磁器又はセラミックスタイル		

耐動荷重性床シート

種類	厚さ(mm)	備考
○		
○		

防滑性床シート

防滑性床タイル

種類	寸法	厚さ(mm)
○		
○		

○ビニル幅木

種類	高さ(mm)	厚さ(mm)
○軟質	60	1.5
○硬質	75	2.0
○	100	

○ゴム床タイル張り

色柄	種類	厚さ(mm)	寸法(mm)
	○単層品		
	○積層品		

○織じゅうたん

種別	織り方	パイル形状	帯電性	色柄	接合方法	施工箇所
○A種			○適用	無地	ヒートソド工法	
○B種				○	○つづり縫い	
○C種						

○タフテッドカーベツト

パイル形状	パイル長さ(mm)	工法	帯電性	施工箇所
		○グリッド工法	○適用	
		○全面接着工法		

○タイルカーベツト

種別	パイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	施工箇所
一種	ループパイル	500×500	6.5	
二種				

タイルカーベツトの敷き方

平場部分

市松敷き

階段部分

模様流し

接着剤のホルムアルデヒド放散量

F

下敷き材

JIS L 3204(反毛フェルト)の第2種2号

呼び厚さ8mm

見切り、押さえ金物

材質、形状等

図示による

厚膜型塗床材

弾性ウレタン樹脂系塗床材

平滑仕上げ

○防滑仕上げ

○つや消し仕上げ

塗厚(mm)

エポキシ樹脂系塗床材

薄膜流しのべ工法

○平滑

○防滑

○厚膜流しのべ工法

○平滑

○防滑

○樹脂モルタル工法

○平滑

○防滑

薄膜型塗床材

エポキシ樹脂系塗床材

塗床材料のホルムアルデヒド放散量

F

11

フローリング張り

11

フローリング張り

フローリングのホルムアルデヒド放散量

改修標準6.11.2(2)による

接着剤のホルムアルデヒド放散量

F

単層フローリング

(表6.11.1)～(表6.11.6)

種類	樹種	厚さ(mm)	大きさ	工法	備考
○70-リツグ	○	○ 15	○表6.11.1	○釘留め工法	
○60-リツグ	○	○ 12	○表6.11.3	○根太張り工法	
○50-リツグ	○	○ 8	○表6.11.5	○直張り工法	
○40-リツグ	○	○ 8		○接着工法	
○30-リツグ	○	○ 15		○接着工法	○防水処理足金物付

複合フローリング

種類	樹種	厚さ(mm)	工法	種別	備考
○1×6タイプ	○	○ 8	○釘留め工法	○A種	
○フローリングボードタイプ	○	○ 15	○根太張り工法	○B種	
○			○直張り工法	○C種	
			○接着工法		

接着工法のフローリング裏面の不陸緩衝材

合成樹脂発泡シート

仕上げ塗装

ウレタン樹脂ワニス塗り(1液形)B種

○オイルステインの上ワックス塗り

○生地そのままワックス塗り

種別

○A種

○B種

○C種

○D種

(KT-)

衝撃緩和型畳

(畳表: ○C1 ○C2)

MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量

F

合板のホルムアルデヒド放散量

改修標準6.13.2(2)の(a)～(d)のいずれか

接着剤のホルムアルデヒド放散量

F

表面への化粧張り等の加工

図示による

種別

表6.13.1によるJIS規格品とする

種類	規格、厚さ(mm)等
●せっこうボード(GB-R)	○12.5(不燃) ●9.5(準不燃)
●化粧せっこうボード(GB-D)	○杉証模様 ●12.5(不燃)
	●トラバーチン模様 (軽鉄下地は専用のものとする)
○不燃積層せっこうボード(GB-NC)	○トラバーチン模様 9.5(不燃)
○模様なし	
○シーリングせっこうボード(GB-S)	○15(不燃) ○12.5(準不燃) 9.5(準不燃)
○強化せっこうボード(GB-F)	○21(不燃) ○15(不燃) ○12.5(不燃)
○ロックウール吸音ボード(RW-B)	25
○グラスウール吸音ボード(GW-B)	25
○吸音あななきせっこうボード(GB-P)	○9.5(準不燃)
○ロックウール化粧吸音板(DR)	内部用 フラット ○12(不燃) 9(不燃)
	立体模様 ○15(不燃) 12(不燃)
	軒天用 フラット ○12(不燃) 9(不燃)
	立体模様 ○15(不燃) 12(不燃)
●けい酸カルシウム板(0.8FK)	タイプ2(無石綿) ○8.0 ●6.0
○メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903による 1.2
○難燃毛セメント板	○30 ○25 ○20 ○15
○断熱毛セメント板	○30 ○25 ○20 ○15
○火山性ガラス質被覆板	○研磨品 ○3 ○6 ○9 ○9.5 ○
	○無研磨品 ○3 ○6 ○9 ○9.5 ○
○普通合板	厚さ 接着の程度 表板樹種
	板面の品質 防虫処理○行う
○天然木化粧合板	厚さ 接着の程度
	化粧板樹種 ○なら ○しおじ 防虫処理○行う
○特殊加工化粧合板	厚さ 接着の程度 化粧加工の方法
	表面性能 ○F ○FW ○W ○WS 防虫処理○行う
○その他下張り用合板	

合板類の張付け

○A種

○B種

せっこうボードの目地処理

○継目処理

○突付け

○目透かし

突付け工法及び目透し工法のエッジの種類

○ベベルエッジ

○スクエアエッジ

14

壁紙張り

14

壁紙張り

防火性能・種類・規格・施工箇所

図示による

○下表による

施工箇所	防火性能	品質・規格

素地ごしらえ

モルタル及びせっこうプaster面

○A種

B種

(表7.2.4)

コンクリート面

○A種

B種

(表7.2.5)

せっこうボード面及びその他のボード面

○A種

B種

(表7.2.7)

材質

○アルミニウム製

●塩化ビニル製

材質

○アルミニウム製

○硬質樹脂製(天井見切縁)

材質

●アルミニウム製

天井点検口

450×450(設置箇所:図示による)

モルタル

○現場調合材料

既製目地材

○設ける

(形状)

床目地

○設ける

○設けない

目地の種類

押目地

目地割り

2m程度

最大目地間隔

3m程度

伸縮調整目地等

床面

縦・横とも4m以内ごと

壁面

図示による

タイルの試験張り

○行わない

○行う

タイルの見本焼

○行わない

○行う

施工後の確認及び試験

浮きの確認

全面打診による確認を行う

接着力の試験

接着力試験機による引張接着強度の測定を行う

○行わない

タイルの種類

施工箇所・タイルの種類	形状・寸法(mm)	生地	釉薬	耐凍害性	耐滑り性	役物	色	工法その他
		○磁器	○無釉	○有り		○有り	標準	
		○陶器	○施釉	○無し		○無し	○特注	
		○磁器	○無釉	○有り		○有り	標準	
		○陶器	○施釉	○無し		○無し	○特注	
		○磁器	○無釉	○有り		○有り	標準	
		○陶器	○施釉	○無し		○無し	○特注	

壁タイル張りの工法

内装タイル

○密着張り

○改良圧着張り

内装タイル以外のユニットタイル

○マスク張り

○モザイクタイル張り

内装タイル接着張りの有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量

F

○既調合モルタル

下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理

目荒し工法

塗厚(mm)

○10

○15

① 塗装材料

7

2 下地調整

塗替えで下地調整の種類がB種の場合の既存塗膜の除去範囲

劣化部分は除去し、活膜部分は残す

図示

素地	種別	備考
木部	○RA種	
	○不透明塗料塗りの場合はRB種	
	○RC種	
鉄鋼面	○RA種	
	○RB種	
	○RC種	
垂鉛めっき鋼面	○RA種	
	○RB種	
	○RC種	
モルタル及びせっこうプラf面	○RA種	
	○RB種	
	○RC種	
コンクリート面及びALCパネル面	○RA種	
	○RB種	
	○RC種	
コンクリート面及び押出成形w/面	○RA種	
	○RB種	
	○RC種	
せっこうボード及びその他ボード面	●A種	
	○RB種	
	○RC種	

特記仕様

株式会社 木下建築設計事務所

611-0026 京都府宇治市開町37-10

TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080

一級建築士登録 第125477号

細野幹生

製図年月日

R07.01

訂正年月日

監修

設計

製図

工事名称

本庁舎洋式トイレ温水洗浄機能化改修工事

図面名称

建築改修工事特記仕様書-4

図面番号

No A-05 号図

枚ノ内

2

③ 素地ごしらえ
(7.3.2) ~ (7.3.7)

4 錆止め塗料塗り
(7.4.2) (7.4.3)

⑤ 塗装工程
(7.5.2) ~ (7.13.2)

下地面等

種 別

不透明塗料塗りの場合

○ A種 ○ B種

透明塗料塗りの場合

○ A種 ○ B種 ○ C種

鉄鋼面 (DP以外)

○ A種 ○ B種 ○ C種

鉄鋼面 (DP)

○ A種 ○ B種 ○ C種

亜鉛めっき鋼面

○ A種 ○ B種

珪素面及びせっこうガラス面 (DP)

○ A種 ○ B種

コンクリート面 (DP以外) 及びALC® 珪素面

○ A種 ○ B種

押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP)

○ A種 ○ B種

コンクリート面 (DPのみ)

○ A種 ○ B種

せっこうボード面及びその他のボード面

目地: 継目処理工法 A種 ○ B種
目地: 継目処理工法以外 ○ A種 ○ B種

錆止め塗料の種類別

素地面

塗装の種類

塗料の種類

工程の種類

備考

鉄鋼面

S O P
(工程の種類別は表7.4.3)

塗装替え
新規見え掛け
新規見え隠れ

○ A種 ○ B種 ○ C種

E P - G
(工程の種類別は表7.4.3)

塗装替え
新規見え掛け
新規見え隠れ

○ A種 ○ B種 ○ C種

D P
(工程の種類別は表7.4.4)

塗装替え
新規

7.4.2(1)(イ)による
○ B種 (下地調整RB種)
○ C種 (下地調整RC種)
7.4.2(1)(イ)(a)による
○ A種

亜鉛めっき鋼面

S O P
(工程の種類別は表7.4.5)

塗装替え
新 鋼製建具等
規 其他

○ A種 ○ B種 ○ C種

E P - G
(工程の種類別は表7.4.5)

塗装替え
新 鋼製建具等
規 其他

○ A種 ○ B種 ○ C種

D P
(工程の種類別は表7.4.6)

塗装替え
新規

○ B種 ○ -

工程の種類別

(表7.5.1) ~ (表7.13.1)

記 号 名 称

種 別

S O P
合成樹脂塗合ペイント塗り

木部

新規外部

○ A種 ○ B種 ○ C種

新規内部

○ A種 ○ B種 ○ C種

塗装替え

○ A種 ○ B種 (外部の場合工程3、工程4は行わない) ○ C種

種類
○ 1種 ○

鉄鋼面

○ A種 ○ B種 ○ C種

亜鉛めっき面

鋼製建具

○ A種 ○ B種 ○ C種

塗装替え

○ A種 ○ B種 ○ C種

その他塗装替え・新規

○ A種 ○ B種 ○ C種

C L
クリacker塗り

○ A種 (着色塗料の種類) ○ B種

N A D
アクリ樹脂系非水分散形塗料塗り

○ A種 ○ B種

D P
耐候性塗料塗り

鉄鋼面

○

亜鉛めっき鋼面

○

コンクリート面及び押出成形セメント板面

○ A-1種 ○ B-1種 ○ C-1種
○ A-2種 ○ B-2種 ○ C-2種

上塗り

○ 1級 ふっ素樹脂系等
○ 2級 シリコン系等
○ 3級 ポリウレタン系等

E P - G
つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り

コンクリート面、せっこうガラス面

○ A種 ○ B種 ○ C種

珪素面、せっこうボード面、しみ止め

○

その他ボード面

○ しみ止めシーラー (B種及びC種の場合)

木部

新規

○ A種 ○ B種 ○ C種

塗装替え

○ A種 ○ B種 ○ C種

鉄鋼面

○ A種 ○ B種 ○ C種

亜鉛めっき鋼面

○ A種 ○ B種

E P
合成樹脂エマルジョンペイント塗り

● A種 ○ B種 ○ C種

しみ止め ○

○ しみ止めシーラー (B種及びC種の場合)

U C
ウレタン樹脂ワニス塗り

○ A種 ○ B種

スチール塗り

○ ビンダー付スチール (表7.13.1)
○ オイルスチール塗り (O S)

W P
木材保護塗料塗り

○ A種 ○ B種

クリヤラッカー塗りA種の工程2の運用

○ 適用する (着色剤 : 溶剤系着色剤 ○ 油性染料着色剤) ○ 適用しない

ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用

○ 適用する ○ 適用しない

オイルスチール塗りの工程等

○

1 鉄筋の種類
(8.2.1)

2 溶接金網 (8.2.2)

3 鉄筋の継手及び定着 (8.3.4) (8.4.2) (8.4.3)

4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (8.3.5)

5 圧接完了後の試験 (8.3.8)

6 割製補強筋 (8.21.6) (8.22.7)

8 1 2 耐震補強工事 (鉄筋工事)

2 普通コンクリートの材料 (8.2.5)

コンクリートの種類 (表8.2.1)

異形鉄筋

種類

記号

径 (mm)

備 考

SD295はFc:21以上の場合、壁筋及びスラブ筋に適用する

網目の形状、寸法

鉄線の径 (mm)

部 位

接 合 方 法

径 (mm)

○

○ 重ね継手 ○ 圧接継手

D 19 以上

○

○ 機械式継手 ○ 溶接継手

D 16 以下

○

○ 重ね継手 ○ 圧接継手

D 16 以下

○

○ 機械式継手 ○ 溶接継手

D 16 以下

○ 機械式継手

適用箇所、性能、種類、鉄筋相互のあき

構造図による

○ 行わない

○ 行わない

監督職員と協議する

○ 溶接継手

適用箇所、性能、工法、鉄筋相互のあき

溶接完了後の溶接部の試験

○ 行わない

○ 行わない

監督職員と協議する

○ 柱及び梁の主筋並びに耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ

構造図による

○ 表8.3.3による

○ 鉄筋継手位置

構造図による

○ 表8.3.4による

○ 鉄筋の定着長さ

構造図による

○ 表8.3.4による

○ 機械式定着工法

適用箇所、種類

構造図による

○ 表8.3.4による

○ 帯筋組立の形、継手及び定着

構造図による

○ 表8.3.4による

鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ

構造図による ○ 表8.3.6による (次の2項目のかぶり厚さを除く。)

○ 軽量コンクリートで土に接する部分の鉄筋のかぶり厚さは下表による。

○ 塩害の受けるおそれのある部分等、耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さは下表による。

施 工 箇 所 等

最 小 か ぶ り 厚 さ (mm)

機械式継手及び溶接継手のあき

○

試験方法

○ 超音波探傷試験を全圧接部で行う。

形状

○ スパイラル筋

○

種類の記号

○ SR235 または SIM-P

○

呼び径、曲げ直径、ピッチ

○ 図示による () ○

○

1 コンクリートの強度 (8.1.3) (8.1.4) (8.9.1) (8.9.2)

2 普通コンクリートの材料 (8.2.5)

8 1 2 耐震補強工事 (コンクリート工事)

コンクリートの類別 (表8.2.1)

○ 普通コンクリート

打 設 部 位

F c (N/mm²)

スランプ (cm)

備 考

構造体

基礎

○ 24 ○

○ 18 ○

上部

○ 24 ○

○ 18 ○

○ 軽量コンクリート

打 設 部 位 (適用箇所)

F c (N/mm²)

スランプ (cm)

備 考

○ 21 ○

21 ○

構造体コンクリートの発注強度は以下のとおりとする。
{ F c + 構造体強度補正值 (S) } / N/mm²
(標仕6.14.1によるもの及び土間コンクリートは構造体強度補正は行わない)

普通ボルトランドセメント又は混合セメントのA種

○ 高炉セメントのB種 (施工箇所)

○ シリカセメント

○ フライアッシュセメントのB種 (施工箇所)

骨材

粗骨材

砂利 (JIS A5308)、砕石 (JIS A5005)

○ 高炉スラグ ○ 電気炉酸化スラグ

○ 再生骨材H

細骨材

砂 (JIS A5308)、砕砂 (JIS A5005)

○ 高炉スラグ ○ 電気炉酸化スラグ

○ 鋼スラグ ○ フェロシリカスラグ

○ 再生骨材H

アルカリシリカ反応性による区分

A (無害) ○

3 構造体強度補正值 (8.2.5)

4 構造体用モルタル (8.2.6)

5 型枠 (せき板) (8.1.4) (8.2.7) (8.7.8)

8 1 2 耐震補強工事 (コンクリート工事)

混和材料

○ 混和剤 AE剤、AE減水剤又は高性能AE減水剤の種 (JIS A6204)

○ 防錆剤 鉄筋コンクリート用防錆剤 (JIS A 6025)

○ 混和材 フライアッシュ (JIS A6201) 種、種若しくは種

○ コンクリート用高炉スラグ微粉末 (JIS A 6206)

○ コンクリート用シリカフューム (JIS A 6207)

○ コンクリート用膨張材 (JIS A 6202)

気温による構造体強度補正值 (S) (表8.2.4)

予想平均気温 ()

補正值

期 間 (打 設 日)

普通

早強

(S)

南部地域

中部地域

北部地域

8以上

5以上

3

3/6 ~ 6/31

3/11 ~ 7/28

3/11 ~ 7/10

|

5以上

N/mm²

9/11 ~ 11/15

9/1 ~ 11/5

9/1 ~ 10/31

0以上

0以上

6

11/16 ~ 3/5

11/ 6 ~ 3/10

11/ 1 ~ 3/10

8未満

5未満

N/mm²

南部地域 (京都市 (一部を除く)、旧八木町、旧園部町以南の市町村)

北部地域 (宮津市、旧加悦町以北の市町)

中部地域 (上記以外の市町、旧美山町及び旧京北町を含む)

モルタル圧縮強度

フロー値

合板の規格

「合板の日本農林規格」の「コンクリート型枠用合板の規格」による合板

合板の材質

広葉樹合板、針葉樹合板又はこれらの複合合板 ○

厚さ (mm)

12 ○

打放し仕上げのせき板

(表8.1.4)

合板せき板を用いる場合

種 別

板 面 の 品 質

施 工 箇 所

○ A種

8.2.7 (2) (7) ○

○ B種

8.2.7 (2) (f) ○

○ C種

8.2.7 (2) (f) ○

○ 合板せき板を用いない場合

せき板の材料

コンクリートの仕上りの平たんさ

種 別

適 用 箇 所

○ a種

○ b種

○ c種

スリーブの材質 (表8.2.6)

適 用 箇 所

材 種 (規 格 そ の 他)

水密を要する地中部分等

つば付き鋼管 (JIS G3452 の黒管に厚さ6 mm以上、つば幅50mm以上の鋼板を溶接したもの)

水密を要しない地中部分等

硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K6741 のV U)

上記以外の円形スリーブ

溶融亜鉛めっき鋼板 (径200 mm以下は厚0.4 mm以上、径200 mmを超え350 mm以下は厚0.6 mm以上) ○

円形スリーブ (溶融亜鉛めっき鋼板) は、筒形の両側を外型に折り曲げてつばを設ける

硬質ポリ塩化ビニル管は、防災区画を貫通する場合には使用しない。

外部に面する打放し仕上げの打増し厚さ 図示による ○ 2.0 mm

シアコネクタとセパレーターの兼用 ○ 可 ○ 不可

フレッシュコンクリートの試験

○ 省略する

6 コンクリートの試験 (8.8.2) ~ (8.8.5)

7 軽量コンクリート (8.9.1)

8 暑中コンクリート (8.10.2)

9 寒中コンクリート

8 1 4 耐震補強工事 (鉄骨工事)

10 無筋コンクリート (8.11.1) (8.11.2)

11 コンクリート車の過積載防止対策等

コンクリートの種類

普通コンクリート ○

設計基準強度

18N/mm² ○

スランプ

15cm又は18cm ○

セメントの種類

普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種

○ 高炉セメントB種

○ フライアッシュセメントB種

適用箇所

標準仕様書6.14.1(4)による箇所

○ 図示による ()

受注者は、出荷伝票等を整理・保管し、監督職員の請求があった場合は、遅滞なく提出するとともに、検査時に提示しなければならない。また、ミキサー車1台毎の積載量が把握できる運搬管理表を検査時に提出しなければならない。

1 あと施工アンカー (8.2.4) (8.12.4)

2 あと施工アンカーの試験 (8.2.4) (8.12.7)

○ 金属系アンカー

引張耐力

せん断耐力

径

埋込み長さ

セット方式

本体打込み式改良型 ○

接合筋

種類

長さ

○ 接着系アンカー

引張耐力

せん断耐力

種類

カプセル型回転 打撃式 ○

アンカー筋

改修仕様表8.2.1の異形棒鋼

種類

埋込み長さ

埋め込み配管等の探査

範囲

あと施工アンカー施工部分全て

方法

鉄筋探知機 (金属探知機) により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。

○ 図示による

性能確認試験

○ 行わない ○ 行う

施工確認試験

行う (引張試験機による引張試験 確認強度)

○ 行わない

1 ロット

1日に施工されたものの径及び仕様ごと ○

試験の箇所数

1ロットに対し3本、無作為に抜き取る ○

1 鉄骨の製作工場 (8.1.5)

2 鉄骨制作工場における施工管理技術者 (8.1.6)

3 鋼材の種類 (8.2.8)

4 高力ボルト (8.2.9) (8.14.2) (8.14.7)

○ 監督職員の承諾する工場

建築基準法第68条の25に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨制作工場又は同等以上の能力のある工場 (○ S ○ H ○ M ○ R ○ J) グレード以上

○ 適用する ○ 適用しない

種類の記号

使 用 箇 所

規格等

SS400

JIS G 3101

SM400A

JIS G 3106

SN400A

JIS G 3136

図示による

ボルトの種類

○ トルシア形高力ボルト (建築基準法の認定品)

○ J I S 形高力ボルト (JIS B 1186) 2種 (F10T)

○ 溶融亜鉛めっき高力ボルト (建築基準法の認定品、1種 (F8T))

ねじの呼び

すべり係数試験 (対比試験片を作成し、摩擦面の処理状況を確認する)

○ 行わない

○ 行う

試験方法等 ○ 図示による ○

J I S 形高力ボルトの本締めで、ボルトの長さがねじの呼びの5倍を超える場合の回転量

特記仕様

製図年月日 R07.01

訂正年月日

監修

設計

製図

工事名称

本庁舎洋式トイレ温水洗浄機能化改修工事

図面名称

建築改修工事特記仕様書-5

縮尺

図面番号

No A-06 号図

枚ノ内

株式会社 木下建築設計事務所

611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号 細 野 幹 生

TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080

アスベスト対策工事仕様書

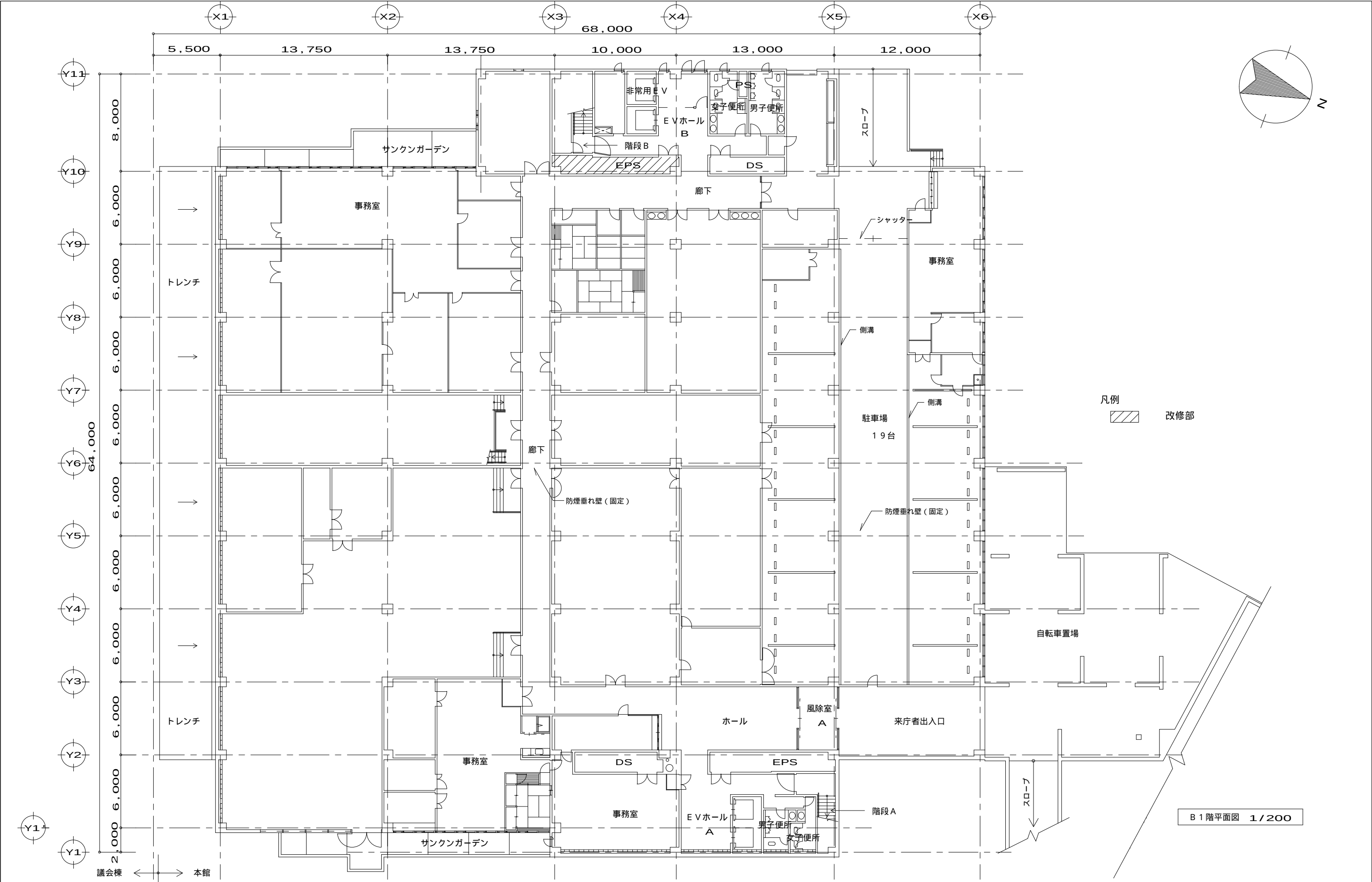
章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項																																			
13	① 適用範囲 (9.1.1)	アスベストを重量で0.1%を超えて含有する、アスベスト含有建材の除去工事に適用する。 ○ アスベスト含有吹付け材除去工事 ○ 除去工法 () ○ 封じ込め工法 () ○ 囲い込み工法 () ○ アスベスト含有保温材等除去工事 アスベスト含有成形板撤去工事	13	5 仕上げ工事 (9.1.1)	アスベスト含有建材除去後の仕上げ工事 ○ 図示による ○ _____ 石綿作業主任者は、石綿作業主任者技能講習修了者または平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とし、証明書の写しに工事経歴書を添付して監督職員に提出する。 特別管理産業廃棄物管理責任者の有資格者とし、証明書の写しに工事経歴書を添付して監督職員に提出する。ただし、アスベスト含有成形板の除去工事を除く。 施工業者 工事に相応した技術を有することを証明する資料をあらかじめ提出する。 ○ 「吹付アスベスト粉じん飛散防止処理技術」について(一財)日本建築センターの建設技術審査証明事業による建築物等の施工技術及び保全技術の審査証明を取得した工法の施工業者等。	9 アスベスト含有保温材等の除去 (9.1.4)	除去を行う範囲 図示による ○ _____ 除去の方法 原形のまま手ばらし ○ 手ばらし以外(この場合は改修標仕9.1.3(a)による隔離とする) ○ _____ 除去を行うアスベスト含有保温材等の仕様 <table><thead><tr><th>種 類</th><th>種 類</th></tr></thead><tbody><tr><td>○ 石綿保温材</td><td>○ 石綿含有耐火被覆材</td></tr><tr><td>○ 石綿含有けいそう土保温材</td><td>○ 石綿含有けい酸カルシウム板第二種</td></tr><tr><td>○ 石綿含有バーライト保温材</td><td>○ 屋根用折版裏断熱材</td></tr><tr><td>○ 石綿含有けい酸カルシウム保温材</td><td>○ 煙突用断熱材</td></tr><tr><td>○ 石綿含有水練り保温材</td><td>○ 塩基性炭酸マグネシウム保温材</td></tr></tbody></table> 除去物の処理方法 密封処理(二重袋梱包) 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機、除じん機フィルタ等についても密封処理とする。 ○ セメント固化 ○ 熔融固化 除去物等の保管 他の建設副産物等と分別して保管する。 飛散防止措置を講ずる。 アスベスト等の保管場所であることの表示を行う。 除去物等の処分 廃棄物及び清掃に関する法律(昭和45年法律137号)の規定を遵守して行う。 ○ 特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場における埋立処分 ○ 都道府県知事等から設置許可を受けた熔融施設における熔融または環境大臣の認定を受けた無害化処理施設における無害化処理 指定処分地((株)京都環境保全公社 瑞穂環境保全センター 京都府船井郡京丹波町猪鼻冠石2-1 TEL 0774-88-0431) なお処分に関しては会社の受け入れ基準等を確認する。	種 類	種 類	○ 石綿保温材	○ 石綿含有耐火被覆材	○ 石綿含有けいそう土保温材	○ 石綿含有けい酸カルシウム板第二種	○ 石綿含有バーライト保温材	○ 屋根用折版裏断熱材	○ 石綿含有けい酸カルシウム保温材	○ 煙突用断熱材	○ 石綿含有水練り保温材	○ 塩基性炭酸マグネシウム保温材	13	⑩ アスベスト含有成形板の除去 (9.1.5)	除去を行う範囲 図示による ○ _____ 除去の方法 湿潤化したのちに手ばらし ○ 湿潤剤等の噴霧、散水等により十分に湿潤化した状態で破砕 ○ _____ 除去を行うアスベスト含有成形板の仕様 <table><thead><tr><th>種 類</th><th>厚 (mm)</th><th>種 類</th><th>厚 (mm)</th></tr></thead><tbody><tr><td>石綿含有スレート</td><td>6.0</td><td>○ 石綿含有ビニル床タイル</td><td>2.0</td></tr><tr><td>○ 石綿含有けい酸カルシウム板</td><td></td><td>● 石綿セメントけい酸添加板</td><td>6.0</td></tr><tr><td>○ 石綿含有押出成形セメント板</td><td></td><td>○ 化粧石綿セメントけい酸添加板</td><td></td></tr><tr><td>石綿含有岩綿吸音天井板</td><td>12.0</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>石綿含有石膏ボード</td><td>9.5</td><td>○</td><td></td></tr></tbody></table> 除去物等の保管 他の建設副産物等と分別して保管する。 飛散防止措置を講ずる。 アスベスト等の保管場所であることの表示を行う。 除去物等の処分 廃棄物及び清掃に関する法律(昭和45年法律137号)の規定を遵守して行う。 アスベスト含有石膏ボード(管理型最終処分場における埋立処分)を除くアスベスト含有成形板 ○ 石綿含有産業廃棄物として、安定型最終処分場における埋立処分 ○ 都道府県知事等から設置許可を受けた熔融施設における熔融または環境大臣の認定を受けた無害化処理施設における無害化処理 指定処分地((財)宇治廃棄物処理公社 京都府宇治市池の尾仙郷山6-2 TEL 0774-21-2807) なお処分に関しては会社の受け入れ基準等を確認する。	種 類	厚 (mm)	種 類	厚 (mm)	石綿含有スレート	6.0	○ 石綿含有ビニル床タイル	2.0	○ 石綿含有けい酸カルシウム板		● 石綿セメントけい酸添加板	6.0	○ 石綿含有押出成形セメント板		○ 化粧石綿セメントけい酸添加板		石綿含有岩綿吸音天井板	12.0	○		石綿含有石膏ボード	9.5	○	
種 類	種 類																																													
○ 石綿保温材	○ 石綿含有耐火被覆材																																													
○ 石綿含有けいそう土保温材	○ 石綿含有けい酸カルシウム板第二種																																													
○ 石綿含有バーライト保温材	○ 屋根用折版裏断熱材																																													
○ 石綿含有けい酸カルシウム保温材	○ 煙突用断熱材																																													
○ 石綿含有水練り保温材	○ 塩基性炭酸マグネシウム保温材																																													
種 類	厚 (mm)	種 類	厚 (mm)																																											
石綿含有スレート	6.0	○ 石綿含有ビニル床タイル	2.0																																											
○ 石綿含有けい酸カルシウム板		● 石綿セメントけい酸添加板	6.0																																											
○ 石綿含有押出成形セメント板		○ 化粧石綿セメントけい酸添加板																																												
石綿含有岩綿吸音天井板	12.0	○																																												
石綿含有石膏ボード	9.5	○																																												
事前調査 ・施工計画に先立ち、改正大気汚染防止法第18条の17の規定により、特定工事に該当するか否かの調査を行う。 調査結果について発注者に書面を交付して説明を行い、調査結果その他環境省令で定める事項を、公衆に見やすいように掲示し、その写しを工事の現場に備え置く。 なお、特定工事に該当する場合は、「特定粉じん排出等作業実施届出書」の届出内容について発注者に書面を交付して説明を行う。 ・施工計画に先立ち、石綿障害予防規則第3条の規定により、アスベスト含有建材の有無を調査する。 調査結果を記録し、作業に従事する労働者が見やすいように掲示する。 事前調査は、国土交通省に登録された機関が行う講習を修了した建築物石綿含有建材調査者、石綿作業主任者技能講習修了者、日本アスベスト調査診断協会に登録されたアスベスト診断士等が行い、資格証明書の写しを監督職員に提出する。 調査範囲 図示による ○ _____ 調査事項 石綿使用部位の確認 石綿層の厚さの確認 施工範囲と工事管理区分の確認 更衣施設等の仮設計画 廃棄物等の搬出方法																																														
アスベスト含有分析 ○ 行う(分析結果を監督職員に提出する) <table><thead><tr><th>材 料 名</th><th>定性分析方法</th><th>定量分析方法</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td>○ (箇所数)</td><td>○ (箇所数)</td></tr><tr><td></td><td>○ (箇所数)</td><td>○ (箇所数)</td></tr><tr><td></td><td>○ (箇所数)</td><td>○ (箇所数)</td></tr><tr><td></td><td>○ (箇所数)</td><td>○ (箇所数)</td></tr></tbody></table> サンプル数 1箇所あたり3サンプル JIS A 1481に基づくこと。 ○ 行わない	材 料 名	定性分析方法	定量分析方法		○ (箇所数)	○ (箇所数)		○ (箇所数)	○ (箇所数)		○ (箇所数)	○ (箇所数)		○ (箇所数)	○ (箇所数)																															
材 料 名	定性分析方法	定量分析方法																																												
	○ (箇所数)	○ (箇所数)																																												
	○ (箇所数)	○ (箇所数)																																												
	○ (箇所数)	○ (箇所数)																																												
	○ (箇所数)	○ (箇所数)																																												
② 法令等の遵守																																														
13	③ 石綿含有建材の調査 (1.5.1)																																													
4	アスベスト粉じん濃度測定 (9.1.1)	既存の石綿含有建材の調査報告書の貸与 ○ あり ○ なし	5 仕上げ工事 (9.1.1)	アスベスト含有建材除去後の仕上げ工事 ○ 図示による ○ _____ 石綿作業主任者は、石綿作業主任者技能講習修了者または平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とし、証明書の写しに工事経歴書を添付して監督職員に提出する。 特別管理産業廃棄物管理責任者の有資格者とし、証明書の写しに工事経歴書を添付して監督職員に提出する。ただし、アスベスト含有成形板の除去工事を除く。 施工業者 工事に相応した技術を有することを証明する資料をあらかじめ提出する。 ○ 「吹付アスベスト粉じん飛散防止処理技術」について(一財)日本建築センターの建設技術審査証明事業による建築物等の施工技術及び保全技術の審査証明を取得した工法の施工業者等。	9 アスベスト含有保温材等の除去 (9.1.4)	除去を行う範囲 図示による ○ _____ 除去の方法 原形のまま手ばらし ○ 手ばらし以外(この場合は改修標仕9.1.3(a)による隔離とする) ○ _____ 除去を行うアスベスト含有保温材等の仕様 <table><thead><tr><th>種 類</th><th>種 類</th></tr></thead><tbody><tr><td>○ 吹付け石綿</td><td>○</td></tr><tr><td>○ 石綿含有吹付けロックウール</td><td>○</td></tr><tr><td>○ 石綿含有吹付けひる石</td><td>○</td></tr><tr><td>○ 石綿含有吹付けバーライト</td><td>○</td></tr><tr><td>○</td><td>○</td></tr></tbody></table> 除去したアスベスト含有吹付材等の飛散防止 密封処理(二重袋梱包) 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機、除じん機フィルタ等についても密封処理とする。 湿潤化 ○ セメント固化 ○ 熔融固化 除去物等の保管 他の建設副産物等と分別して保管する。 飛散防止措置を講ずる。 アスベスト等の保管場所であることの表示を行う。 除去物等の処分 廃棄物及び清掃に関する法律(昭和45年法律137号)の規定を遵守して行う。 ○ 特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場における埋立処分 ○ 都道府県知事等から設置許可を受けた熔融施設における熔融または環境大臣の認定を受けた無害化処理施設における無害化処理 指定処分地((株)京都環境保全公社 瑞穂環境保全センター 京都府船井郡京丹波町猪鼻冠石2-1 TEL 0774-88-0431) なお処分に関しては会社の受け入れ基準等を確認する。	種 類	種 類	○ 吹付け石綿	○	○ 石綿含有吹付けロックウール	○	○ 石綿含有吹付けひる石	○	○ 石綿含有吹付けバーライト	○	○	○	13	⑩ アスベスト含有成形板の除去 (9.1.5)	除去を行う範囲 図示による ○ _____ 除去の方法 湿潤化したのちに手ばらし ○ 湿潤剤等の噴霧、散水等により十分に湿潤化した状態で破砕 ○ _____ 除去を行うアスベスト含有成形板の仕様 <table><thead><tr><th>種 類</th><th>厚 (mm)</th><th>種 類</th><th>厚 (mm)</th></tr></thead><tbody><tr><td>石綿含有スレート</td><td>6.0</td><td>○ 石綿含有ビニル床タイル</td><td>2.0</td></tr><tr><td>○ 石綿含有けい酸カルシウム板</td><td></td><td>● 石綿セメントけい酸添加板</td><td>6.0</td></tr><tr><td>○ 石綿含有押出成形セメント板</td><td></td><td>○ 化粧石綿セメントけい酸添加板</td><td></td></tr><tr><td>石綿含有岩綿吸音天井板</td><td>12.0</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>石綿含有石膏ボード</td><td>9.5</td><td>○</td><td></td></tr></tbody></table> 除去物等の保管 他の建設副産物等と分別して保管する。 飛散防止措置を講ずる。 アスベスト等の保管場所であることの表示を行う。 除去物等の処分 廃棄物及び清掃に関する法律(昭和45年法律137号)の規定を遵守して行う。 アスベスト含有石膏ボード(管理型最終処分場における埋立処分)を除くアスベスト含有成形板 ○ 石綿含有産業廃棄物として、安定型最終処分場における埋立処分 ○ 都道府県知事等から設置許可を受けた熔融施設における熔融または環境大臣の認定を受けた無害化処理施設における無害化処理 指定処分地((財)宇治廃棄物処理公社 京都府宇治市池の尾仙郷山6-2 TEL 0774-21-2807) なお処分に関しては会社の受け入れ基準等を確認する。	種 類	厚 (mm)	種 類	厚 (mm)	石綿含有スレート	6.0	○ 石綿含有ビニル床タイル	2.0	○ 石綿含有けい酸カルシウム板		● 石綿セメントけい酸添加板	6.0	○ 石綿含有押出成形セメント板		○ 化粧石綿セメントけい酸添加板		石綿含有岩綿吸音天井板	12.0	○		石綿含有石膏ボード	9.5	○		
種 類	種 類																																													
○ 吹付け石綿	○																																													
○ 石綿含有吹付けロックウール	○																																													
○ 石綿含有吹付けひる石	○																																													
○ 石綿含有吹付けバーライト	○																																													
○	○																																													
種 類	厚 (mm)	種 類	厚 (mm)																																											
石綿含有スレート	6.0	○ 石綿含有ビニル床タイル	2.0																																											
○ 石綿含有けい酸カルシウム板		● 石綿セメントけい酸添加板	6.0																																											
○ 石綿含有押出成形セメント板		○ 化粧石綿セメントけい酸添加板																																												
石綿含有岩綿吸音天井板	12.0	○																																												
石綿含有石膏ボード	9.5	○																																												
アスベスト粉じん濃度測定 ○ 行う <table><thead><tr><th>測定時期</th><th>測定場所</th><th>測定点(各施工箇所ごと)</th><th>備 考</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="2">除去作業前</td><td>除去作業室内</td><td>○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点</td><td></td></tr><tr><td>調査対象室外部付近</td><td>○ 1点 ○ 2点 ○ 点</td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">除去作業中</td><td>除去作業室内</td><td>○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点</td><td></td></tr><tr><td>負圧粉じん装置の吹出し風速1m/秒以下の位置</td><td></td><td></td></tr><tr><td>排出吹き出し口 各</td><td>○ 1点 ○ 2点 ○ 3点</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">除去作業後</td><td>除去作業室外</td><td>○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点</td><td></td></tr><tr><td>除去作業室内</td><td>○ 1点 ○ 2点 ○ 点</td><td>シート養生中</td></tr><tr><td>除去作業室内</td><td>○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点</td><td>シート撤去後</td></tr><tr><td>調査対象室外部付近</td><td>○ 1点 ○ 2点 ○ 点</td><td>1週間以降</td></tr></tbody></table> 周囲の状況等により上記によりがたい場合は、監督職員と協議する。 ○ 行わない 測定機関 (公社)日本作業環境測定協会による「石綿含有の有無の判定及び石綿の含有率の測定が可能な石綿含有率分析可能機関」とする。 ○ _____ 報告書提出部数 3部 ○ 部	測定時期	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)	備 考	除去作業前	除去作業室内	○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点		調査対象室外部付近	○ 1点 ○ 2点 ○ 点		除去作業中	除去作業室内	○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点		負圧粉じん装置の吹出し風速1m/秒以下の位置			排出吹き出し口 各	○ 1点 ○ 2点 ○ 3点		除去作業後	除去作業室外	○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点		除去作業室内	○ 1点 ○ 2点 ○ 点	シート養生中	除去作業室内	○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点	シート撤去後	調査対象室外部付近	○ 1点 ○ 2点 ○ 点	1週間以降												
測定時期	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)	備 考																																											
除去作業前	除去作業室内	○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点																																												
	調査対象室外部付近	○ 1点 ○ 2点 ○ 点																																												
除去作業中	除去作業室内	○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点																																												
	負圧粉じん装置の吹出し風速1m/秒以下の位置																																													
	排出吹き出し口 各	○ 1点 ○ 2点 ○ 3点																																												
除去作業後	除去作業室外	○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点																																												
	除去作業室内	○ 1点 ○ 2点 ○ 点	シート養生中																																											
	除去作業室内	○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点	シート撤去後																																											
	調査対象室外部付近	○ 1点 ○ 2点 ○ 点	1週間以降																																											

特記仕様	株式会社 木下建築設計事務所 611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細 野 幹 生				製図年月日 R07.01	工事名称 本庁舎洋式トイレ温水洗浄機能化改修工事	縮尺	図面番号 No A-07 号図
					訂正年月日			
					監修	設計	製図	図面名称 アスベスト対策工事特記仕様書

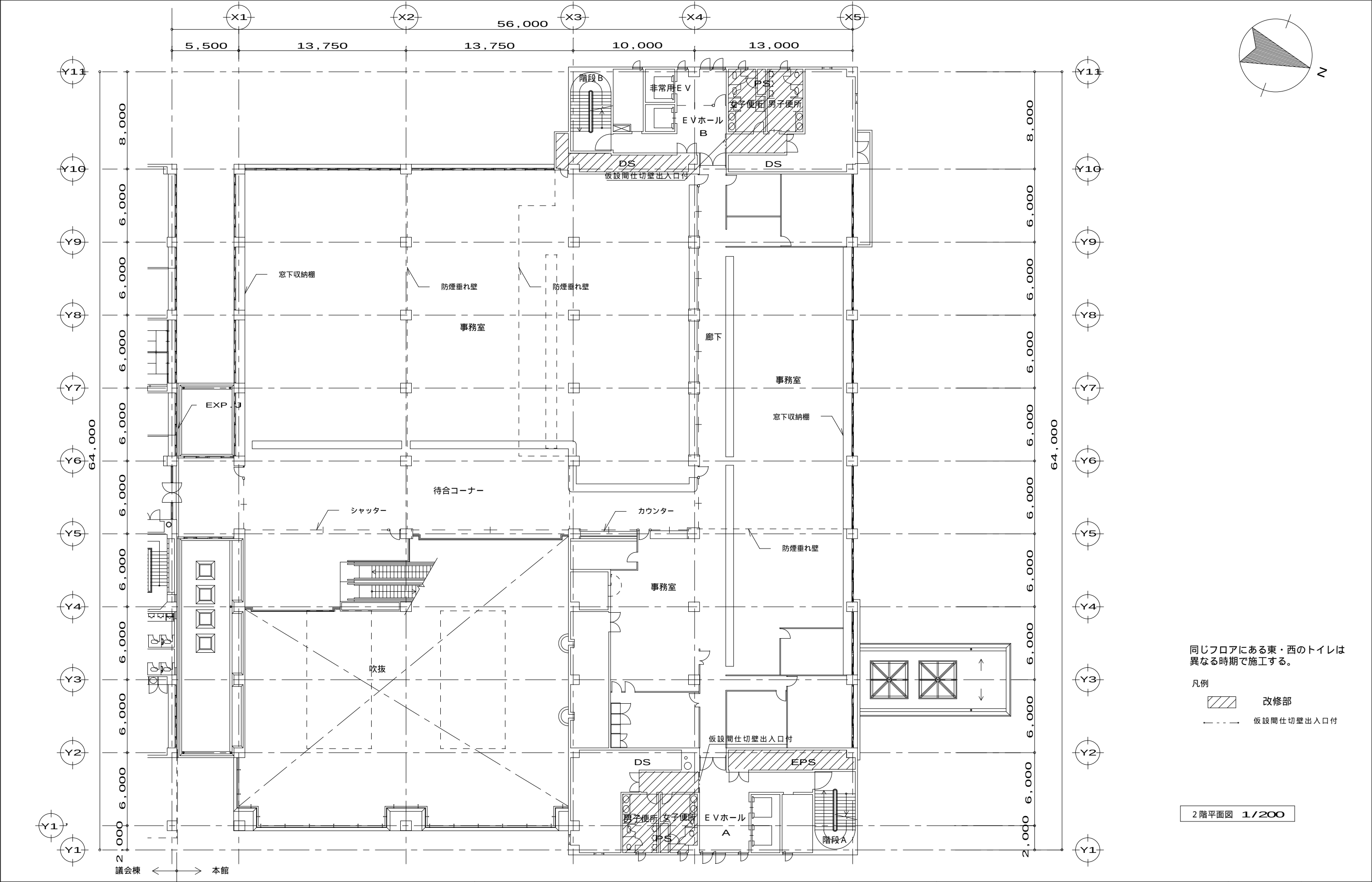


付近見取図 S : 1/2500

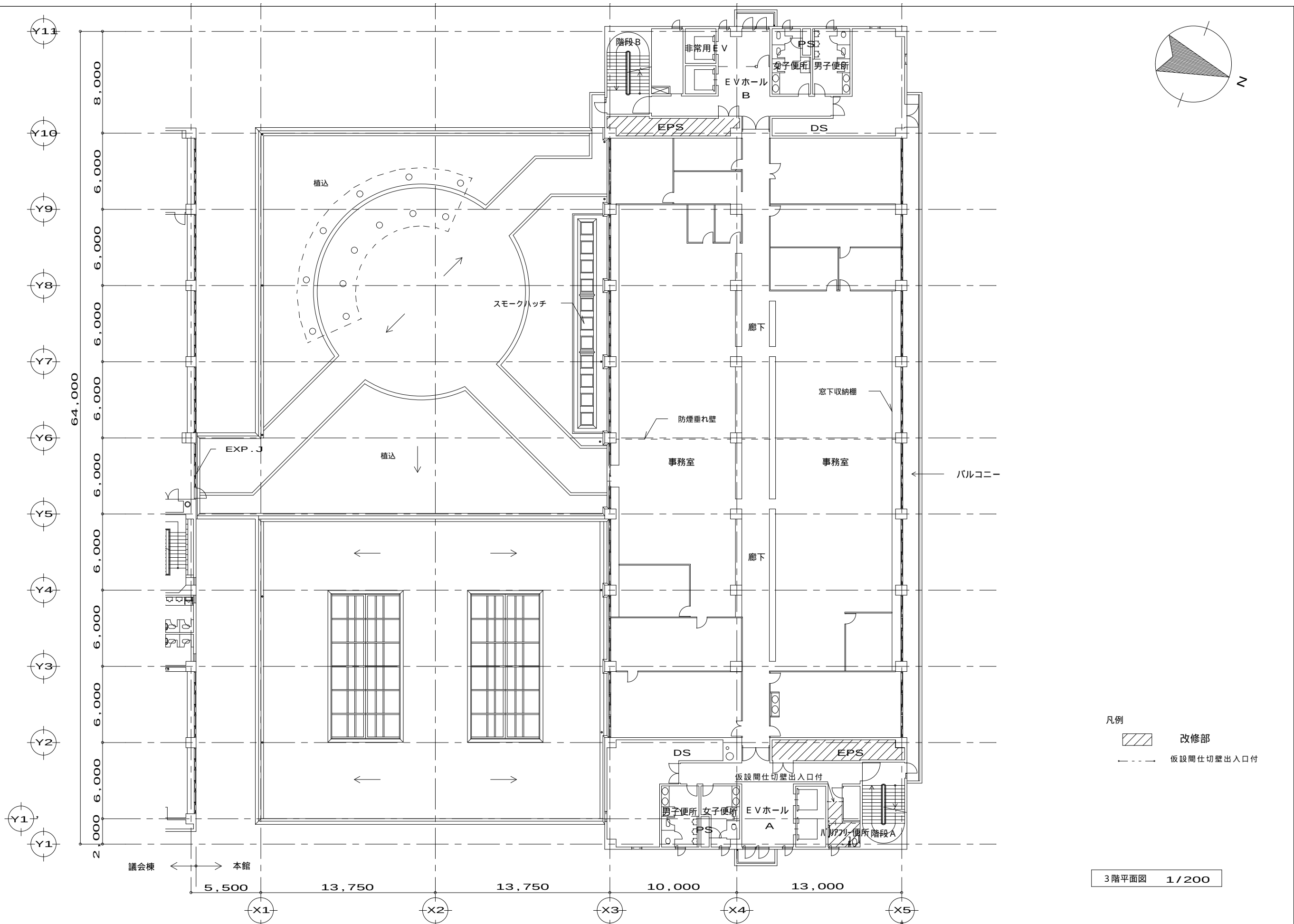
特記仕様	株式会社 木下建築設計事務所 611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細 野 幹 生	製図年月日 R07.01			工事名称 本庁舎洋式トイレ温水洗浄機能化改修工事	縮尺 1/2500	図面番号
		訂正年月日					No A-08 号図
		監修	設計	製図	図面名称 付近見取図		枚ノ内



特記仕様		株式会社 木下建築設計事務所	製図年月日 R07.01			工事名称 本庁舎洋式トイレ温水洗浄機能化改修工事	縮尺 1 : 200	図面番号 No A-09 号図	
			訂正年月日						
			監修	設計	製図		図面名称 地階平面図 現況・仮設図		枚ノ内
			611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹生						



特記仕様	株式会社 木下建築設計事務所 611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹生	製図年月日 R07.01		工事名称 本庁舎洋式トイレ温水洗浄機能化改修工事	縮尺 1:200	図面番号	
		訂正年月日				No A-11 号図	
		監修	設計	製図	図面名称 2階平面図 現況・仮設図		枚ノ内



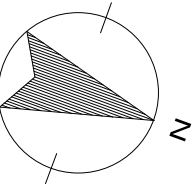
凡例

改修部

仮設間仕切壁出入口付

3階平面図 1/200

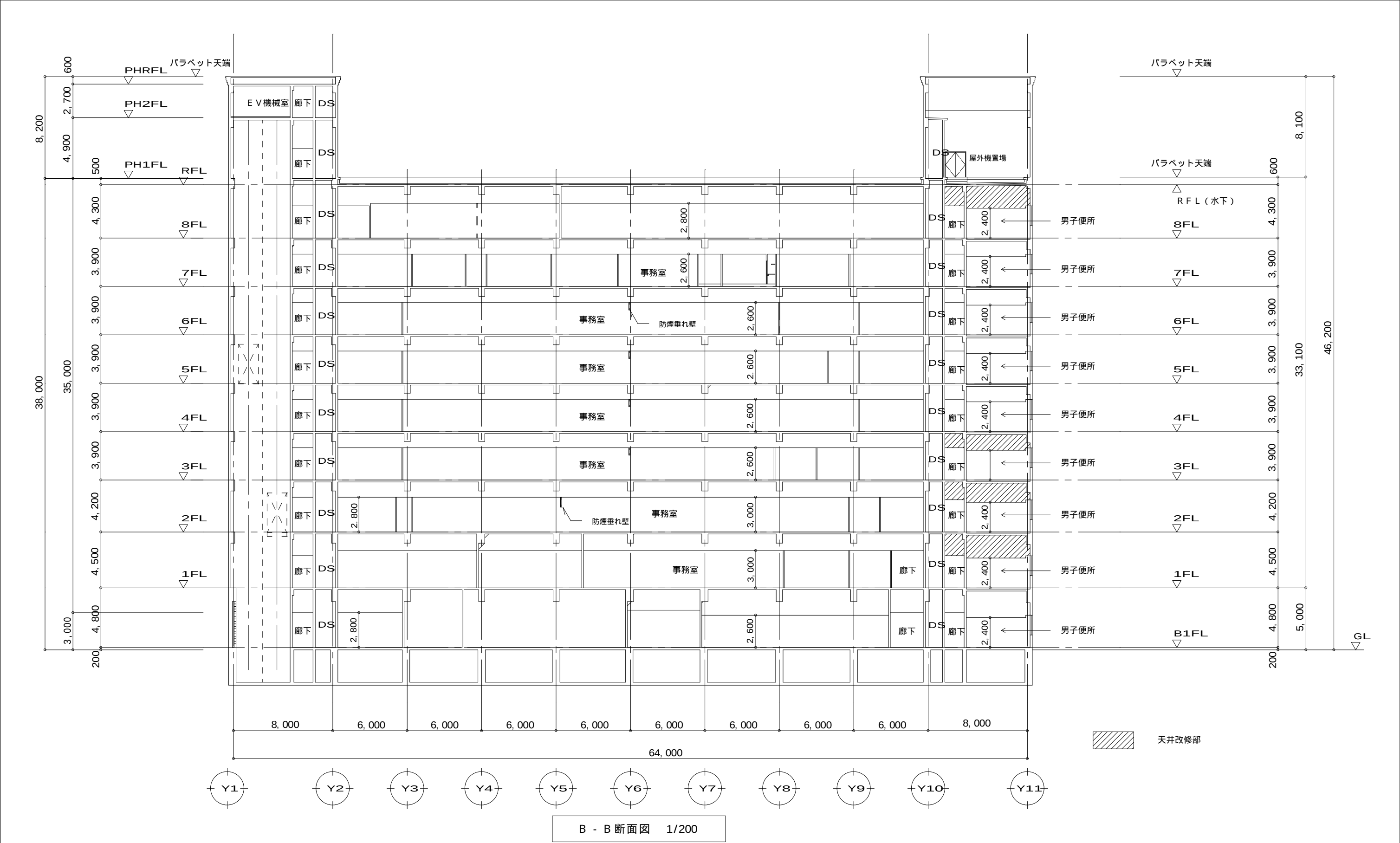
特記仕様		株式会社 木下建築設計事務所	製図年月日 R07.01			工事名称 本庁舎洋式トイレ温水洗浄機能化改修工事	縮尺 1 : 200	図面番号
			訂正年月日					No A-12 号図
			監修	設計	製図			
			図面名称 3 階平面図 現況・仮設図					枚ノ内
		611 - 0 0 2 6 京都府宇治市開町 3 7 - 1 0 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹生						



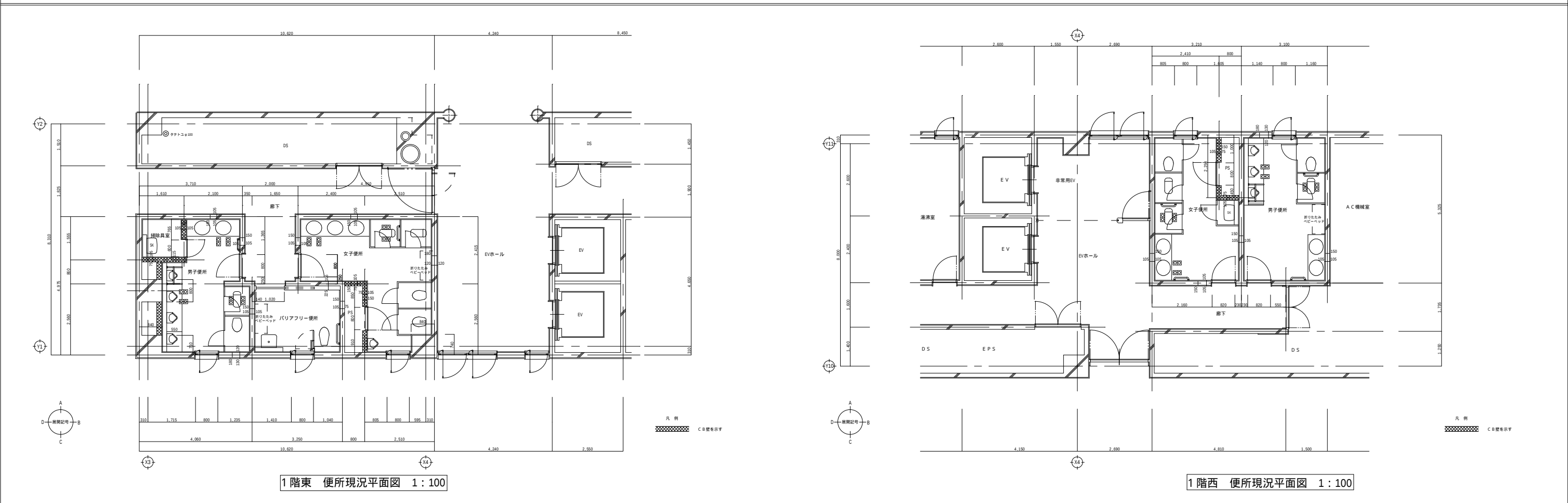
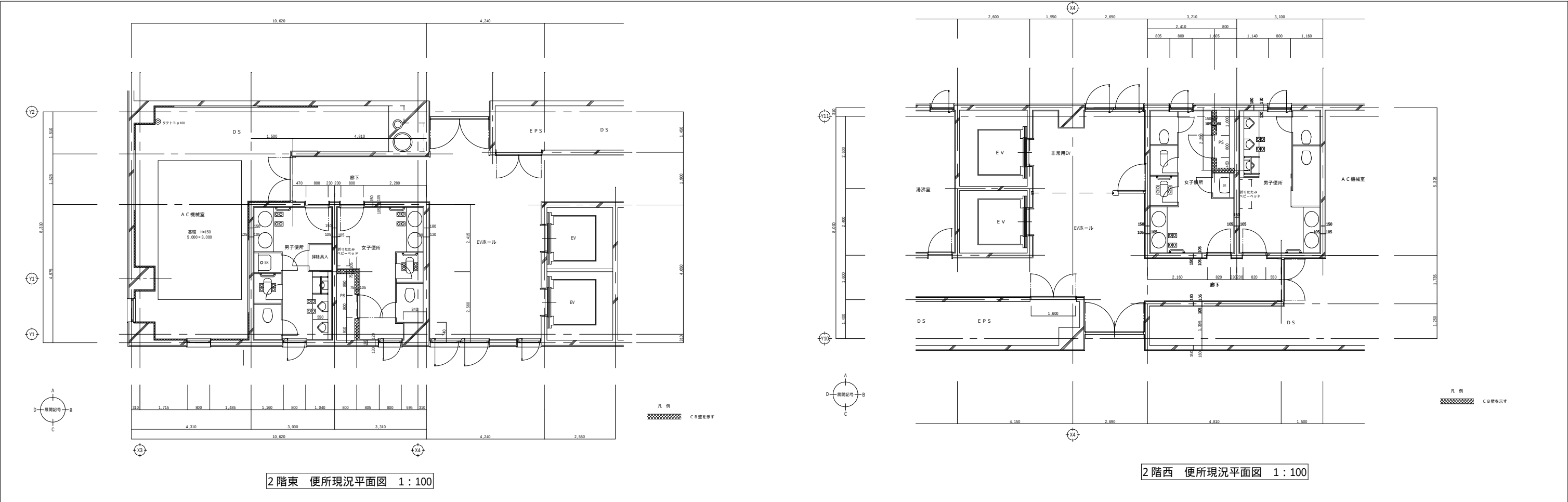
縮尺 1 : 200	図面番号
	No A-13 号図
	枚ノ内



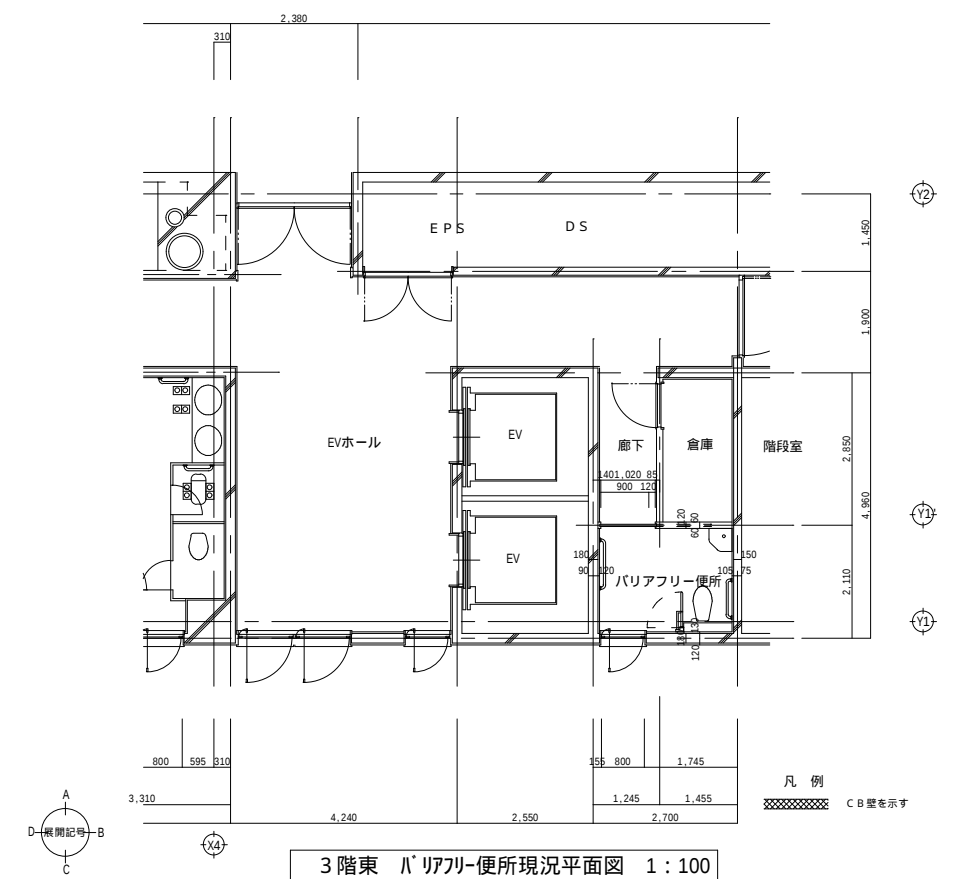
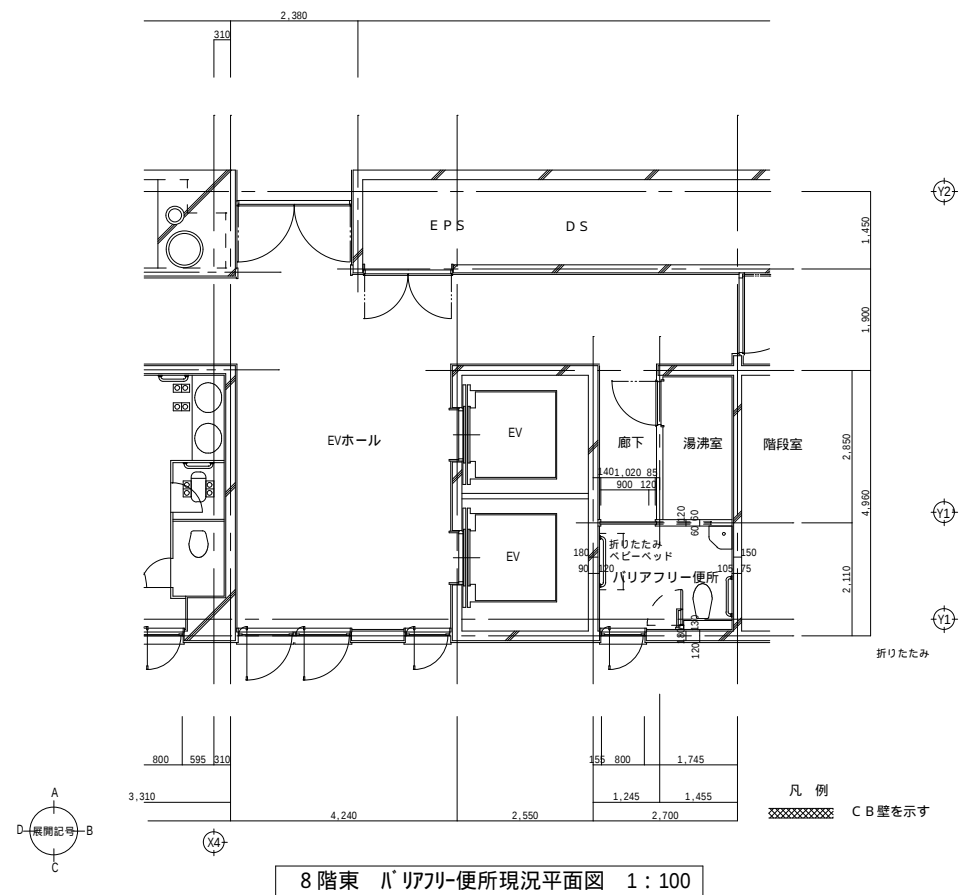
特記仕様		株式会社 木下建築設計事務所	製図年月日 R07.01			工事名称 本庁舎洋式トイレ温水洗浄機能化改修工事	縮尺 1 : 200	図面番号
			訂正年月日				No A-14 号図	
			監修 設計 製図			図面名称 6階、8階平面図 現況・仮設図		
			611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹生					枚ノ内



特記仕様	株式会社 木下建築設計事務所 611-0026 京都府宇治市開町37-10 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 一級建築士登録 第125477号 細野幹生	製図年月日 R07.01			工事名称 本庁舎洋式トイレ温水洗浄機能化改修工事	縮尺 1/200	図面番号 No A-15 号図
		訂正年月日					
		監修	設計	製図	図面名称 断面図 B-B	枚ノ内	



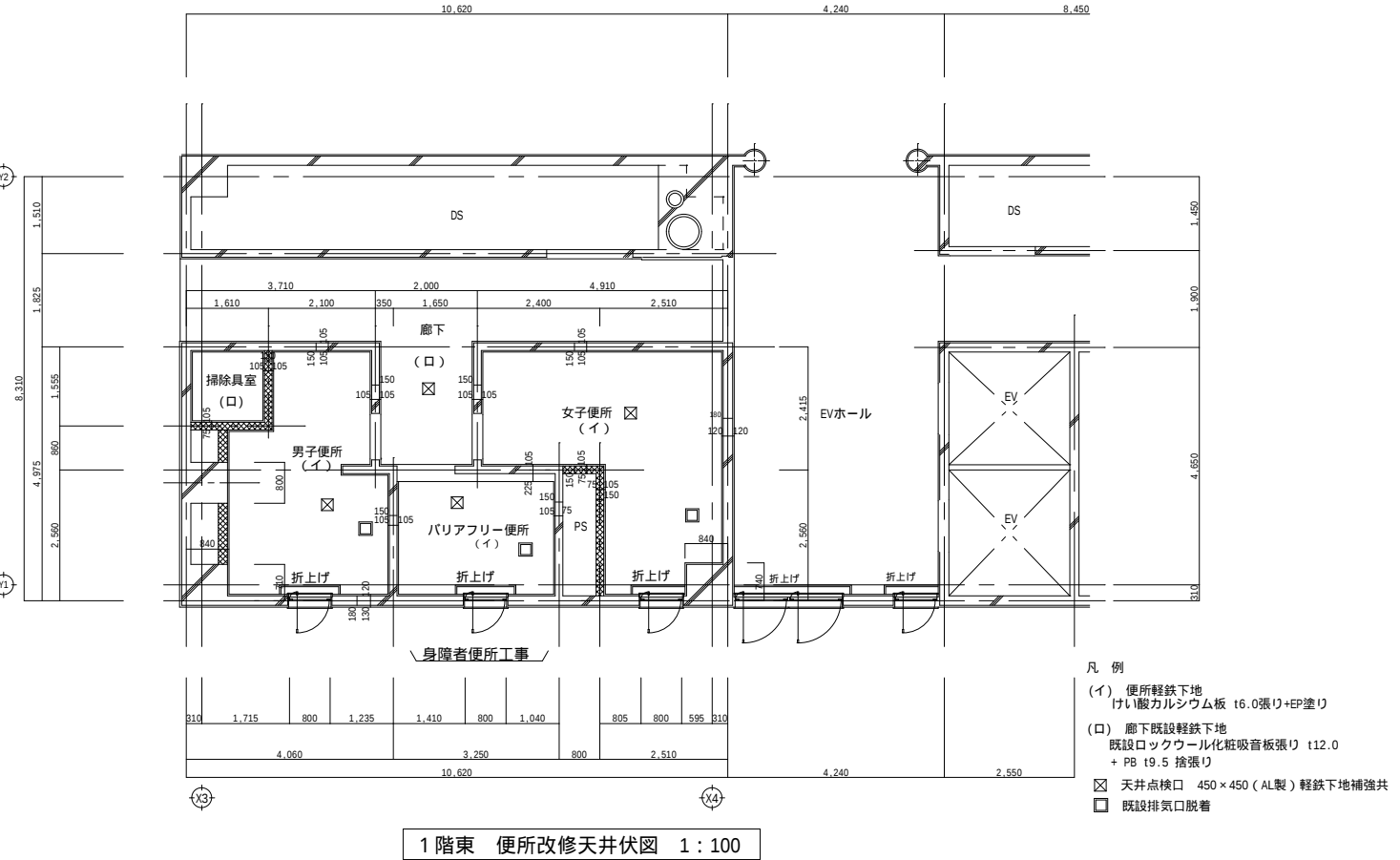
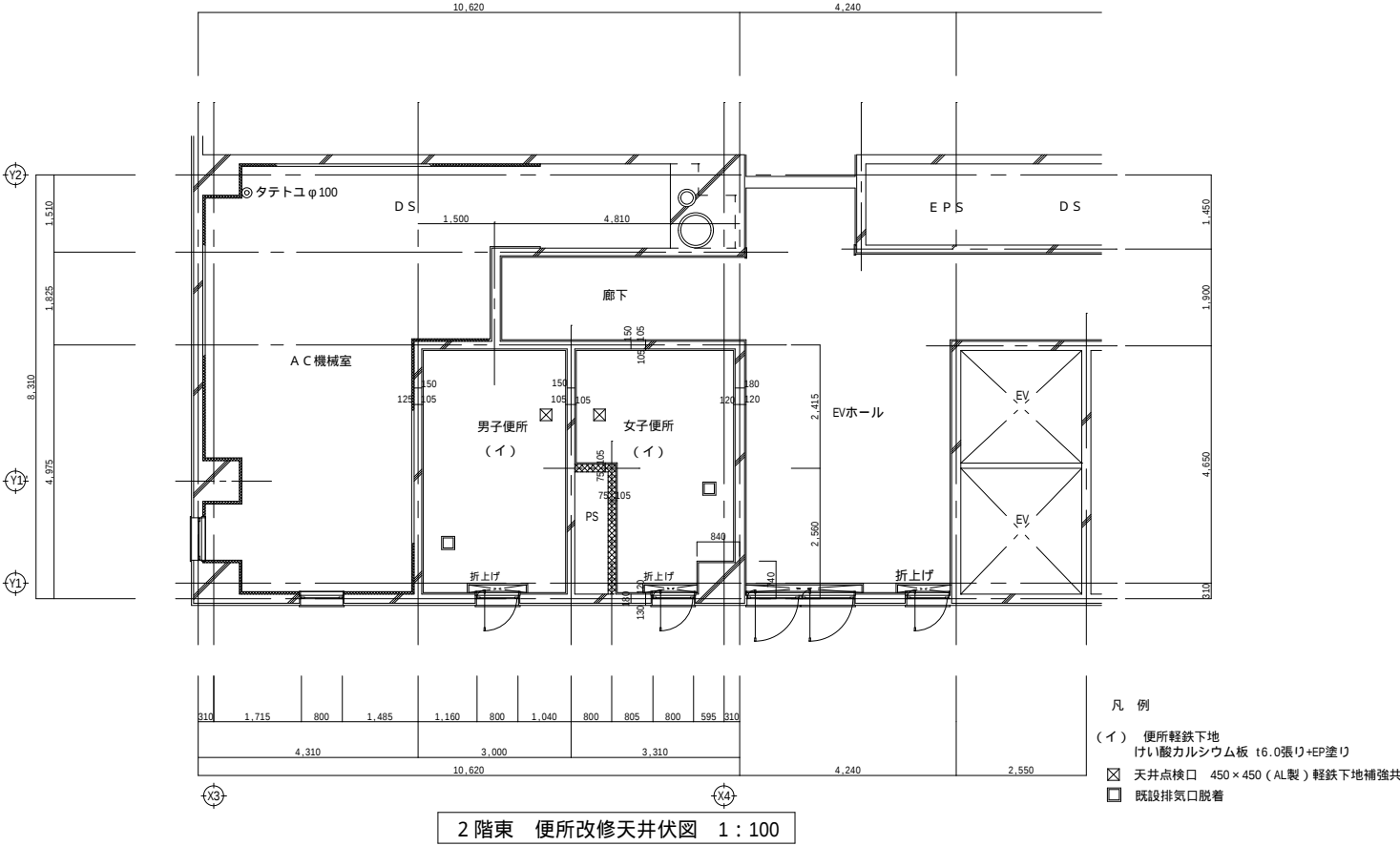
特記仕様	株式会社 木下建築設計事務所 611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹 生	製図年月日 R07.01			工事名称 本庁舎洋式トイレ温水洗浄機能化改修工事	縮尺 1:100	図面番号
		訂正年月日					No A-16 号図
		監修	設計	製図	図面名称 1階、2階 東・西 便所現況平面図		枚ノ内



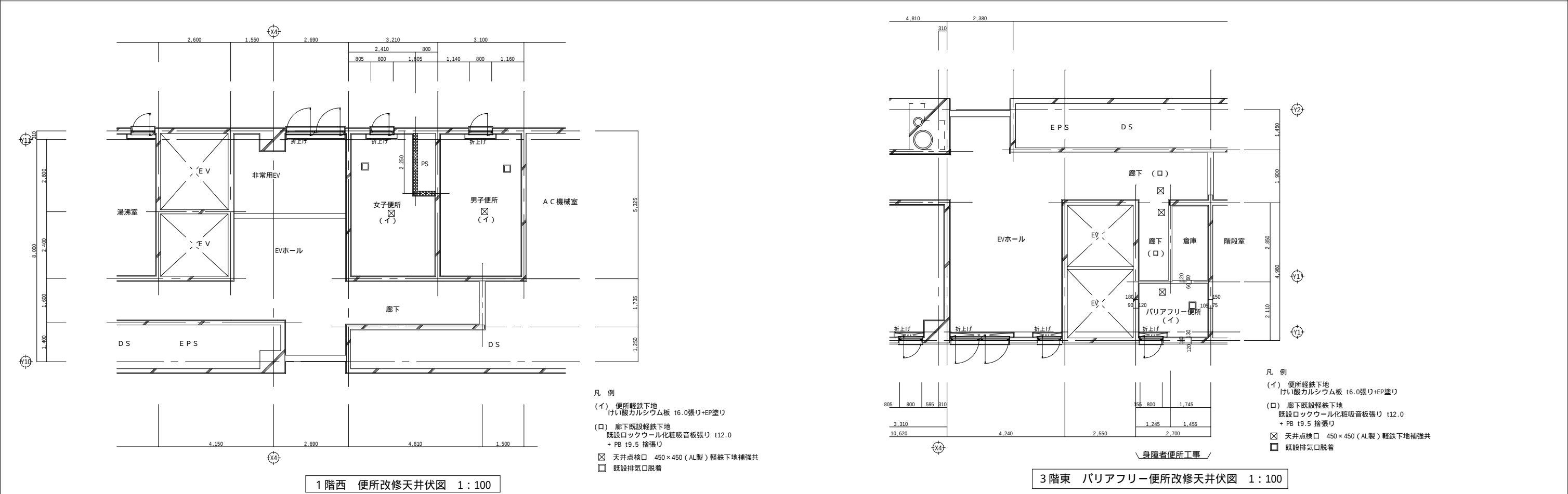
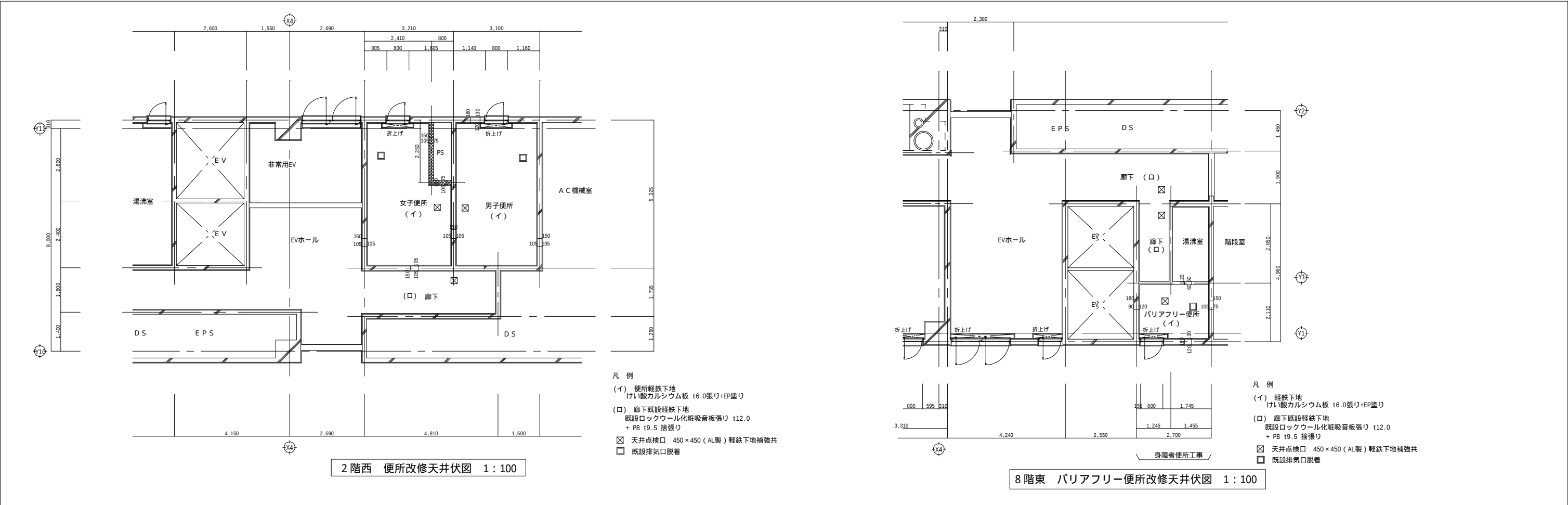
特記仕様	 株式会社 木下建築設計事務所 611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹生	製図年月日 R07.01			工事名称 本庁舎洋式トイレ温水洗浄機能化改修工事	縮尺 1:100	図面番号
		訂正年月日					No A-17 号図
		監修	設計	製図	図面名称 3階、8階 東 バリアフリー便所現況平面図		枚ノ内

便所・廊下仕上表

階	室名		床	壁	天井	備考
一階	東 男子便所	既設改修	磁器質タイル張り	陶器100角タイル張り	軽天+アスベスト板 t6 EP塗り	天井点検口、軽天PSﾊﾞｽﾄ板撤去、排気口脱着
	東 女子便所	既設改修	磁器質タイル張り	陶器100角タイル張り	軽天+ケイカル板 t6 EP塗り	天井点検口、軽天PSﾊﾞｽﾄ板撤去、排気口脱着
	バリアフリー便所	既設改修	磁器質タイル張り	陶器100角タイル張り	軽天+アスベスト板 t6 EP塗り	天井点検口、軽天PSﾊﾞｽﾄ板撤去、排気口脱着
	廊下	既設改修	長尺シート張り	複層模様吹付塗装	軽天+PB t9+ロックウール化粧吸音板 t12	天井点検口、軽鉄下地補強
	西 男子便所	既設改修	磁器質タイル張り	陶器100角タイル張り	軽天+アスベスト板 t6 EP塗り	天井点検口、軽天PSﾊﾞｽﾄ板撤去、排気口脱着
	西 女子便所	既設改修	磁器質タイル張り	陶器100角タイル張り	軽天+アスベスト板 t6 EP塗り	天井点検口、軽天PSﾊﾞｽﾄ板撤去、排気口脱着
	廊下	既設改修	長尺シート張り	複層模様吹付塗装	軽天+PB t9+ロックウール化粧吸音板 t12	天井点検口、軽鉄下地補強
						天井点検口、軽鉄下地補強
二階	東 男子便所	既設改修	磁器質タイル張り	陶器100角タイル張り	軽天+アスベスト板 t6 EP塗り	天井点検口、軽天PSﾊﾞｽﾄ板撤去、排気口脱着
	東 女子便所	既設改修	磁器質タイル張り	陶器100角タイル張り	軽天+アスベスト板 t6 EP塗り	天井点検口、軽天PSﾊﾞｽﾄ板撤去、排気口脱着
	廊下	既設改修	長尺シート張り	複層模様吹付塗装	軽天+PB t9+ロックウール化粧吸音板 t12	天井点検口、軽鉄下地補強
	西 男子便所	既設改修	磁器質タイル張り	陶器100角タイル張り	軽天+アスベスト板 t6 EP塗り	天井点検口、軽天PSﾊﾞｽﾄ板撤去、排気口脱着
	西 女子便所	既設改修	磁器質タイル張り	陶器100角タイル張り	軽天+アスベスト板 t6 EP塗り	天井点検口、軽天PSﾊﾞｽﾄ板撤去、排気口脱着
	廊下	既設改修	長尺シート張り	複層模様吹付塗装	軽天+PB t9+ロックウール化粧吸音板 t12	天井点検口、軽鉄下地補強
三階	東バリアフリー便所	既設改修	磁器質タイル張り	陶器100角タイル張り	軽天+アスベスト板 t6 EP塗り	天井点検口、軽天PSﾊﾞｽﾄ板撤去、排気口脱着
	廊下	既設改修	長尺シート張り	複層模様吹付塗装	軽天+PB t9+ロックウール化粧吸音板 t12	天井点検口、軽鉄下地補強
八階	東バリアフリー便所	既設改修	磁器質タイル張り	陶器100角タイル張り	軽天+アスベスト板 t6 EP塗り	天井点検口、軽天PSﾊﾞｽﾄ板撤去、排気口脱着
	廊下	既設改修	長尺シート張り	複層模様吹付塗装	軽天+PB t9+ロックウール化粧吸音板 t12	天井点検口、軽鉄下地補強



特記仕様		株式会社 木下建築設計事務所	製図年月日 R07.01			工事名称 本庁舎洋式トイレ温水洗浄機能化改修工事	縮尺 1 : 100	図面番号	
			訂正年月日				No A-18 号図		
			監修	設計	製図		図面名称 1 階、2 階 東 便所改修天井伏図 便所・廊下仕上表		
611 - 0 0 2 6 京都府宇治市開町 3 7 - 1 0 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細 野 幹 生					枚ノ内				



特記仕様	 株式会社 木下建築設計事務所 611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹 生	製図年月日 R07.01		工事名称 本庁舎洋式トイレ温水洗浄機能化改修工事	縮尺 1 : 100	図面番号	
		訂正年月日				No A-19 号図	
		監修	設計	製図	図面名称 1 階、2 階 西 便所改修天井伏図 3 階、8 階 東 バリアフリー便所改修天井伏図		枚ノ内

章	項 目	特 記 事 項
共 通	● はつり及び穴開け	1) 既存のコンクリート床・壁等の配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターを使用する。 2) 復旧はモルタル補修までとする。
	○ インサート及びアンカー	あと施工アンカー等を行う場合は、改修標準仕様書第2編第5章による。 施工後確認試験 ○ 行う (国土交通省大臣官房官庁官繕部の公共建築改修工事標準仕様書 (建築工事編) (令和4年版) 8章 1節 8. 1. 2. 7による。)
	○ 防煙ダンパー及び防火防煙ダンパー	復旧方式は 遠方復旧式 (電気式 (定格入力 DC24V 0.6A以下)) ○ 手動復旧式
	○ 消音内貼	ダクト及びチャンバー、消音エルボの内貼り (箇所図示) は下記による。 ・消音内貼り部分の外部保温は 不要 ○ 必要 ・チャンバーの寸法は、外形寸法を示す。 (ただし、ダクト及び消音エルボは、内形寸法を示す。) ・点検口は内貼り仕様又は断熱戸とする。
	○ ドレン抜き	外壁に面するガラリに直接取付けるチャンバー類に必要に応じ設ける。
	○ 取付枠	防火区画部に取付ける吹出口、吸込口等取付枠を必要とするものは鋼枠を使用する。
	○ 機器の基礎	アンカーボルト及びナットは、下記による。 ・屋外、多湿室等 (○溶融亜鉛めっき2種35 ○ステンレス鋼製 (SUS304)) ・その他 (○一般品) ○ 機器側の材質が SUS製の場合は、SUS製とする。
	○ 防火区画	○ 平面階 ○ 図示
	○ 掲示板	機械室に操作順序、注意事項、連絡先及び系統図などを書いた掲示板を設ける。
	○ 天井仕上区分	() 書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。
	○ 給油設備	オイルタンク ○ 地下 ○ 屋内 連隔油量指示計 ○ 鉛ける ○ 鉛けない

事項		副指示計	○設ける	○設けない
	オイルサービスタンク	油面計	○ゲージ式	○ガラス管式
		油面制御装置の機能は下記による。 ○給油ポンプの起動、停止制御用 ○返油ポンプの起動、停止制御用 ○満油警報 ○遠隔警報（○減油　○満減油）		
		油管（露出、トラフ内）	○配管用炭素鋼鋼管（黒）	
		油管（地中）	○ポリエチレン被覆鋼管	
	○建物進入部配管	○標準国産地下4（a）（フレキシブルジョイント）埋設用フレキシブルジョイント		

章

項目

特記事項

一

工事関係書類

管繕工事契約関係書類提出書類書式集 一覧表により提出。
宇治市ホームページ参照 <http://www.city.yuji.kyoto.jp>

履行報告

月報 2部 3部 毎月末に、翌月の5日までに提出する。

工事写真

1) 国土交通省大臣官房官庁営繕部「管繕工事写真撮影要領(最新版)」による。
2) 工事完成時、整理の上、1部提出する。
3) 小黒板電子化については、現場説明書による。

般

完成図書

名称	内容	大きさ	部数
○完成図	金文字製本	A4版	1部
○完成図	○背貼り製本(版)	○A4ファイル止め	2部
○施工図	○背貼り製本(版)	○A4ファイル止め	2部
○機器完成図等	機器製作図 ファイル止め	A4版	2部
	保守指導案内書(機器取説書を含む)		
	機器性能試験成績書・保証書・施工の試験成績書		
○諸官庁提出書類	副 本		1式
○原因	完 成 図		1部
○完成写真	アルバム綴り		2部

電子納品については、現場説明書による。

事

著作権等

当該建物において取得する、施工図等の著作権に係る当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。

項

付属品及び予備品

標準仕様書によるほか、別表による。

共

総合試運転調整
(測定結果は報告書にて提出)

○風量調整(測定共) ●水量調整(測定共) ○室内外空気の温湿度測定
○室内気流及びじんあいの測定 ○騒音の測定
○飲料水の水質の測定(項目) ○雑用水の水質の測定(項目)

○耐震施工

1) 設備機器の固定は、国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」により、計算を行い、監督職員に報告し承諾を得る。
2) 下記の設計用水平震度(KH)により、機器製作固定を行う。

設置場所	○特定の施設		○一般の施設	
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階、屋上及び塔屋	2.0(2.0)	1.5(2.0)	1.5(2.0)	1.0(1.5)
中間階	1.5(1.5)	1.0(1.5)	1.0(1.5)	0.6(1.0)
1階及び地下階	1.0(1.0)	0.6(1.0)	0.6(1.0)	0.4(0.6)

設置場所	○特定の施設		○一般の施設	
	水 槽		水 槽	
上層階、屋上及び塔屋	2.0		1.5	
中間階	1.5		1.0	
1階及び地下階	1.5		1.0	

注1 耐震安全性の分類が甲類の建物は特定の施設を、乙類の建物は一般の施設を適用する。
屋上に設置する機器は建物の耐震安全性の分類に準ずる。ただし、敷地内に甲類の建物と乙類の建物が混在する場合は、特定の施設を適用する。
注2 ()内の数値は、防震支持の機器の場合に適用する。
注3 設計用鉛直震度は、設計用水平震度の1/2とする。
注4 上層階の定義は、6階建以下の場合是最上階、7～9階建の場合は上階2階。
注5 重要機器(水槽類)は、下記に示すものとする。(水槽類にはオイルタンク等を含む。)
【 1】
注6 「建築設備耐震設計・施工指針(2014年版)」による形鋼振れ止め支持を行う場合はS種とする。ただし、取付け金物については標準図に準ずる。

通

●一般用弁

標準仕様書第2編2.2.1(ア)～(イ)によるほか、下記による。
1) 水道直結用及び面特記部の耐圧は10k以上、その他は5k以上とする。
2) 給水・給湯用の青銅製弁は、給水用青銅弁を使用する。

●フレキシブルジョイント

機器廻りに取付けるフレキシブルジョイントは、鋼板に対してはペローズ形、FRPに対しては合成ゴム製とする。

○鋼管用伸縮管継手

○ペローズ形 ○スリーブ形

○溶接接合

溶接部の非破壊検査は、
○適用しない
○適用する(○放射線透過検査 ○浸透深傷検査又は磁粉深傷検査)

○地中埋設管及び埋設表示用テープ

1) 給 水 管 地中埋設管(○要 ○不要) 埋設表示用テープ(○要 ○不要)
2) 消 火 管 地中埋設管(○要 ○不要) 埋設表示用テープ(○要 ○不要)
3) ガ ス 管 地中埋設管(○要 ○不要) 埋設表示用テープ(○要 ○不要)
4) 油 管 地中埋設管(○要 ○不要) 埋設表示用テープ(○要 ○不要)
5) プライン管 地中埋設管(○要 ○不要) 埋設表示用テープ(○要 ○不要)
用途表示のあるテープ(幅は150mm以上)で、2倍長以上重ね合わせで使用する。

○防食処理

地中埋設の排水用塩ビライニング鋼管は、防食処置を行う。

事

●保温

1) 保温材の仕様は、下記による。

給水管・排水管	●ポリスチレンフォーム保温材	○
排煙ダクト・煙道、排気筒	○ロックワール保温材	○
その他	○グラスウール保温材	○

2) 鋼板製タンクの保温 ○必要 ○不要
3) 保温を施す膨張タンク等の蓋の保温 ○必要 ○不要
4) エア抜管の保温厚は20mmとし、仕様は当該配管の項に準ずる。また、保温を行う範囲はエア抜弁までとする。
5) 露出配管の保温外装種別は、下記による。
・屋内 ○合成樹脂カバー1 ●CD管28mm(天井内) ○カラー亜鉛鉄板
・屋外 ○ステンレス鋼板
6) 弁、ストレーナ等の金属製カバー外装種別は、下記による。
・屋内 ○カラー亜鉛鉄板 ○ステンレス鋼板
・屋外 ○カラー亜鉛鉄板 ○ステンレス鋼板
7) 車庫内のダクト及び配管の保温は、機械室による。
8) 合成樹脂製支持受 ○硬質ウレタンフォームに準ずるもの
○ビーズ法ポリスチレンフォームに準ずるもの

項

○塗装
(露出施工部)

標準仕様書によるほか、下記により塗装(指定色)を行う。ただし、保温を行うものは除く。
○屋外(○ダクト・配管) ○屋内居室(○ダクト・配管) ○廊下(○ダクト・配管)
○屋内PS・EPS(○ダクト・配管) ○屋内機械室・電気室(○ダクト・配管)

○吹出口及び吸込口ボックス

ボックスの材質について、特記がない場合は亜鉛鉄板製とする。ただし、グラスウール製とする場合はJISA4009(空気調和及び換気設備用ダクトの構成部材)によるものとし、厚さは0.6mm以上の亜鉛鉄板で補強を施したものとす。
ボックスの吊りは3点支持を標準とし、これによれない場合は監督職員との協議による。

○ステンレス製の板厚

ステンレス製ダクトの板厚は JISA4009 2017による

○ボックス

PF管で配管する場合は、樹脂製ボックスを使用する。

○容量等の表示

機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。ただし、電動機の出力、燃料消費量及び圧力損失は、表示された数値以下とする。

○誘導電動機

電動機出力が0.75kW以上の低圧三相かご形誘導電動機の規格は、JISC4213(低圧三相かご形誘導電動機・低圧トッピングモータ)による。

○開放形膨張タンク等

開放形膨張タンク、補給タンク及び消火用充水タンクの材質は次による
○鋼板製 ○ステンレス鋼板製

○電線及び電線管

電線及び電線管については標準仕様書第4編第1章第5節による

		○標準図施工 5 (b) (ポルジョイント) ○標準図施工 5 (c) (スクリューション)		
	○鋼材	屋外露出部分 ○溶融亜鉛めっき 2 種 3 5 ○ステンレス鋼製 (S U S 3 0 4)		
	○制御及び操作盤	構成 ○進相コンデンサー ○運転時計 表示等 ○運転 (赤色) 及び停止 (緑色) 表示 ○保護継電器の動作表示 接点及び端子 ○遠方発停用端子 ○湿度調節器用端子 ○運転時間表示用端子 ○温水出入口温度用端子 ○冷水出入口温度用端子 ○消費電力表示用端子 (ボイラーの場合、小型貫流ボイラーに適用) ○給水量表示用端子 (ボイラーの場合、小型貫流ボイラーに適用) ○燃料消費量表示用端子 (ボイラーの場合、小型貫流ボイラーに適用)		
空	○主方式	○全空気方式 (○中央 ○ファンコイル・ダクト併用方式 ○個別方式		
	○主要熱源機器	○吸入冷温水機 ○チリングユニット ○空気熱源ヒートポンプユニット ○空冷ヒートポンプパッケージ形空気調和機 (○ E H P ○ G H P		
	○設計時の温湿度条件	場 所 屋 外 屋内 (調整目標値) 一般居室 時 期 温度 (D B) 湿度 (R H) 温度 (D B) 湿度 (R H) 温度 (D B) 湿度 (R H) 冬 期 % % % % 夏 期 % % % %		
	○長方形ダクトの工法	○アングルフランジ工法 ○コーナーボルト工法 (○ 共板フランジ工法 ○スライドオンフランジ工法)		
調 和	○ダクトの分岐方法	○割込み工法 (○ 直付け工法		
	○配管材料 (図面特記部分は除く)	冷温水管 冷却水管 ドレン管 蒸気配管 給気管 還 管 補給水管 膨張管 エア抜管 加温給水管 冷媒管	○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○硬質塩化ビニルライニング鋼管 (S G P - V A、S G P - F V A) ○配管用炭素鋼鋼管 (白) (○ねじ接合 ○ M Dジョイント) ○水配管用亜鉛めっき鋼管 ○硬質ポリ塩化ビニル管 (V P) ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (R F - V P) ○配管用炭素鋼鋼管 (黒) ○圧力配管用炭素鋼鋼管 (黒) ○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○硬質塩化ビニルライニング鋼管 (S G P - V A、S G P - F V A) ○一般配管用ステンレス鋼鋼管 (S U S 3 0 4) ○鋼管 ○断熱材被覆鋼管 (ガス管 : ハイレード仕様)	○一般配管用ステンレス鋼鋼管 (S U S 3 0 4) ○

A2 594 × 420

機械設備工事特記仕様書 №2

項 目		特 記 事 項																
空 気 調 和 設 備	○銅板製煙道 (ボイラー)	厚さ ○ 3 . 2 mm ○ 4 . 5 mm ○ ばい煙濃度計の取付座 ○ ばいじん量測定口 ○ 伸縮盤手 ○ 掃除口																
	○ ばい煙濃度計 (ボイラー) ○ 瞬間流量計	送風機付き ○ 送風機なし (電源は熱源機器付屋制御盤より取出し、配管配線共本工事に含む) ○ 固定形 個 ○ 着脱可能形 (測定用タッピング 個 本体 個)																
	○ 保温 (図面特記部分は除く)	1) 冷媒管の保温外装は下記による。 ・ 屋内 隠ぺい部 ○ 不要 ○ 必要 露 出 部 ○ 保温化粧ケース (塩化ビニル樹脂製) ○ ・ 屋外 ○ ステンレス鋼板 ○ 保温化粧ケース (樹脂製 ○ アルミ合金製 ○ ステンレス鋼板製 ○ 溶融亜鉛めっき鋼板製) ・ 保温化粧ケースの下部カバー ○ 必要 ○ 不要 2) ファンコイルユニット等のドレン管の保温は、給排水設備工事の排水管による。 3) 加湿用給水水槽の保温は膨張タンクに準ずる。 4) トラフ内の油管はプラスチックテープ 1 / 2 重ね 1 回巻きとする。																
	○ダクトの工法	○アングルフランジ工法 ○コーナーボルト工法 (○ 共板フランジ工法 ○ スライドオンフランジ工法) ○スパイラルダクト ○アルミフレキシブルダクト																
換 気 設 備	○ダクトの分岐方法	給気ダクト ○ 割込み方式 ○ 直付け方式 排気ダクト ○ 割込み方式 ○ 直付け方式																
	○ 厨房排気ダクトの板厚	厨房排気ダクトは亜鉛鉄板製とし、板厚は下記による。 <table><tr><th colspan="2">ダ ク ト の 長 辺</th><th>板 厚</th></tr><tr><td>450mm以下</td><td></td><td>0 . 6 mm</td></tr><tr><td>450mmを超え1200mm以下</td><td></td><td>0 . 8 mm</td></tr><tr><td>1200mmを超え1800mm以下</td><td></td><td>1 . 0 mm</td></tr><tr><td>1800mmを超えるもの</td><td></td><td>1 . 2 mm</td></tr></table>		ダ ク ト の 長 辺		板 厚	450mm以下		0 . 6 mm	450mmを超え1200mm以下		0 . 8 mm	1200mmを超え1800mm以下		1 . 0 mm	1800mmを超えるもの		1 . 2 mm
	ダ ク ト の 長 辺		板 厚															
	450mm以下		0 . 6 mm															
450mmを超え1200mm以下		0 . 8 mm																
1200mmを超え1800mm以下		1 . 0 mm																
1800mmを超えるもの		1 . 2 mm																
○ 排気フード	1) 排気フードの補強・支持金物・接合剤等は、亜鉛鉄板製ダクトの当該事項によるものとし、材質は下記による。 ステンレス鋼板 (補強共) 2) 排気フード廻りに取付ける幕板は、上記フードと同材質とする。 ○ 本工事 ○ 別途工事 3) グリスフィルターの予備 ○ 不要 ○ 必要																	
○ 保 温	浴室・厨房 (多湿箇所) の外気取入ダクトの保温 ○ 不要 ○ 必要 外気取入ダクトの保温 (空調を行っている室について) ○ 不要 ○ 必要 全熱交換器までの外気取入ダクトの保温 (空調を行っている室について) ○ 不要 ○ 必要 全熱交換器以降の外気取入ダクトの保温 (空調を行っている室について) ○ 不要 ○ 必要 保温を行う場合の仕様は標準仕様書第 2 編第 3 章第 1 節による。																	
排 煙 設 備	○ 排煙対象部分	○ 廊下 ○ 事務室 ○ 図示 ○ 最大面積 m ²																
	○ダクトの種類	○ 高圧 1 ダクト ○ 高圧 2 ダクト																
	○ダクトの工法	○アングルフランジ工法																
	○ダクトの材料	○亜鉛鉄板製 ○銅板製 (1 . 5 mm 以上)																
設 計 制 御	○ 排煙口	1) 形 状 ○スリットフェース形 ○ パネル形 ○ ダンパー形 2) 排煙口の開放 ○ 手動 (○ 機械式 ○ 電気式) ○ 煙感知器連動 3) 復帰装置 ○ 手元復帰式 (○ 手動式 ○ 電気式) ○ 遠方復帰式 4) ダンパー本体及び操作箱との渡り配線は本工事とし、それ以降の制御配管配線は別途工事とする。																
	○ 保温	床下及び暗渠内の保温 不要 ○ 必要 (図示) 図面による。																
衛 生 器 具 設 備	● 小便器用節水装置	電気供給方式 ● A C 電 源 ○ 乾電池 ○ 自己発電																
	○ 自動水栓	電気供給方式 ● A C 電 源 ○ 乾電池 ○ 自己発電 手動スイッチ ○ 無し ○ 有り																
	● 大便器用洗浄便座	操作方式 ○ 手動式 ● 温水洗浄便座 ○ 電気開閉式 (○ センサー式 ○ タッチスイッチ式)																
	○ 水石けん入れ	○ 手洗器一体型 ○ 手洗器分離型 ○																
給 水 設 備	●ﾊﾟﾘｱｱﾘ-便所洗浄便座	1) 大便器洗浄弁 ○ センサー式 ○ タッチスイッチ式 ○ レバー式 2) 洗面器の水栓は自動水栓とする。 ● 温水洗浄便座																
	● 給水方式	○水道直結方式 ○高置タンク方式 ○水道直結増圧方式(水道用直結加圧形ポンプユニット) ○ポンプ直送方式(小型給水ポンプユニット) ●温水タンク及び高置タンク																
	● 配管材料 (図面特記部分は除く)	屋内配管 ○一般配管用ステンレス鋼鋼管 (S U S 3 0 4) (呼び径 6 0 S u 以下は拡管式、呼び径 7 5 S u 以上は溶接接合) ○水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (H I V P) ●ポリエチレン粉体ライニング鋼管 (S G P - P B) ●既設管硬質塩化ビニルライニング鋼管 (S G P - V A 、 S G P - F V A) ●架橋ポリエチレン管(保温付 保温厚 5mm)露出部分・天井・PS内 地中配管 [屋 内] ○一般配管用ステンレス鋼鋼管 (S U S 3 1 6) (呼び径 6 0 S u 以下は拡管式、呼び径 7 5 S u 以上は溶接接合) ○水道用ポリエチレン二層管 (5 0 A 以下) (1 種 ○ 2 種) (接合方法 メカニカル ○電気融着) ○水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (H I V P) ○ポリエチレン粉体ライニング鋼管 (S G P - P D 、 S G P - F P D) ○硬質塩化ビニルライニング鋼管 (S G P - V D 、 S G P - F V D) ○ 地中配管 [屋 外] ○一般配管用ステンレス鋼鋼管 (S U S 3 1 6) (呼び径 6 0 S u 以下は拡管式、呼び径 7 5 S u 以上は溶接接合) ○水道用ポリエチレン二層管 (5 0 A 以下) (1 種 ○ 2 種) (接合方法 メカニカル ○電気融着) ○水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (H I V P) ○ポリエチレン粉体ライニング鋼管 (S G P - P D 、 S G P - F P D) ○硬質塩化ビニルライニング鋼管 (S G P - V D 、 S G P - F V D)																
	○緊急遮断弁装置	○ 必要 ○ 不要 駆動方式 ○ 電気式 ○ 機械式																
○ 量水器	○ 現地表示式 (直読式) ○ 遠隔表示式 (パルス式)																	

章	項 目	特 記 事 項	
給 水 設 備	○水栓柱	○合成樹脂製（70×70×1300H） ○ステンレス製（ ） ○アルミニウム合金製（ ） ○不凍水栓柱（ ） 特記なき場合、水栓取付け高さは約600とする。	
	○管の埋設深さ	1）一般敷地 ○300mm 2）構内車両通路 ○600mm 3）寒冷地では凍結深度以上とする。	
	○埋戻し及び盛土	○良質土 ○再生コンクリート砂 ○山砂	
	○加入金・負担金	○不要 ○必要（○別途 ○本工事）	
排 水 設 備	○本管引込工事	○本工事（○舗装本復旧まで ○舗装仮復旧まで） ○別途工事	
	○排水方式	汚水と雑排水 [屋内] 汚水・雑排水と雨水[屋外] ポンプアップ排水	○分流式 ○合流式 ○分流式 ○合流式 ○有り（○雑排水 ○汚水 ○雨水 ○湧水 ○浄化槽2次側）○無し
	○放流式	汚水 雑排水 雨水ポンプアップ排水 湧水ポンプアップ排水	○直放流下水管 ○浄化槽 ○ ○直放流下水管 ○浄化槽 ○別途樹・側溝 ○直放流下水管 ○雨水側溝 ○雨水樹 ○直放流下水管 ○雨水側溝 ○雨水樹
	○配管材料 （図面特記部分は除く）	屋内雑排水管	○水道用亜鉛めっき鋼管 ○配管用炭素鋼鋼管（白）（○ねじ接合 ○MDジョイント） ○排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 ○硬質ポリ塩化ビニル管（VP） ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF・VP） ○排水・通気用耐火二層管（VP）
水 配 管 設 備		屋内汚水管	○排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 ○硬質ポリ塩化ビニル管（VP） ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF・VP） ○排水・通気用耐火二層管（VP）
		通気管	○配管用炭素鋼鋼管（白）（○ねじ接合 ○MDジョイント） ○硬質ポリ塩化ビニル管（VP） ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF・VP） ○排水・通気用耐火二層管（VP）
		地中配管[屋内]	○硬質ポリ塩化ビニル管（VP） ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管（RS・VU）
		地中配管[屋外]	○硬質ポリ塩化ビニル管（○VP ○VU） ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管（RS・VU）
給 湯 設 備		鋼管類のポンプアップ排水用の配管は、硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP・VA、SGP・FVA）（地中配管はSGP・VD、SGP・FVD）とし、継手はフランジ接合とする。	
	○負担金	○不要 ○必要（○別途 ○本工事）	
	○本管接続工事	○本工事（○舗装本復旧まで ○舗装仮復旧まで） ○別途工事	
	○給湯方式	○中央式 ○局部式	
消 火 設 備	○配管材料	○水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP・HVA） ○一般配管用ステンレス鋼管 ○鋼管（壁又は床埋設をする場合は、保温付被覆鋼管を使用してもよい。） ○被覆鋼管	
	○保温	ガス湯沸器の排気筒の隠蔽面所の保温は、標準仕様書第2編3.1.5の表2.3.5による。	
	○消火設備の種類	○屋内消火栓 ○スプリンクラー ○泡消火 ○不活性ガス消火（ ） ○連結送水管 ○	
	○配管材料 （図面特記部分は除く）	屋内配管	○配管用炭素鋼鋼管（白） ○圧力配管用炭素鋼鋼管（白 Sch 40） ○一般配管用ステンレス鋼管
ガ ス 設 備		地中配管[屋内][屋外]	○消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（SGP・VS） ○消火用ポリエチレン管（PE）
	○保温	消火用充水タンクの保温を ○施工する（膨張タンクによる） ○施工しない 消火用呼水タンクの保温を ○施工しない ○施工する（膨張タンクによる） 屋外露出管の保温を ○施工しない ○施工する（給水管の保温仕様に準ずる） 屋内露出管の保温を ○施工しない ○施工する（給水管の保温仕様に準ずる） トレンチ内の保温を ○施工しない ○施工する（給水管の保温仕様に準ずる）	
	○ガスの種類	○都市ガス （発熱量 ○45,000kJ/Nm3 ○ kJ/Nm3） ○液化石油ガス （○50kg 本立 ○20kg 本立）	
	○ガスメーター	○縦メーター ○貸与品 ○購入 ○横メーター ○購入 ○貸与品 計量方式（○案測式 ○パルス式）	
設 計 制 御	○配管材料 （図面特記部分は除く）	屋内配管	○配管用炭素鋼鋼管（白） ○
		地中配管[屋内][屋外]	○ポリエチレン被覆鋼管 ○ガス用ポリエチレン管 ○
		都市ガスの場合は、供給者仕様による。	
	○地中配管の接合方法	○SGM工法 ○ネジ工法 ○PE管工法	
設 計 制 御	○ビット内施工法	○溶接工法	
	○負担金	○不要 ○必要（○別途 ○本工事）	
	○本管接続工事	○本工事（○舗装本復旧まで ○舗装仮復旧まで） ○別途工事	
	○排水井設備		
設 計 制 御	○掘削工法	○バーカッション式 ○ロータリー式 ○ダウンザホールハンマ式 ○回転振動式	
	○孔口保護管	深度（ ）m 配管用炭素鋼鋼管（黒） ○配管用ステンレス鋼鋼管	
	○ケーシング材質		
	○掘削工法	○回転振動式 ○ロータリー式 ○ダウンザホールハンマ式 ○ロータリーバーカッション式	
設 計 制 御	○掘削工法	図面による。	

凡 例

記 号	名 称	SGP	SGP	PP	FDPD-VP	備 考
		-VA	-PB			
—— — — — —	新設給水管 (1 ～ 8 階便所) PS内		●			
—— — — — —	新設給水管 (1 ～ 8 階便所) 天井内・屋内露出			●		
—— — — — —	既設給水管 (1 、 2 、 3 、 8 階便所)	●				
═══┐═══	既設汚水管 (1 、 2 、 3 、 8 階便所)				●	
	(改 修 な し)					
—— — — — —	既設雑排水管 (1 、 2 、 3 、 8 階便所)				●	
	(改 修 な し)					
-----	既設通気管 (1 、 2 、 3 、 8 階便所)				●	
	(改 修 な し)					
—X—X—X—X—	撤去 給水管 (1 ～ 8 階便所)	●				1階バリアフリー便座 一部ステンレス管

- 1) 上表中●印を適用する
- 2) 管材は下記の通りとする
- | | |
|---------------|-----------------------|
| SGP-V A | 水道用塩化ビニルライニング鋼管 (白) |
| SGP-P B | ポリ粉体ライニング鋼管 (白) |
| H I V P | 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 |
| P P | 架橋 ポリレン管 (保温付) |
| F D P D - V P | 耐火二層管 |

参考製造業者指定

N O	品 目	製 造 者 名 簿
1	衛生陶器及び附属品	T O T O (株)
2	配管用化粧カバー	積水化学工業 (株) 因幡電工 (株)

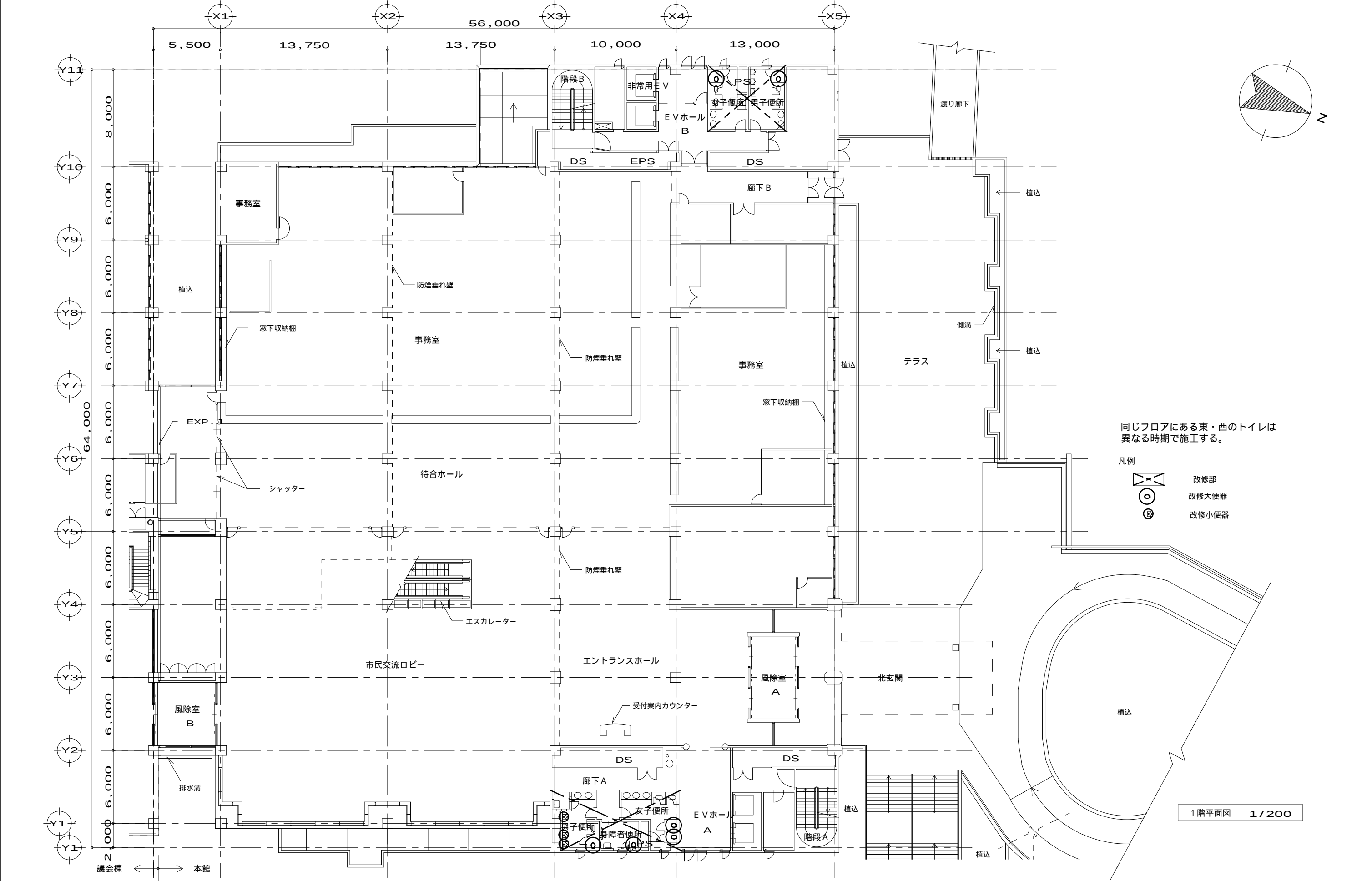
衛生器具表

品 名	参考品番	附 属 品	1 階	1 階	1 階	1 階	1 階	2 階	2 階	2 階	2 階	3 階	8 階	計
			東	東	東	西	西	東	東	西	西	車い	車い	
			男子便所	車い便所	女子便所	男子便所	女子便所	男子便所	女子便所	男子便所	女子便所	車い便所	車い便所	
温水洗浄便座	T C F 5831	T H 484 V 3 (アングル止水栓) 定格AC100V 1261W			2		1		1		1			5
	アプリコット	便座ふたあり 新設			C S 4 6 0 M		C 2 1		C 2 1		C 2 1			
	擬音装置付き	既設洋風大便器 C 2 1 再使用 (普通便座 擬音装置共撤去)												
	擬音装置付き	既設洋風大便器 C S 460M再使用 普通便座 擬音装置共撤去)												
温水洗浄便座	T C F 5831	T H 484 V 3 (アングル止水栓) 定格AC100V 1261W	1			1		1		1				4
	アプリコット	便座ふたあり 新設	C 2 1			C 2 1		C 2 1		C 2 1				
	擬音装置付き	既設洋風大便器 C 2 1 再使用(普通便座 撤去)												
温水洗浄便座	T C F 5831P	T H 484 V 3 (アングル止水栓) 定格AC100V 1261W		1						1		1	1	4
	アプリコット	便座ふたなし (金属プレート) 新設		C 4 8 A S						C 4 8 0 A		C 4 8 A S	C 4 8 A S	
	擬音装置付き	既設洋風大便器 C 4 8 A S 再使用 (普通便座 撤去)												
	擬音装置付き	既設洋風大便器 C 4 8 0 A 再使用 (普通便座 撤去)												
傾斜鏡	L M 5 3 1 E	L E D 照明付き 寸法 528 X 297 X 743H 撤去・新設		1										1
シビン洗浄水栓	T 9 5 W R R	止水栓共		1										1
		既設パウチ、シビン洗浄装置撤去共 (1階 車椅子便所)		C 4 8 A S										
小便器用感知 フラッシュバルブ	T E A 9 8 S	露出型 AC100V 既設 T E A 90 撤去・新設	3					1		1				5
		フレキシブルジョイント共												

壁改修リスト

場 所 棟、階 ダイヤモンドル穴明け	1 階			2 階		3 階	8 階			計
	東便所	車い便所	西便所	東便所	西便所	車い便所	車い便所			
75φ X 150 L (ﾌﾞﾛｯｸ)	1		1	1	1					4
75φ X 150 L (ｺﾝｸﾘｰﾄ)		2	1	1	1					5

特記仕様	株式会社 木下建築設計事務所 611 - 0 0 2 6 京都府宇治市開町 3 7 - 1 0 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細 野 幹 生	製図年月日 R07.01			工事名称 本庁舎洋式トイレ温水洗浄機能化改修工事	縮尺	図面番号
		訂正年月日				No M-03 号図	
		監修	設計	製図	図面名称 凡例・衛生器具表 他		枚ノ内

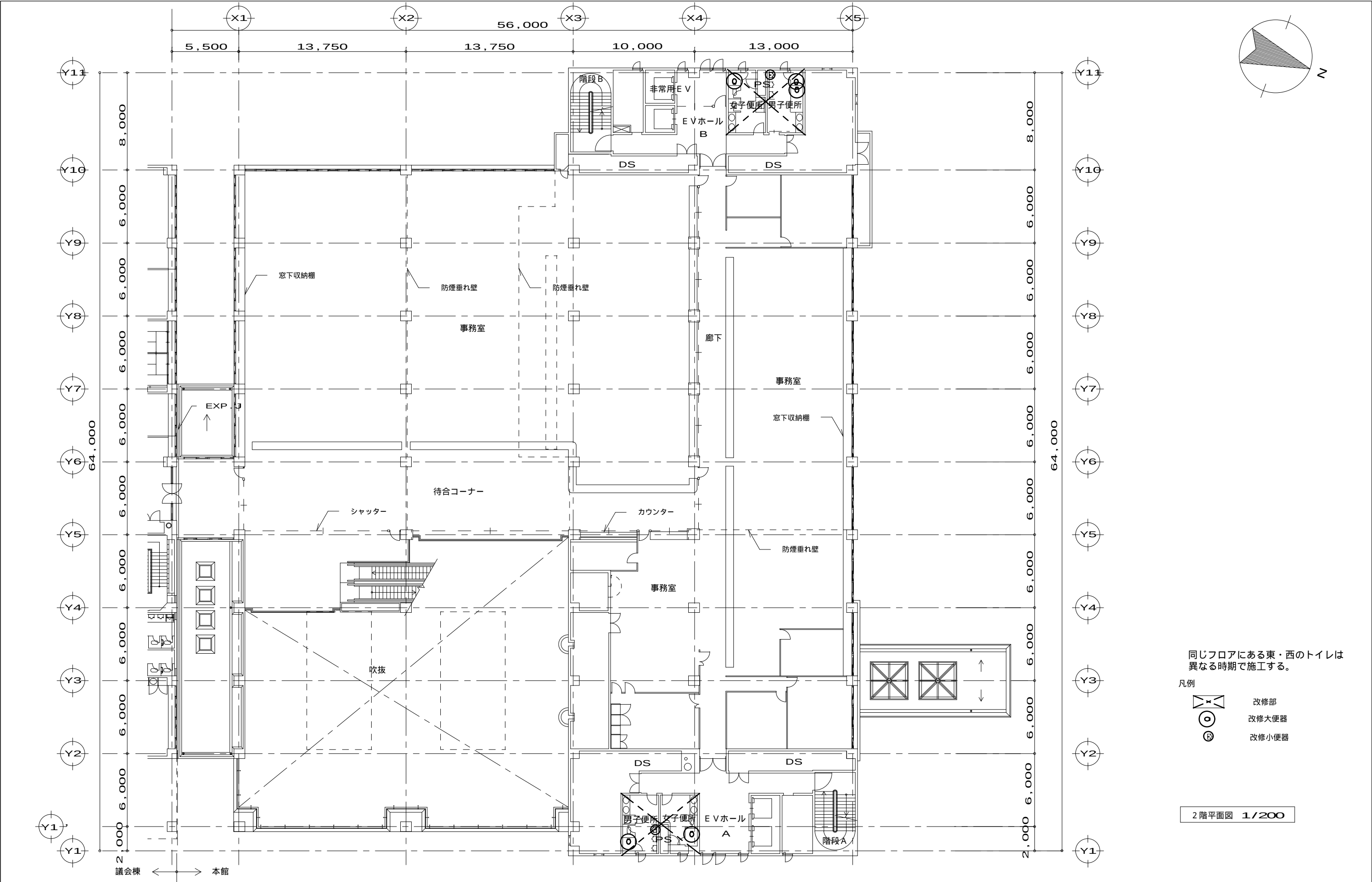


同じフロアにある東・西のトイレは異なる時期で施工する。

- 凡例
- 改修部
 - 改修大便器
 - 改修小便器

1 階平面図 1 / 200

特記仕様		株式会社 木下建築設計事務所	製図年月日 R07.01			工事名称 本庁舎洋式トイレ温水洗浄機能化改修工事	縮尺 1 : 200	図面番号
			訂正年月日					No M-04 号図
			監修	設計	製図			
			図面名称 1 階平面図					枚ノ内
		611 - 0 0 2 6 京都府宇治市開町 3 7 - 1 0 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細 野 幹 生						



同じフロアにある東・西のトイレは異なる時期で施工する。

凡例



改修部



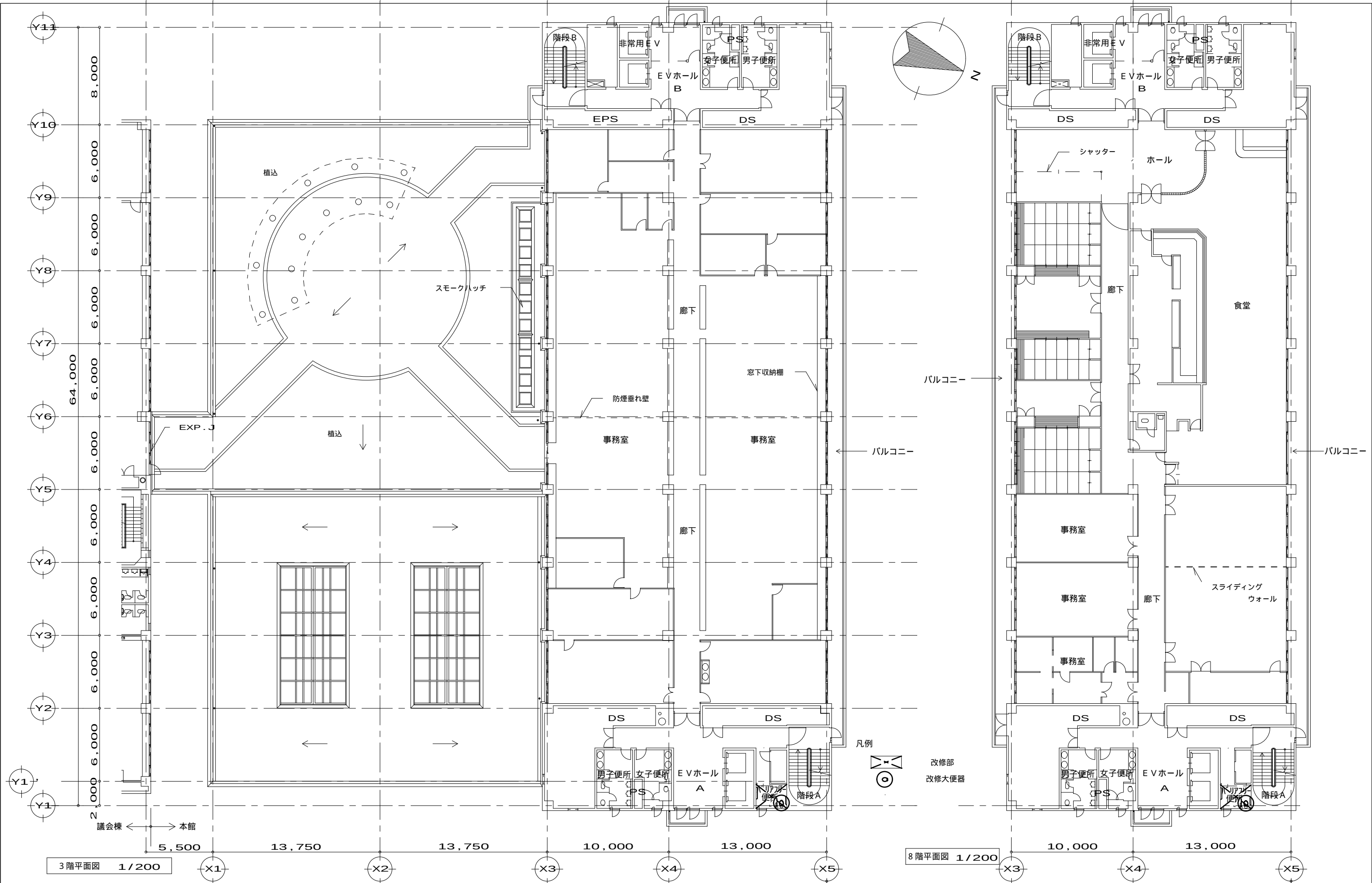
改修大便器



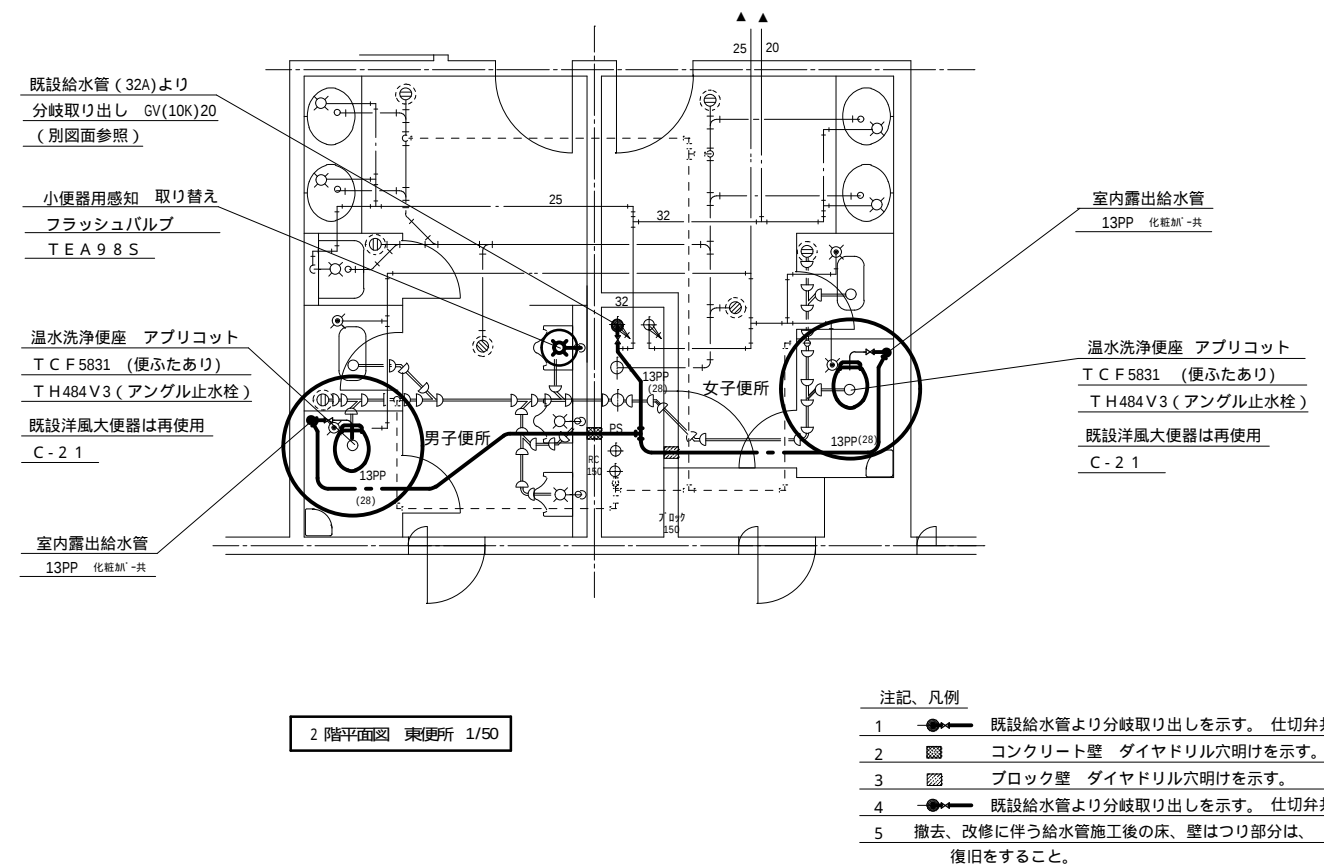
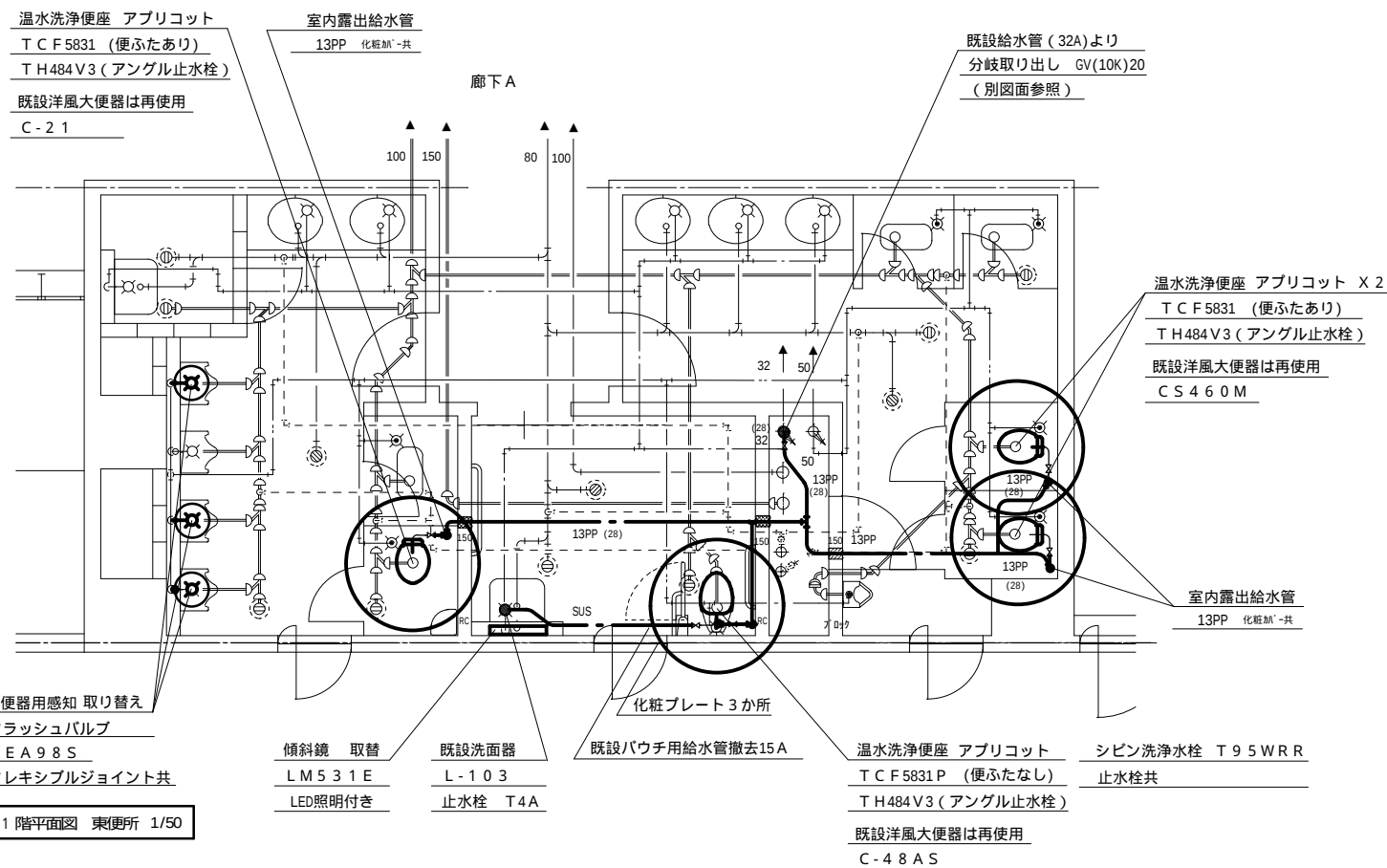
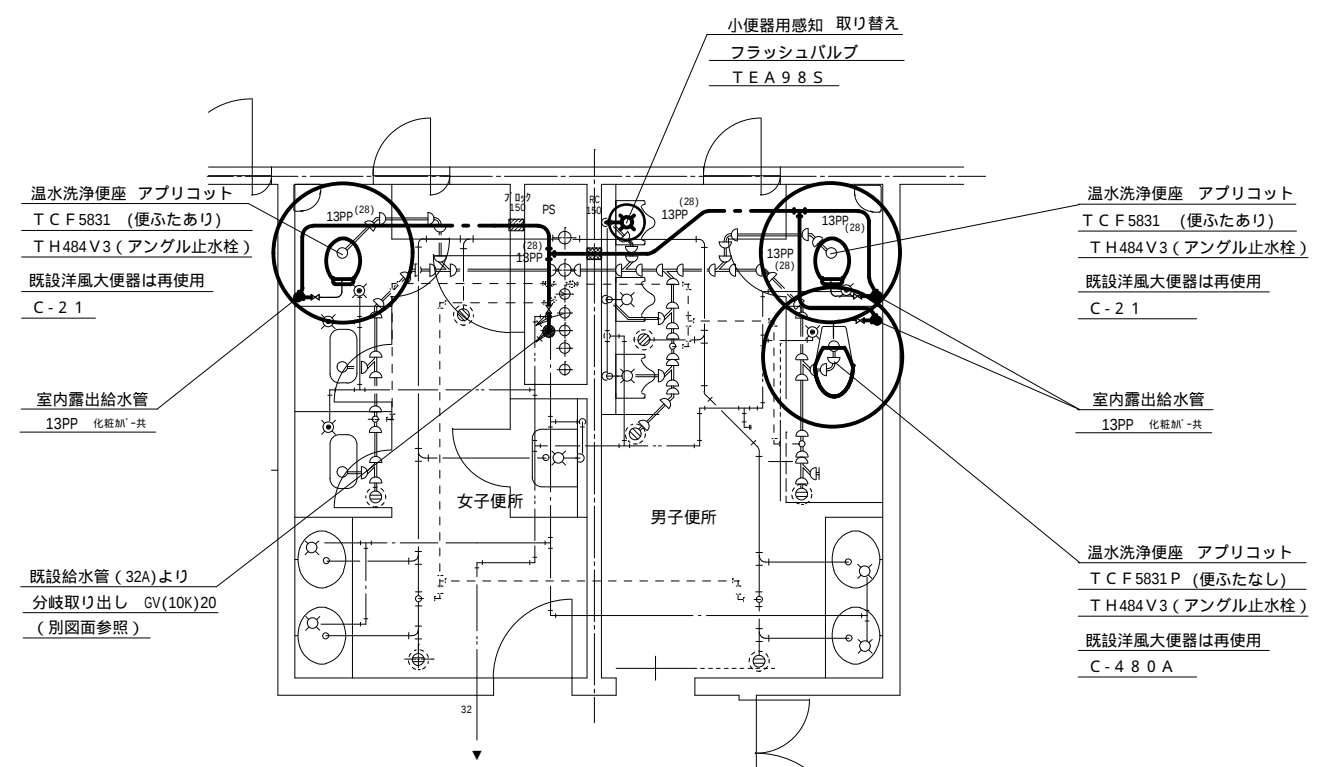
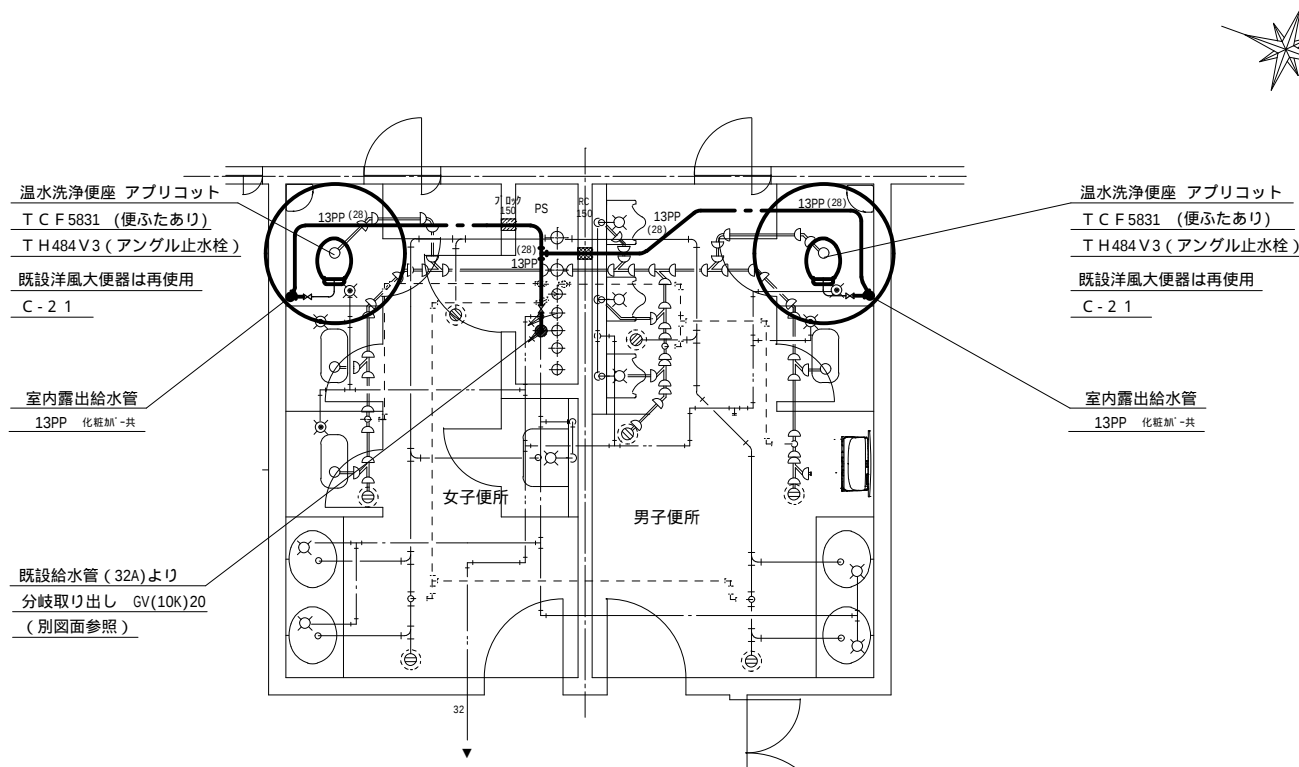
改修小便器

2階平面図 1/200

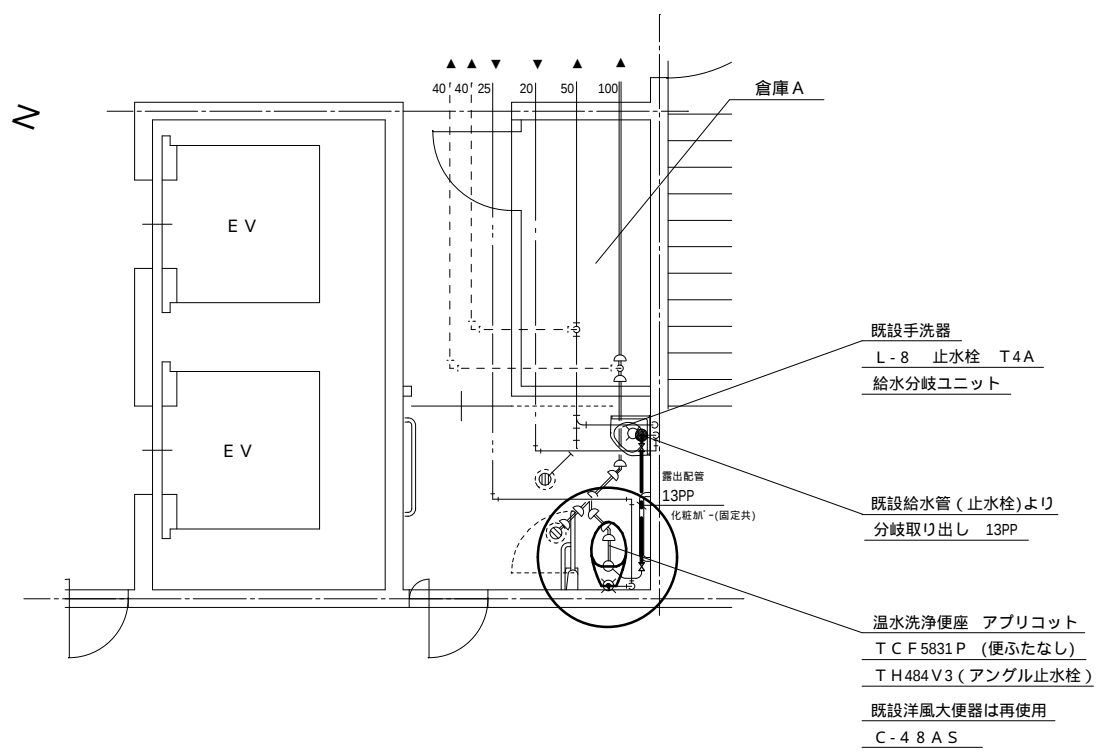
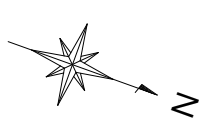
特記仕様	株式会社 木下建築設計事務所 611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹生	製図年月日 R07.01			工事名称 本庁舎洋式トイレ温水洗浄機能化改修工事	縮尺 1:200	図面番号
		訂正年月日					No M-05 号図
		監修	設計	製図	図面名称 2階平面図		枚ノ内



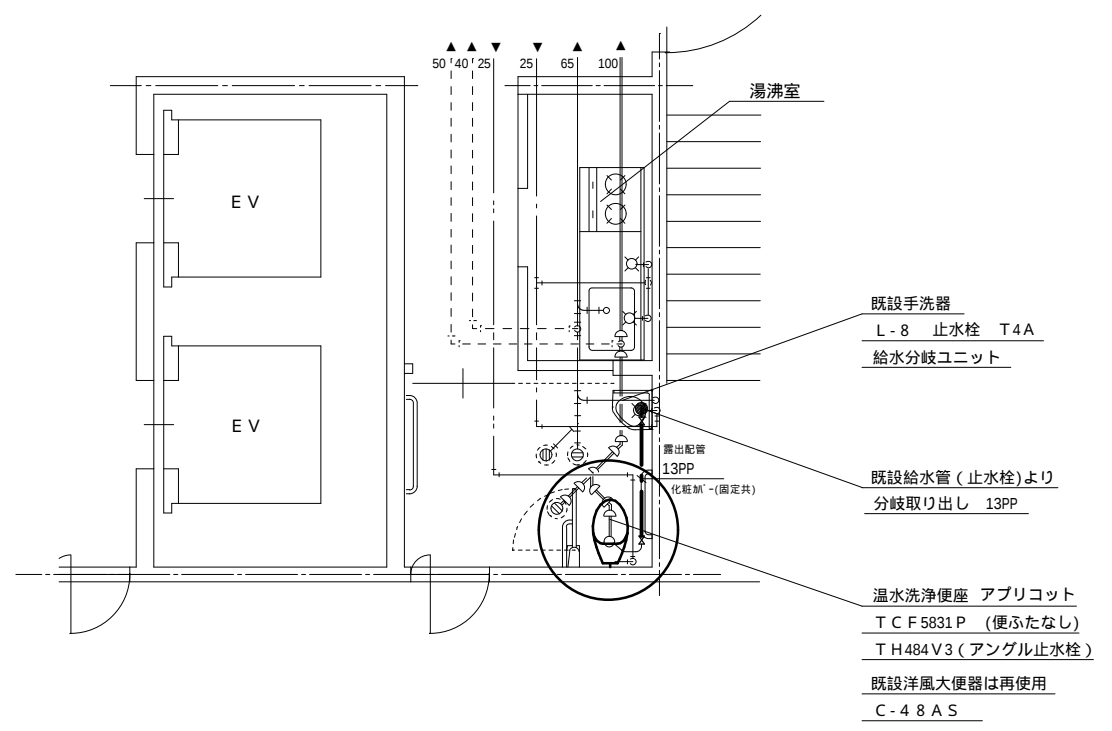
特記仕様	株式会社 木下建築設計事務所 611 - 0 0 2 6 京都府宇治市開町 3 7 - 1 0 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細 野 幹 生	製図年月日 R07.01		工事名称 本庁舎洋式トイレ温水洗浄機能化改修工事	縮尺 1 : 200	図面番号 No M-06 号図	
		訂正年月日					
		監修	設計	製図	図面名称 3 階、8 階 平面図		枚ノ内



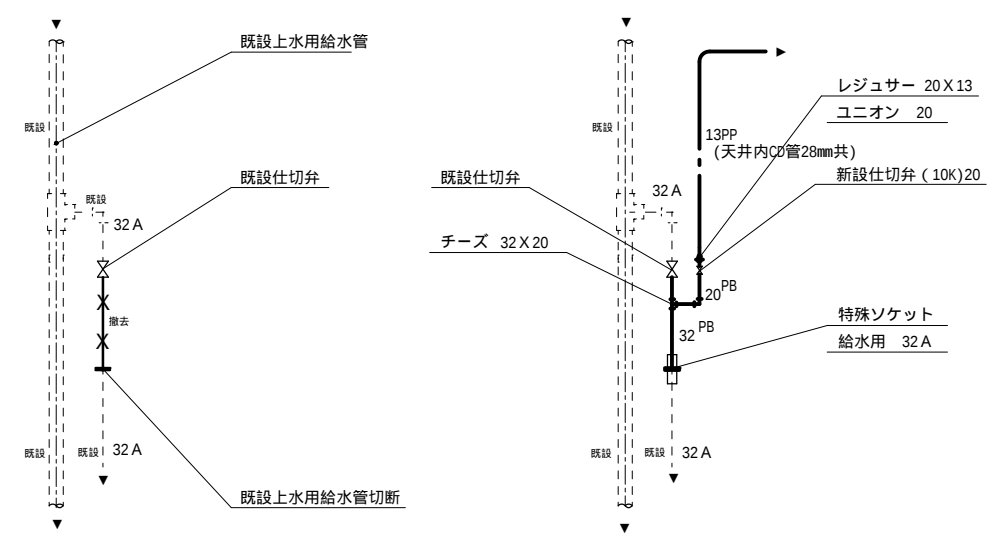
特記仕様	 株式会社 木下建築設計事務所 611 - 0 0 2 6 京都市宇治市開町 3 7 - 1 0 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹生	製図年月日 R07.01		工事名称 本庁舎洋式トイレ温水洗浄機能化改修工事	縮尺	図面番号	
		訂正年月日			1/50	No M-07 号図	
		監修	設計	製図	図面名称 1 階、 2 階 東 ・ 西 便所平面図		枚ノ内



3階平面図 1/50



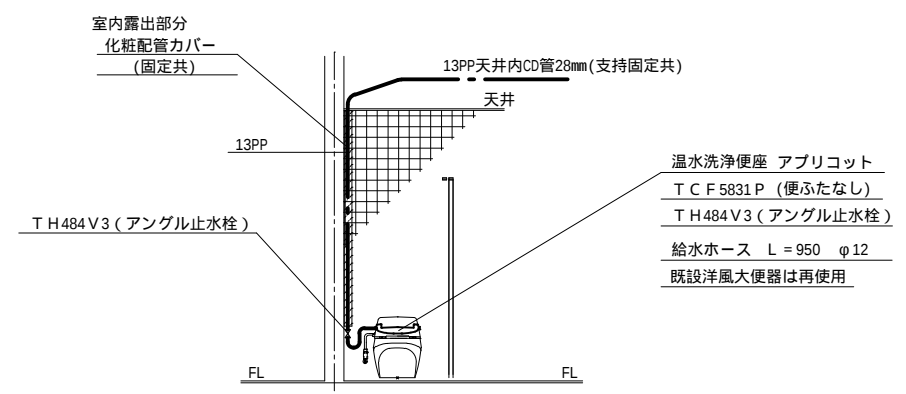
8階平面図 1/50



現状

改修

給水管分岐取り出し部 参考図



温水洗浄便座取付 参考図

特記仕様		株式会社 木下建築設計事務所	製図年月日 R07.01			工事名称 本庁舎洋式トイレ温水洗浄機能化改修工事	縮尺	図面番号	
			訂正年月日				1/50	No M-08 号図	
			監修	設計	製図		図面名称		枚ノ内
							3 階、 8 階 東 バリアフリー便所平面図		

電気設備工事特記仕様書－1

【工事概要】

- 1 工事場所 宇治市宇治琵琶33番地
2 建物概要

建 物 名	構 造	階 数	延床面積(㎡)	消防法令別表第	耐震安全性の分類	備 考
					○甲 ○乙	工事区分を記載 例：新築
					○甲 ○乙	全館無人改修
					○甲 ○乙	軌務並行改修

- 3 工事科目 ●印をついたものを適用し、各一式とする。

工事科目	建物名称	本庁舎			
電灯設備	●	○	○	○	○
動力設備		○	○	○	○
雷保護設備	○	○	○	○	○
受変電設備	○	○	○	○	○
電力貯蔵設備	○	○	○	○	○
発電設備	○	○	○	○	○
構内情報通信網設備	○	○	○	○	○
構内交換設備	○	○	○	○	○
情報表示設備	○	○	○	○	○
映像・音響設備	○	○	○	○	○
拡声設備	○	○	○	○	○
誘導支援設備	○	○	○	○	○
テレビ共同受信設備	○	○	○	○	○
監視カメラ設備	○	○	○	○	○
駐車場管制設備	○	○	○	○	○
防犯・入退室管理設備	○	○	○	○	○
火災報知設備	○	○	○	○	○
中央監視制御設備	○	○	○	○	○
医療関係設備	○	○	○	○	○
構内配電線路	○	○	○	○	○
構内通信線路	○	○	○	○	○
電波障害調査	○	○	○	○	○
撤去工事	●		○	○	

【特記事項】

- 1 一般事項
1) 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和4年版」（以下、「標準仕様書」という。）、「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）令和4年版」（以下、「標準図」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）令和4年版」による。
2) 工事種目に機械設備工事及び建築工事を含む場合、その仕様は当該図面及び標準仕様書による。
2 特記事項
項目及び特記事項は、●印をついたものを本工事に適用する。ただし、●印のない場合は、○印を適用する。

章	項 目	特 記 事 項
一	設備機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図面に規定するものまたは、これらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。
	機材の品質・性能証明	使用する機材が、（一社）公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿（最新版）」による場合は、評価書の写しをもって、標準仕様書第1編第1章第4節1.4.2（2）の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。ただし、標準仕様書に規定される製作図・試験成績書等は除く。
	現場代理人	本工事の施工に当たっては、請負契約書第10条に規定する現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同様、受注者との直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任する。
	電気工事士	契約電力500kW以上の場合も、第1種電気工事士による施工を行う。
	工事用電力・水その他	本工事に必要な工事用電力・水などの費用は、引き渡し時までも受注者の負担とする。
	官公署への手続き	官公署等への手続きは速やかに行い、それに要する費用は、すべて受注者の負担とする。
	工事用仮設物	構内につくることができる。できない
	足場・作業構台	別契約の関係者・受注者が設置したものは、無償で使用できる。
	監督職員事務所	設置しない。設置する（○本工事。○別途）
	監督職員事務所に備え付ける図書	下記の図書を監督職員事務所に備え付ける。 ・公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編) ・公共建築設備工事標準図(電気設備工事編) ・電気設備工事監視指針 ・電気設備工事施工チェックシート ・建築設備耐震設計施工指針 ・工事写真撮影ガイドブック電気設備工事編 ・公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)
般	建設副産物の処理及び建設発生土の処理	○建設副産物の処理 右記のほか、現場説明書による。 ○引き渡しを要するもの【 】 ○再生資源利用を図るもの【 】 ○特別管理産業廃棄物 ○PCB使用機器 ○SF6ガス使用機器 ○建設発生土処分 右記のほか、現場説明書による。 ○構外指定地に搬出処理（一財）城陽山砂利採取地整備公社 ○構内指示場所に敷き均し
	再生資源利用（促進）計画・実施書の提出 詳細は現場説明書による。	
	1)「建設発生土処理計画書」及び「廃棄物処理計画書」を監督職員に提出する。 2)関係法令等に従い、適正に廃棄物等を処理し、「建設発生土処理計画書」及び「廃棄物処理報告書」により監督職員に報告する。	
	○アスベスト成形板の処理等（以下のほか、現場説明書による） 施工調査 アスベスト成形板の撤去に当たり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。調査結果は図面により記録し監督職員に提出する。 ・アスベスト成形板使用部位の確認 ・アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認 ・アスベスト成形板使用数量の確認 ・施工範囲等の確認 確認範囲 成形板の製造年等の確認。X線解析法 処理方法 非飛散性アスベスト廃棄物の取扱いに関する技術指針）に従いあらかじめ処理計画書を作成し、適切に解体処分を行うこと。	
	事	○風圧力に対する性能
○風圧力（耐風力）		建築基準法施行令第87条に定めるところによる風圧力（耐風力）検討（計算）書を監督職員に提出する。なお、検討（計算）範囲には、それぞれの取付部分を含めるものとする。 ○受雷部システム及び引下げ導線システム ○太陽光アレイ及び接続箱 ○風力発電装置 ○テレビ共同受信用アンテナ及びアンテナマスト
●電線類		1) 特記なきものは、EM・IEとする。 2) EM電線、EMケーブルで標準仕様書に規格等の記載のないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとし、次の記号及び仕様による。 EM-アクセスフロア JCS4502（600Vアクセスフロア用耐燃性ポリエチレンスケール）による600Vアクセスフロア用ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシーススケール（EM-IE）及び600Vアクセスフロア用架橋ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシーススケール（EM-CE）を示す。 EM-MEES JCS4271に準じ、絶縁材料及びシースにJCS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの
●電線管		電 線 管 ○PF管 ただし、露出部分は銅製電線管とする。 分電盤等の2次側で第1ボックスまでは（銅製電線管 ○PF管）とする。 ○ねじなし電線管 1) 雨線外及び湿気の多い場所または水気のある場所に使用する露出電線管は、厚銅電線管とする。 2) スラブ厚の1/4を超える外径の配管及び（PF22）又は（E25）相当を超えるものは、コンクリート埋設配管を行わない。 最上階の埋込配管 最上階のスラブでモルタル防水及び樹脂防水の場合、埋込配管は避けるのを原則とする。 下記の露出配管は塗装（指定色塗装）を行う。 ●屋外（○屋上を除く） ○屋内居室 ○屋内機械室・電気室 ○廊下 分電盤、制御盤、端子盤等の2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径等は監督職員の承諾を受けて変更することができる。 ●ボックス 樹脂管で配管する場合は、合成樹脂製ボックスを使用する。
○電線本数、管路等		分電盤の予備の配線用遮断器が4個以下の場合（25）を1本、5個以上の場合（25）を2本天井内まで立上げる。ケーブルラックの床の防火貫通部に（S1）を1本以上立上げる。
●フラッシュプレート		和 室 ○樹脂製 ●金属製（○新金属製 ○ステンレス製） その他 ○樹脂製 ●金属製（○新金属製 ○ステンレス製）
○床配線器具等		床用配線器具の形式は以下による。（図面特記のあるものを除く。） 二重床 インナー形 ○飛び出し形 ○内部固定形 ○外部固定形 二重床以外 飛び出し形 ○引出し形 ○内部固定形 ○外部固定形 （フロアベースは水平高低調整式（空転防止リング付） 砲金製 ○アルミ製とする。）
○機器		寸 法 盤その他機器類について図示した寸法は、約寸法とする。 接 続 電動機への接続は、本工事とする。 アンカーボルト アンカーボルト、全ネジ及びナットは、下記による。 屋外・多湿室等（○溶融亜鉛メッキ ○SUS） その他（○一般品 ○SUS ○）
項	○機器内配線等	下記の機器内配線及びケーブルには、EM電線及びEMケーブルを使用する。 ただし、高圧主回路配線はこの限りでない。 ○分電盤 ○OA盤 ○実験盤 ○開閉器箱 ○制御盤 ○キュービクル式配電盤 ○直流電源装置 ○交流無停電電源装置（UPS）（簡易型を除く）
	○はつり	1) 既存のコンクリート床・壁等の配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターを使用する。 2) 復旧はモルタル補修までとする。
	●再使用機器	取り外した上再使用する機器は、清掃し絶縁抵抗測定の上取付ける。なお照明器具等の見え掛かり部分は、洗剤を使用するなどして、十分に清掃する。
	○その他	屋外の盤類・開閉器箱 ○SUS ○鋼板製 屋外のプルボックス ○SUS ○鋼板製
	●工事範囲	●配管 ●配線 ●機器取付
	●電気方式	幹線 ○単相3線式 100V/200V ○直流2線式 100V 分岐 ●単相2線式 ●100V ●200V ○直流2線式 100V
	○照明制御による効果の評価	一般社団法人日本照明器具工業会技術資料130「照明制御装置による消費電力削減効果の評価手法」により、消費電力削減効果の評価を行い監督職員に提出する。
	○照明制御装置	照明制御装置の各センサー設定は、監督職員と協議する。センサー設定器を附属させる。
	○多重伝送制御システム	多重伝送制御システムの設定は、監督職員の指示による。システム設定器を附属させる。
	●LED制御装置の種類	図面特記があるものを除き、LED照明器具の制御装置の種類は、調光信号線が接続された器具にあってはLX又はL2、それ以外はLN又はL1とする。
設	●R/P又はMP形照明器具	標準図において、防雨形または防湿形の器具本体の材質に、SUSを含む複数の材料が適用されている場合は、SUSを適用する。
	○非常用照明の形式	●電池内蔵形 ●電池別置形
	○フロアコンセント	○引出し形 ○飛び出し形 ○内部固定形 ○外部固定形 ○OAフロア用
	●分電盤等	1) 本工事の分電盤、OA盤、実験盤で、分岐に用いる配線用遮断器及び漏電遮断器の寸法は、JISC8201-2-1「回路遮断器」、同付属書JC「電灯分電盤用協約形回路遮断器」、JISC8201-2-2「漏電遮断器」、同付属書JC「電灯分電盤用協約形漏電遮断器」、による1極サイズのものとする。 2) SPD分離器（配線用遮断機）は（○警報接点付 ○警報接点無）とする。 3) SPD分離器は、監督職員の承諾を受けて、SPD内蔵とすることができる。 OA盤の端子盤部に ○通気口 ○冷却ファン を設ける
	○照明用ボール	○開閉器を設ける(○配線用遮断器○カットアウトスイッチ) ○開閉器を設けない
	●一般照明の照度測定	実施 ●する ○しない
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○電気方式	幹線 ○三相3線式 200V ○ 分岐 ○三相3線式 200V ○
	○制御盤	1) 制御回路に用いる変圧器は絶縁変圧器とする。 2) インバータ発熱対策用冷却装置を庫面に取り付けた場合、開庫時に冷却装置を休止させる。 3) インバータ発熱対策用冷却装置の故障を盤面に表示（○させる ○させない）
	○監視方法	○警報盤による代表監視 ○中央監視制御装置による監視
受	○インターロック	自動火災報知設備の受信機、連動制御器及びガス漏れ火災警報受信機と連動して、制御盤で空調機を停止させる。
	○基礎	○本工事 ○別途工事 ○既設
	○付属品等	盤内に予備限流ヒューズを収納する。
	○その他	○低圧配電盤の配線用遮断器は取付け板組込形で埋込形とする。 ○低圧配電盤の裏面に負荷側引出し用端子を設ける。 ○低圧配電盤に内部点検空間を設ける。（幅600mm以上・高さ1,800mm以上） ○盤内照明器具はLEDとする。 ○換気扇を設ける場合は回転センサ付とする。（盤面警報ランプ共）

	項 目	特 記 事 項
共通事項	●あと施工アンカー	施工後確認試験 ○行う ●行わない 試験方法 引張試験機による引張試験とし、国土交通省大臣官房官庁営繕部の公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）「8.1.2.7 施工確認試験」による。 確認強度 監督職員との協議による。
	○機器内配線等	下記の機器内配線及びケーブルには、EM電線及びEMケーブルを使用する。 ただし、高圧主回路配線はこの限りでない。 ○分電盤 ○OA盤 ○実験盤 ○開閉器箱 ○制御盤 ○キュービクル式配電盤 ○直流電源装置 ○交流無停電電源装置（UPS）（簡易型を除く）
	○はつり	1）既存のコンクリート床・壁等の配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターを使用する。 2）復旧はモルタル補修までとする。
	●再使用機器	取り外した上再使用する機器は、清掃し絶縁抵抗測定の上取付ける。なお照明器具等の見え掛かり部分は、洗剤を使用するなどして、十分に清掃する。
	○その他	屋外の盤類・開閉器箱 ○SUS ○鋼板製 屋外のプルボックス ○SUS ○鋼板製
電気	●工事範囲	●配管 ●配線 ●機器取付
	●電気方式	幹線 ○単相3線式 100V/200V ○直流2線式 100V 分岐 ●単相2線式 ●100V ●200V ○直流2線式 100V
	○照明制御による効果の評価	一般社団法人日本照明器具工業会技術資料130「照明制御装置による消費電力削減効果の評価手法」により、消費電力削減効果の評価を行い監督職員に提出する。
	○照明制御装置	照明制御装置の各センサー設定は、監督職員と協議する。センサー設定器を附属させる。
	○多重伝送制御システム	多重伝送制御システムの設定は、監督職員の指示による。システム設定器を附属させる。
灯 設	●LED制御装置の種類	図面特記があるものを除き、LED照明器具の制御装置の種類は、調光信号線が接続された器具にあってはLX又はL2、それ以外はLN又はL1とする。
	●RP又はMP形照明器具	標準図において、防雨形または防湿形の器具本体の材質に、SUSを含む複数の材料が適用されている場合は、SUSを適用する。
	●非常用照明の形式	○電池内蔵形 ●電池別置形
	○フロアコンセント	○引出し形 ○飛び出し形 ○内部固定形 ○外部固定形 ○OAフロア用
備	●分電盤等	1）本工事の分電盤、OA盤、実験盤で、分岐に用いる配線用遮断器及び漏電遮断器の寸法は、JISC8201-2-1「回路遮断器」、同付属書JC「電灯分電盤用協約形回路遮断器」、JISC8201-2-2「漏電遮断器」、同付属書JC「電灯分電盤用協約形漏電遮断器」、による1極サイズのものとする。 2）SPD分離器（配線用遮断機）は（○警報接点付 ○警報接点無）とする。 3）SPD分離器は、監督職員の承諾を受けて、SPD内蔵とすることができる。 OA盤の端子盤部に ○通気口 ○冷却ファン を設ける
	○照明用ボール	○開閉器を設ける（○配線用遮断器○カットアウトスイッチ） ○開閉器を設けない
	●一般照明の照度測定	実施 ●する ○しない
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
動力	○電気方式	幹線 ○三相3線式 200V ○ 分岐 ○三相3線式 200V ○
	○制御盤	1）制御回路に用いる変圧器は絶縁変圧器とする。 2）インバータ発熱対策用冷却装置を庫面に取り付けた場合、開庫時に冷却装置を休止させる。 3）インバータ発熱対策用冷却装置の故障を盤面に表示（○させる ○させない）
	○監視方法	○警報盤による代表監視 ○中央監視制御装置による監視
	○インターロック	自動火災報知設備の受信機、連動制御器及びガス漏れ火災警報受信機と連動して、制御盤で空調機を停止させる。
	○インバータ装置の規約効率	三相可変性電動機用インバータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。
備	電動機出力（kW）	0.4 0.7 51.5 2.2 3.7 5.5 7.5 11
	インバータ効率（％）	86.0 88.9 92.9 93.0 94.4 94.4 94.4 94.4
力	電動機出力（kW）	1.5 1.8 52.2 3.0 3.7 4.5 5.5 7.5
	インバータ効率（％）	95.0 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5
雷 保 護 設 備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○保護レベル	○ ○ ○ ○
	○受雷部システム	突針支持管 ○銅製 ○ステンレス製
	○接地システム	○A型接地極（○板状接地極 ○垂直接地極 ○放射状接地極） ○B型接地極（○環状接地極 ○網状接地極） ○構造体利用接地極（構造体底盤部の大地抵抗率測定のための大地抵抗率測定用補助接地極を○設ける ○設けない）
	○インバータ装置の規約効率	三相可変性電動機用インバータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。
備	電動機出力（kW）	0.4 0.7 51.5 2.2 3.7 5.5 7.5 11
	インバータ効率（％）	86.0 88.9 92.9 93.0 94.4 94.4 94.4 94.4
力	電動機出力（kW）	1.5 1.8 52.2 3.0 3.7 4.5 5.5 7.5
	インバータ効率（％）	95.0 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5
雷 保 護 設 備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○保護レベル	○ ○ ○ ○
	○受雷部システム	突針支持管 ○銅製 ○ステンレス製
	○接地システム	○A型接地極（○板状接地極 ○垂直接地極 ○放射状接地極） ○B型接地極（○環状接地極 ○網状接地極） ○構造体利用接地極（構造体底盤部の大地抵抗率測定のための大地抵抗率測定用補助接地極を○設ける ○設けない）
	○インバータ装置の規約効率	三相可変性電動機用インバータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。
備	電動機出力（kW）	0.4 0.7 51.5 2.2 3.7 5.5 7.5 11
	インバータ効率（％）	86.0 88.9 92.9 93.0 94.4 94.4 94.4 94.4
力	電動機出力（kW）	1.5 1.8 52.2 3.0 3.7 4.5 5.5 7.5
	インバータ効率（％）	95.0 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5
雷 保 護 設 備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○保護レベル	○ ○ ○ ○
	○受雷部システム	突針支持管 ○銅製 ○ステンレス製
	○接地システム	○A型接地極（○板状接地極 ○垂直接地極 ○放射状接地極） ○B型接地極（○環状接地極 ○網状接地極） ○構造体利用接地極（構造体底盤部の大地抵抗率測定のための大地抵抗率測定用補助接地極を○設ける ○設けない）
	○インバータ装置の規約効率	三相可変性電動機用インバータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。
備	電動機出力（kW）	0.4 0.7 51.5 2.2 3.7 5.5 7.5 11
	インバータ効率（％）	86.0 88.9 92.9 93.0 94.4 94.4 94.4 94.4
力	電動機出力（kW）	1.5 1.8 52.2 3.0 3.7 4.5 5.5 7.5
	インバータ効率（％）	95.0 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5
雷 保 護 設 備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○保護レベル	○ ○ ○ ○
	○受雷部システム	突針支持管 ○銅製 ○ステンレス製
	○接地システム	○A型接地極（○板状接地極 ○垂直接地極 ○放射状接地極） ○B型接地極（○環状接地極 ○網状接地極） ○構造体利用接地極（構造体底盤部の大地抵抗率測定のための大地抵抗率測定用補助接地極を○設ける ○設けない）
	○インバータ装置の規約効率	三相可変性電動機用インバータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。
備	電動機出力（kW）	0.4 0.7 51.5 2.2 3.7 5.5 7.5 11
	インバータ効率（％）	86.0 88.9 92.9 93.0 94.4 94.4 94.4 94.4
力	電動機出力（kW）	1.5 1.8 52.2 3.0 3.7 4.5 5.5 7.5
	インバータ効率（％）	95.0 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5
雷 保 護 設 備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○保護レベル	○ ○ ○ ○
	○受雷部システム	突針支持管 ○銅製 ○ステンレス製
	○接地システム	○A型接地極（○板状接地極 ○垂直接地極 ○放射状接地極） ○B型接地極（○環状接地極 ○網状接地極） ○構造体利用接地極（構造体底盤部の大地抵抗率測定のための大地抵抗率測定用補助接地極を○設ける ○設けない）
	○インバータ装置の規約効率	三相可変性電動機用インバータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。
備	電動機出力（kW）	0.4 0.7 51.5 2.2 3.7 5.5 7.5 11
	インバータ効率（％）	86.0 88.9 92.9 93.0 94.4 94.4 94.4 94.4
力	電動機出力（kW）	1.5 1.8 52.2 3.0 3.7 4.5 5.5 7.5
	インバータ効率（％）	95.0 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5
雷 保 護 設 備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○保護レベル	○ ○ ○ ○
	○受雷部システム	突針支持管 ○銅製 ○ステンレス製
	○接地システム	○A型接地極（○板状接地極 ○垂直接地極 ○放射状接地極） ○B型接地極（○環状接地極 ○網状接地極） ○構造体利用接地極（構造体底盤部の大地抵抗率測定のための大地抵抗率測定用補助接地極を○設ける ○設けない）
	○インバータ装置の規約効率	三相可変性電動機用インバータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。
備	電動機出力（kW）	0.4 0.7 51.5 2.2 3.7 5.5 7.5 11
	インバータ効率（％）	86.0 88.9 92.9 93.0 94.4 94.4 94.4 94.4
力	電動機出力（kW）	1.5 1.8 52.2 3.0 3.7 4.5 5.5 7.5
	インバータ効率（％）	95.0 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5
雷 保 護 設 備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○保護レベル	○ ○ ○ ○
	○受雷部システム	突針支持管 ○銅製 ○ステンレス製
	○接地システム	○A型接地極（○板状接地極 ○垂直接地極 ○放射状接地極） ○B型接地極（○環状接地極 ○網状接地極） ○構造体利用接地極（構造体底盤部の大地抵抗率測定のための大地抵抗率測定用補助接地極を○設ける ○設けない）
	○インバータ装置の規約効率	三相可変性電動機用インバータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。
備	電動機出力（kW）	0.4 0.7 51.5 2.2 3.7 5.5 7.5 11
	インバータ効率（％）	86.0 88.9 92.9 93.0 94.4 94.4 94.4 94.4
力	電動機出力（kW）	1.5 1.8 52.2 3.0 3.7 4.5 5.5 7.5
	インバータ効率（％）	95.0 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5
雷 保 護 設 備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○保護レベル	○ ○ ○ ○
	○受雷部システム	突針支持管 ○銅製 ○ステンレス製
	○接地システム	○A型接地極（○板状接地極 ○垂直接地極 ○放射状接地極） ○B型接地極（○環状接地極 ○網状接地極） ○構造体利用接地極（構造体底盤部の大地抵抗率測定のための大地抵抗率測定用補助接地極を○設ける ○設けない）
	○インバータ装置の規約効率	三相可変性電動機用インバータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。
備	電動機出力（kW）	0.4 0.7 51.5 2.2 3.7 5.5 7.5 11
	インバータ効率（％）	86.0 88.9 92.9 93.0 94.4 94.4 94.4 94.4
力	電動機出力（kW）	1.5 1.8 52.2 3.0 3.7 4.5 5.5 7.5
	インバータ効率（％）	95.0 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5
雷 保 護 設 備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○保護レベル	○ ○ ○ ○
	○受雷部システム	突針支持管 ○銅製 ○ステンレス製
	○接地システム	○A型接地極（○板状接地極 ○垂直接地極 ○放射状接地極） ○B型接地極（○環状接地極 ○網状接地極） ○構造体利用接地極（構造体底盤部の大地抵抗率測定のための大地抵抗率測定用補助接地極を○設ける ○設けない）
	○インバータ装置の規約効率	三相可変性電動機用インバータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。
備	電動機出力（kW）	0.4 0.7 51.5 2.2 3.7 5.5 7.5 11
	インバータ効率（％）	86.0 88.9 92.9 93.0 94.4 94.4 94.4 94.4
力	電動機出力（kW）	1.5 1.8 52.2 3.0 3.7 4.5 5.5 7.5
	インバータ効率（％）	95.0 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5
雷 保 護 設 備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○保護レベル	○ ○ ○ ○
	○受雷部システム	突針支持管 ○銅製 ○ステンレス製
	○接地システム	○A型接地極（○板状接地極 ○垂直接地極 ○放射状接地極） ○B型接地極（○環状接地極 ○網状接地極） ○構造体利用接地極（構造体底盤部の大地抵抗率測定のための大地抵抗率測定用補助接地極を○設ける ○設けない）
	○インバータ装置の規約効率	三相可変性電動機用インバータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。
備	電動機出力（kW）	0.4 0.7 51.5 2.2 3.7 5.5 7.5 11
	インバータ効率（％）	86.0 88.9 92.9 93.0 94.4 94.4 94.4 94.4
力	電動機出力（kW）	1.5 1.8 52.2 3.0 3.7 4.5 5.5 7.5
	インバータ効率（％）	95.0 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5
雷 保 護 設 備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○保護レベル	○ ○ ○ ○
	○受雷部システム	突針支持管 ○銅製 ○ステンレス製
	○接地システム	○A型接地極（○板状接地極 ○垂直接地極 ○放射状接地極） ○B型接地極（○環状接地極 ○網状接地極） ○構造体利用接地極（構造体底盤部の大地抵抗率測定のための大地抵抗率測定用補助接地極を○設ける ○設けない）
	○インバータ装置の規約効率	三相可変性電動機用インバータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。
備	電動機出力（kW）	0.4 0.7 51.5 2.2 3.7 5.5 7.5 11
	インバータ効率（％）	86.0 88.9 92.9 93.0 94.4 94.4 94.4 94.4
力	電動機出力（kW）	1.5 1.8 52.2 3.0 3.7 4.5 5.5 7.5
	インバータ効率（％）	95.0 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5
雷 保 護 設 備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○保護レベル	○ ○ ○ ○
	○受雷部システム	突針支持管 ○銅製 ○ステンレス製
	○接地システム	○A型接地極（○板状接地極 ○垂直接地極 ○放射状接地極） ○B型接地極（○環状接地極 ○網状接地極） ○構造体利用接地極（構造体底盤部の大地抵抗率測定のための大地抵抗率測定用補助接地極を○設ける ○設けない）
	○インバータ装置の規約効率	三相可変性電動機用インバータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。
備	電動機出力（kW）	0.4 0.7 51.5 2.2 3.7 5.5 7.5 11
	インバータ効率（％）	86.0 88.9 92.9 93.0 94.4 94.4 94.4 94.4
力	電動機出力（kW）	1.5 1.8 52.2 3.0 3.7 4.5 5.5 7.5
	インバータ効率（％）	95.0 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5
雷 保 護 設 備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○保護レベル	○ ○ ○ ○
	○受雷部システム	突針支持管 ○銅製 ○ステンレス製
	○接地システム	○A型接地極（○板状接地極 ○垂直接地極 ○放射状接地極） ○B型接地極（○環状接地極 ○網状接地極） ○構造体利用接地極（構造体底盤部の大地抵抗率測定のための大地抵抗率測定用補助接地極を○設ける ○設けない）
	○インバータ装置の規約効率	三相可変性電動機用インバータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。
備	電動機出力（kW）	0.4 0.7 51.5 2.2 3.7 5.5 7.5 11
	インバータ効率（％）	86.0 88.9 92.9 93.0 94.4 94.4 94.4 94.4
力	電動機出力（kW）	1.5 1.8 52.2 3.0 3.7 4.5 5.5 7.5
	インバータ効率（％）	95.0 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5
雷 保 護 設 備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○保護レベル	○ ○ ○ ○
	○受雷部システム	突針支持管 ○銅製 ○ステンレス製
	○接地システム	○A型接地極（○板状接地極 ○垂直接地極 ○放射状接地極） ○B型接地極（○環状接地極 ○網状接地極） ○構造体利用接地極（構造体底盤部の大地抵抗率測定のための大地抵抗率測定用補助接地極を○設ける ○設けない）
	○インバータ装置の規約効率	三相可変性電動機用インバータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。
備	電動機出力（kW）	0.4 0.7 51.5 2.2 3.7 5.5 7.5 11
	インバータ効率（％）	86.0 88.9 92.9 93.0 94.4 94.4 94.4 94.4
力	電動機出力（kW）	1.5 1.8 52.2 3.0 3.7 4.5 5.5 7.5
	インバータ効率（％）	95.0 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5
雷 保 護 設 備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○保護レベル	○ ○ ○ ○
	○受雷部システム	突針支持管 ○銅製 ○ステンレス製
	○接地システム	○A型接地極（○板状接地極 ○垂直接地極 ○放射状接地極） ○B型接地極（○環状接地極 ○網状接地極） ○構造体利用接地極（構造体底盤部の大地抵抗率測定のための大地抵抗率測定用補助接地極を○設ける ○設けない）
	○インバータ装置の規約効率	三相可変性電動機用インバータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。
備	電動機出力（kW）	0.4 0.7 51.5 2.2 3.7 5.5 7.5 11
	インバータ効率（％）	86.0 88.9 92.9 93.0 94.4 94.4 94.4 94.4
力	電動機出力（kW）	1.5 1.8 52.2 3.0 3.7 4.5 5.5 7.5
	インバータ効率（％）	95.0 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5
雷 保 護 設 備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○保護レベル	○ ○ ○ ○
	○受雷部システム	突針支持管 ○銅製 ○ステンレス製
	○接地システム	○A型接地極（○板状接地極 ○垂直接地極 ○放射状接地極） ○B型接地極（○環状接地極 ○網状接地極） ○構造体利用接地極（構造体底盤部の大地抵抗率測定のための大地抵抗率測定用補助接地極を○設ける ○設けない）
	○インバータ装置の規約効率	三相可変性電動機用インバータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。
備	電動機出力（kW）	0.4 0.7 51.5 2.2 3.7 5.5 7.5 11
	インバータ効率（％）	86.0 88.9 92.9 93.0 94.4 94.4 94.4 94.4
力	電動機出力（kW）	1.5 1.8 52.2 3.0 3.7 4.5 5.5 7.5
	インバータ効率（％）	95.0 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5
雷 保 護 設 備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○保護レベル	○ ○ ○ ○
	○受雷部システム	突針支持管 ○銅製 ○ステンレス製
	○接地システム	○A型接地極（○板状接地極 ○垂直接地極 ○放射状接地極） ○B型接地極（○環状接地極 ○網状接地極） ○構造体利用接地極（構造体底盤部の大地抵抗率測定のための大地抵抗率測定用補助接地極を○設ける ○設けない）
	○インバータ装置の規約効率	三相可変性電動機用インバータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。
備	電動機出力（kW）	0.4 0.7 51.5 2.2 3.7 5.5 7.5 11
	インバータ効率（％）	86.0 88.9 92.9 93.0 94.4 94.4 94.4 94.4
力	電動機出力（kW）	1.5 1.8 52.2 3.0 3.7 4.5 5.5 7.5
	インバータ効率（％）	95.0 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5
雷 保 護 設 備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○保護レベル	○ ○ ○ ○
	○受雷部システム	突針支持管 ○銅製 ○ステンレス製
	○接地システム	○A型接地極（○板状接地極 ○垂直接地極 ○放射状接地極） ○B型接地極（○環状接地極 ○網状接地極） ○構造体利用接地極（構造体底盤部の大地抵抗率測定のための大地抵抗率測定用補助接地極を○設ける ○設けない）
	○インバータ装置の規約効率	三相可変性電動機用インバータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。
備	電動機出力（kW）	0.4 0.7 51.5 2.2 3.7 5.5 7.5 11
	インバータ効率（％）	86.0 88.9 92.9 93.0 94.4 94.4 94.4 94.4
力	電動機出力（kW）	1.5 1.8 52.2 3.0 3.7 4.5 5.5 7.5
	インバータ効率（％）	95.0 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5
雷 保 護 設 備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○保護レベル	○ ○ ○ ○
	○受雷部システム	突針支持管 ○銅製 ○ステンレス製
	○接地システム	○A型接地極（○板状接地極 ○垂直接地極 ○放射状接地極） ○B型接地極（○環状接地極 ○網状接地極） ○構造体利用接地極（構造体底盤部の大地抵抗率測定のための大地抵抗率測定用補助接地極を○設ける ○設けない）
	○インバータ装置の規約効率	三相可変性電動機用インバータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。
備	電動機出力（kW）	0.4 0.7 51.5 2.2 3.7 5.5 7.5 11
	インバータ効率（％）	86.0 88.9 92.9 93.0 94.4 94.4 94.4 94.4
力	電動機出力（kW）	1.5 1.8 52.2 3.0 3.7 4.5 5.5 7.5
	インバータ効率（％）	95.0 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5
雷 保 護 設 備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○保護レベル	○ ○ ○ ○
	○受雷部システム	突針支持管 ○銅製 ○ステンレス製
	○接地システム	○A型接地極（○板状接地極 ○垂直接地極 ○放射状接地極） ○B型接地極（○環状接地極 ○網状接地極） ○構造体利用接地極（構造体底盤部の大地抵抗率測定のための大地抵抗率測定用補助接地極を○設ける ○設けない）
	○インバータ装置の規約効率	三相可変性電動機用インバータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。
備	電動機出力（kW）	0.4 0.7 51.5 2.2 3.7 5.5 7.5 11
	インバータ効率（％）	86.0 88.9 92.9 93.0 94.4 94.4 94.4 94.4
力	電動機出力（kW）	1.5 1.8 52.2 3.0 3.7 4.5 5.5 7.5
	インバータ効率（％）	95.0 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5
雷 保 護 設 備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○保護レベル	○ ○ ○ ○
	○受雷部システム	突針支持管 ○銅製 ○ステンレス製
	○接地システム	○A型接地極（○板状接地極 ○垂直接地極 ○放射状接地極） ○B型接地極（○環状接地極 ○網状接地極） ○構造体利用接地極（構造体底盤部の大地抵抗率測定のための大地抵抗率測定用補助接地極を○設ける ○設けない）
	○インバータ装置の規約効率	三相可変性電動機用インバータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。
備	電動機出力（kW）	0.4 0.7 51.5 2.2 3.7 5.5 7.5 11
	インバータ効率（％）	86.0 88.9 92.9 93.0 94.4 94.4 94.4 94.4
力	電動機出力（kW）	1.5 1.8 52.2 3.0 3.7 4.5 5.5 7.5
	インバータ効率（％）	95.0 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5
雷 保 護 設 備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○保護レベル	○ ○ ○ ○
	○受雷部システム	突針支持管 ○銅製 ○ステンレス製
	○接地システム	○A型接地極（○板状接地極 ○垂直接地極 ○放射状接地極） ○B型接地極（○環状接地極 ○網状接地極） ○構造体利用接地極（構造体底盤部の大地抵抗率測定のための大地抵抗率測定用補助接地極を○設ける ○設けない）
	○インバータ装置の規約効率	三相可変性電動機用インバータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。
備	電動機出力（kW）	0.4 0.7 51.5 2.2 3.7 5.5 7.5 11
	インバータ効率（％）	86.0 88.9 92.9 93.0 94.4 94.4 94.4 94.4
力	電動機出力（kW）	1.5 1.8 52.2 3.0 3.7 4.5 5.5 7.5
	インバータ効率（％）	95.0 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5
雷 保 護 設 備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○保護レベル	○ ○ ○ ○
	○受雷部システム	突針支持管 ○銅製 ○ステンレス製
	○接地システム	○A型接地極（○板状接地極 ○垂直接地極 ○放射状接地極） ○B型接地極（○環状接地極 ○網状接地極） ○構造体利用接地極（構造体底盤部の大地抵抗率測定のための大地抵抗率測定用補助接地極を○設ける ○設けない）
	○インバータ装置の規約効率	三相可変性電動機用インバータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。
備	電動機出力（kW）	

特記仕様	 株式会社 木下建築設計事務所 611-00026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野幹生	製図年月日 R07.01 訂正年月日 監修 設計 製図	建 築 主 工事名称 本庁舎洋式トイレ温水洗浄機能化改修工事 図面名称 電気設備工事特記仕様書 - 1	縮尺 1/100 図面番号 No E-01 号図
				校ノ内

電気設備工事特記仕様書－2

章	項 目	特 記 事 項
電力計測設備	○ 工事範囲	○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付
	○ 直流電源装置	用途 ○ 建築基準法用 ○ 消防法用 ○ 受変電設備専用 その他 ○ 過放電防止保護装置（直流不足電圧継電器）の設定電圧は、9 0 Vとする。
	○ 交流無停電電源装置（UPS）	用途（ ） 方式 ○ 一般形 ○ 簡易形
発電設備	○ 工事範囲	○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付
	○ 形式	○ オープン形 ○ 簡易形 ○ キュービクル
	○ 連続運転可能時間	○ 1 0 時間（乙） ○ 7 2 時間（甲） ○
	○ 発電機	電気方式 三相 3 線式 電 圧 ○ 2 1 0 V ○ 6 . 6 k V ○ 4 1 5 V 定格出力 k V A 以上 力率 0 . 8
	○ 原動機	種 別 ○ ガスタービン ○ ディーゼル機関 ○ ガスエンジン ○ マイクロガスタービン ○ 燃料電池 ○ コージェネレーション kW (P S) 以上 定格出力 始動方式 ○ 電気式 ○ 空気式 冷却方式 ○ ラシエーター式 ○ 水槽循環式 現地負荷試験 ○ 行う ○ 行わない
	○ 燃料	種類 ○ 重油 ○ 軽油 ○ 灯油 ○ ガス () ○ 燃料小出槽 ○ 主燃料槽
	○ 監視方式	○ 警報盤による代表監視 ○ 中央監視盤による監視
	○ 太陽光発電装置	太陽電池 アレイ 公称最大出力 kW 以上 設置可能建築面積 m 2 以下 (長辺 m x 短辺 m) 系統連系 ○ 受動 ○ 能動 パワーコンディショナ出力 相 線式 V kW 以上 逆潮流 ○ 有 無 交流出力電圧 ○ 1 0 0 V ○ 2 0 0 V 出力電気方式 ○ 三相 3 線式 ○ 単相 3 線式 ○ 単相 2 線式
	○ 外部移報	○ 有 ○ 無
	○ 工事範囲	○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付
通信網設備	○ 施工方法	○ 金属管配線 ○ ケーブル配線 ○ 合成樹脂管配線
	○ 工事範囲	○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付
構内交換設備	○ 保安器用接地	○ 本工事 ○ 別途工事
	○ 形式	○ 電子交換機 ○ ボタン電話装置
情報表示設備	○ 工事種類	○ マルチサイン装置 ○ 出退表示設備 ○ 時刻表示設備
	○ 工事範囲	○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付
	○ 親時計及び付属装置	○ C R - P M ○ C W - P M ○ プログラムタイマ (○ カード式 ○ キー式 ○)
子時計	特記なきものは	○ S W A 3 3 - G P B 2 ○
	○ 工事範囲	○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付
映像音響	○ 施工方法	○ 金属管配線 ○ ケーブル配線 ○ 合成樹脂管配線
	○ 工事範囲	○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付
拡声設備	○ 増幅器	用途 ○ 全館放送用 (○ 一般放送 ○ 非常放送) ○ ローカル放送用 ○ 自動放送はアッテネーターを経由した回路とする。
	○ スピーカ	特記なきものは ○ S C 6 H i - 1 V 3 - M ○
	○ 工事範囲	○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付
誘導支援設備	○ 工事内容	○ 音声誘導装置 検出方式 (○ 磁気式 ○ 無線式 ○ 画像認識) ○ インターホン ○ 電話式 ○ 相互式 ○ テレビインターホン ○ 親機に子機カメラ角度調整機能 (上下) を設ける。 ○ トイレ等呼出し装置 ○ 1 窓 ○ 3 窓 ○ 5 窓 ○ 呼出しボタン ○ 壁付ボタン (プルスイッチの長さは 0 . 2 m 程度とする) ○ 壁付握りボタン (握りボタンの長さは 1 . 2 m 程度とする) ○ 通話機能 ○ 受付呼出し装置 ○ 誘導音
	○ 工事範囲	○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付
	○ アンテナ	○ U H F 用 ○ B S 用 ○ C S 用 ○ A M 用 ○ F M 用 ○ C A T V
	○ アンテナマスト	○ 壁面取付形 ○ 自立形 ○ 配管用ステンレス鋼鋼管 ○ 一般構造用炭素鋼鋼管 (溶融亜鉛メッキ仕上げ) ○ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (溶融亜鉛メッキ仕上げ)
	○ 電界強度測定	電界強度及び画質は、最上階が打上がったときに、アンテナ取付予定位置、またその周辺で測定し、その測定記録を監督職員に速やかに提出すること。 測定チャンネルは、監督職員と協議する。
	○ 工事範囲	○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付
	○ アンテナ	○ U H F 用 ○ B S 用 ○ C S 用 ○ A M 用 ○ F M 用 ○ C A T V
	○ アンテナマスト	○ 壁面取付形 ○ 自立形 ○ 配管用ステンレス鋼鋼管 ○ 一般構造用炭素鋼鋼管 (溶融亜鉛メッキ仕上げ) ○ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (溶融亜鉛メッキ仕上げ)
	○ 電界強度測定	電界強度及び画質は、最上階が打上がったときに、アンテナ取付予定位置、またその周辺で測定し、その測定記録を監督職員に速やかに提出すること。 測定チャンネルは、監督職員と協議する。
	○ 工事範囲	○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付

章	項 目	特 記 事 項
監視カメラ設備	○ 工事範囲	○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付
	○ 画像	○ カラー ○ 白黒
	○ 伝送方式	○ ネットワーク伝送方式 ○ デジタル同軸伝送方式 ○
駐車場管制設備	○ 工事範囲	○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付
	○ 車両検出方式	○ ループコイル方式 ○ 光線方式
防犯・安全管理・入退室管理設備	○ 工事範囲	○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付
	○ 工事種類	○ 機械警備用配管 ○ 防犯装置 ○ 入退室管理制御装置
火災報知設備	○ 自動火災報知装置	○ 工事範囲 ○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付 ○ 受信機 ○ 形 級 回線 ○ 壁掛形 ○ 自立形 ○ 単独形 ○ 複合形 ○ 副受信機 窓 ○ 盤面に消火ポンプ運転表示灯を設ける。 ○ 光警報装置 ○ ○ 消火ポンプ始動 ○ 消火栓箱内押ボタン ○ 発信機と連動 (総合盤に始動表示灯を設ける。) ○ 機器収容箱 ○ 消火栓一体形 ○ 単独形
	○ 自動閉鎖装置	○ 工事範囲 ○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付 ○ 運動制御器 回線 【 予備電源 (蓄電池) 内蔵 】 ○ 単独 ○ 自火報受信機と一体 ○ 自動閉鎖装置 ○ 防火戸用 【 D C 2 4 V 0 . 6 A 以下電磁式またはラッチ式 】 ○ 防煙ダンパ用 【 別途工事 瞬時通電式又は電動式 D C 2 4 V 0 . 6 A 以下 遠方復帰機構 (電動式) D C 2 4 V 0 . 7 A 以下 】 ○ 防火シャッター用 【 別途工事 D C 2 4 V 0 . 6 A 以下 】
	○ 非常警報装置	○ 工事範囲 ○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付 ○ 電気方式 D C 2 4 V ○ 電源装置 ○ 非常電源 (蓄電池) ○ 自動火災報知設備と兼用
	○ ガス漏れ火災警報装置	○ 工事範囲 ○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付 ○ 受信機 ○ 単独形 ○ 自火報受信機と一体 ○ ガスの種類 ○ 都市ガス (1 3 A) ○ 液化石油ガス
	○ 諸警報表示	受信機に諸警報表示窓 (窓) を設ける。
	○ 工事範囲	○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付
	○ 監視方式	○ 警報盤 ○ 監視制御装置
	○ 工事範囲	○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付
	○ 非接地電源用分電盤	キャビネット ○ 鋼製 ○ ステンレス製
	○ ナースコール装置	トイレ及び浴室等の呼出押ボタン ○ 有線式 ○ 無線式 ○ 防滴 ○ 防湿
構内配線	○ その他	○ オプション等の試験は、監督職員の指示による。
	○ 工事範囲	○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付
	○ 電気方式	高圧 三相 3 線式 6 k V 低圧 三相 3 線式 2 0 0 V ○ 単相 3 線式 1 0 0 / 2 0 0 V 単 2 線式 (○ 1 0 0 V ○ 2 0 0 V)
	○ ふ設方式	○ 地中線 ○ 管路式 ○ 波付硬質合成樹脂管 (F E P) ○ ポリエチレン被覆管 (P L P) 埋設深さ 特記なきものは G L (舗装がある場合は、舗装下面) から 3 0 0 mm 以上とする。 ○ 架空線 電柱 ○ 連心カプレストレストコンクリートポール
	○ 区分閉閉器	○ 高圧負荷閉閉器 7 . 2 k V 3 0 0 A 用途 ○ 架空引込用 ○ 地中引込用 構造 ○ 耐中塩じん用 ○ 耐重塩じん用 形式 ○ 引外し装置付き (S O G 形) ○ 引外し装置なし ○ 避雷器内蔵 ○ 制御電源用変圧器内蔵
	○ マンホール及びハンドホール	構造・寸法 ○ 標準図による ○ 図示による。 蓋の文字 ○ 蓋の用途表示は電力とする。 ハンドホールにおいてもケーブル支持材を設ける。 ケーブルが直接接触しない場合の金物は、接地を省略してもよい。
	○ 高圧ケーブル	屋外に使用する高圧ケーブルは E M - 高圧架橋ポリエチレンケーブルは、 J C S 4 3 9 5 「 6 6 0 0 V 架橋ポリエチレンケーブル (3 層押出型) 」 に (による) よらない)
	○ 余長	高圧ケーブルは、受変電設備までの配線経路中、1ヶ所以上で 3 m 余長をとる。
	○ 磚子、高圧ケーブル端末処理	○ 一般用 ○ 耐塩用 ○ 重耐塩用
	○ 避雷器	○ 屋外形 ○ 耐塩形 ○ 一般用 ○ 耐塩形
外灯	○ 装柱材	基礎 ○ 本工事 ○ 別途工事 ○ 外灯ポール材質が鋼製 (S P C) の場合で特記がない場合は溶融亜鉛メッキとし、指定色塗装とする。
	○ 工事範囲	○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付
構内通信線	○ ふ設方式	○ 地中線 ○ 管路式 ○ 波付硬質合成樹脂管 (F E P) ○ ポリエチレン被覆管 (P L P) 埋設深さ 特記なきものは G L (舗装がある場合は、舗装 (表層) 下面) から 3 0 0 mm 以上とする。 ○ 架空線 電柱 ○ 連心カプレストレストコンクリートポール
	○ マンホール及びハンドホール	構造・寸法 ○ 標準図による ○ 図示による。 蓋の文字 ○ 蓋の用途表示は通信とする。 ハンドホールにおいてもケーブル支持材を設ける。 ケーブルが直接接触しない場合の金物は、接地を省略してもよい。

章	項 目	特 記 事 項
調査・検査	○ 調査範囲 ○ 測定時期 ○ 測定箇所 ○ 測定内容	○ 測定のみ ○ 対策工事実施設計書作成まで ○ 工事前 ○ 工事中 ○ 完成後 ○ 箇所 受信可能な全チャンネルとし、結果報告書を提出する。

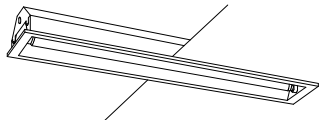
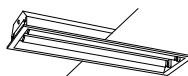
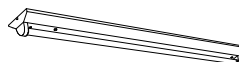
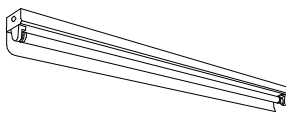
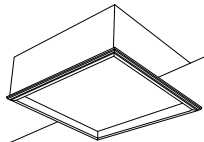
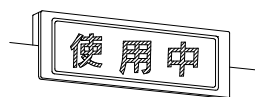
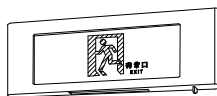
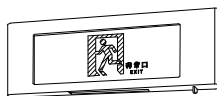
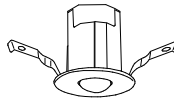
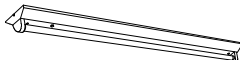
別表	付属品・予備品
○ イーザーキャビネット	箱 ○ キーボックス ○ テスター ○ マンホールフック
○ 工具箱 (ドライバー、モンキーレンチ、組スバナー、ハンマー)	
受変電設備・盤	ランプ及びヒューズの予備品は、2 0 % とする。

試験・検査一覧
工事完成に際しては、各種試験、検査に合格の責任を持つ。
検査及び試験を行うべき機材等は標準仕様書による他下記の項目とする。
○ 受変電機器・動力盤及び電灯盤 ○ 耐圧試験・絶縁抵抗測定 ○ 接地抵抗測定・機器機能試験・その他監督職員の指示するもの
○ 工事着手に際し、事前に必要な機器 (照明機器、空調機器、放送設備等) の機能確認を行い、確認結果報告書を提出する。
● 工事着工前に既設照明器具で床面照度を測定し、完成後の照度と比較する。 (照度測定箇所は監督員の指示する箇所とする。)
○ 着工前・工事完成後、空調機器の機能・調整確認を行い、確認結果報告書を提出する。
○ 着工前・工事完成後、放送機器の機能・調整確認を行い、確認結果報告書を提出する。
○ 後施工アンカ・の施工確認試験 (引張試験機による引張試験) は、1 日の施工本数の 3 % 以上かつ 3 本以上とする。
例 盤・ケ-ブルブラック・ケ-ブルダクト等

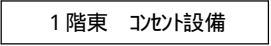
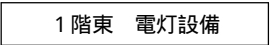
その他
● 試験機器類の校正記録を提出する。
● 停電工事の必要な時は、当該高圧受電設備の電気主任技術者と協議し、打合せ記録を提出する。
尚、電気主任技術者の立会費用は本工事に含む。
○ 工事に係る申請手続き費、消防施設竣工検査費、高圧電気設備検査等の竣工に必要な費用は本工事に含む。
● 分電盤等の端子接続部施工管理手順は、電気設備工事監理指針 (令和 4 年度版) の資料 5 (P 1 1 1 9) に基づき施工する。
● 鉄筋コンクリ-トをダイヤモンドル等で貫通する時は、鉄筋探査機で開口位置を確認する。
● 整備不良の電動工具等持ち込まない。
● 構外搬出適切産廃処分とする (電線、電線管、器具、管路等報告書を提出する) 。
○ 交通誘導員は大型機器搬入時及び監督職員が必要と指示した時は、安全確保のため交通誘導員を 2 名以上配置する。
○ カラーコーン、コーンウェイト、コーンバーにて囲いながら掘削する。

機器取付高さ（参考寸法の為、盤の寸法・取付位置は監督員と協議する。）								
	名称	測点	取付高（mm）		名称	測点	取付高（mm）	
電力 共通	取引用計器	地上～上端	2,000	電 話	端子盤	床上～上端	1,900	
	引込開閉器	〃	1,800		保安器函	天井下～上端	200	
					壁付位置ボックス	床上～中心	300	
動 力	壁掛型制御盤	床上～上端	1,900	拡 声 時 計	〃（和室）	〃	150	
	手元開閉器	床上～中心	1,500					
	操作スイッチ	〃	1,300		壁掛スピーカー	天井下～上端	200	
					アッテネーター	床上～中心	1,300	
					壁掛型親時計	床上～上端	1,900	
電 灯	分電盤	床上～上端	1,900	イ ン タ ー ホ ン	子時計	天井下～上端	200	
	スイッチ（一般）	床上～中心	1,300					
	〃（身障者便所）	〃	900		壁掛インターホン	床上～中心	1,500	
	コンセント（一般）	〃	300		〃（身障者）	〃	1,100	
	〃（和室）	〃	150		壁付位置ボックス	〃	300	
	〃（台上）	台上～中心	300		〃（和室）	〃	150	
	〃（土間）	床上～中心	1,300					
	ブラケット（一般）	〃	2,100		機器収納函	天井下～上端	200	
	〃（踊場）	〃	2,500		直列ユニット	床上～中心	300	
	〃（鏡上）	鏡上端～中心	150		〃（和室）	〃	150	

特記仕様	株式会社 木下建築設計事務所 611-00026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野幹生	製図年月日 R07.01			建 築 主 本庁舎洋式トイレ温水洗浄機能化改修工事	縮尺	図面番号
		訂正年月日					No E-02 号図
		監修	設計	製図	図面名称 電気設備工事特記仕様書 - 2		枚ノ内

A41	FRS3-401	FL 40W-1	撤去	A41	XLX429REN LE9	LED 16.3W	新設	A21	FRS3-201	FL 20W-1	再使用	A21	XLX200RENJLE9	LED 11.6W	新設	C41	FSS4-401	FL 40W-1	再使用	D42	FSR1-402	FL 40W-2	再使用
A42	FRS3-402	FL 40W-2	再使用					A22	FRS3-202	FL 20W-2	撤去	A22	XLX219VEN LE9	LED 11.6W	新設		FSS4-201	FL 20W-1	撤去				
				Panasonic同等品								Panasonic同等品											
				埋込穴 190×1257 埋込深さ = 95								埋込穴 190×639 埋込深さ = 100 埋込穴 300×639 埋込深さ = 100											
E41	FBS3-401	FL 40W-1	再使用	L96	FU84740 ENH	FPR 96W-4	再使用	DL40	NF11627WT	FDL 13W-1	撤去	DL40	XND0669WN LE9		新設	V11	FA11910	FL 10W-1	撤去	V11	NNF11910 LE1	LED 5.0W	新設
												Panasonic同等品								Panasonic同等品			
												埋込穴 150φ 埋込深さ = 65								埋込穴 128×368 埋込深さ = 42			
V60	LW56303T	IL 60W-1	撤去	V60	XLGB3000CE1	LED 5.0W	新設	X2	SH1-FSF10-101	FL 10W-1	再使用	Y1	K0-IRS5-40	IL ￼40W-1	再使用	Y2	LB 94502	IL ￼40W-1	撤去	Y2	NNFB84665		新設
				LLD2000NCE1																K0-LRS11-D6			
				Panasonic同等品								非常灯電源別置形				非常灯電源別置形				L E D非常灯電源別置形 Panasonic同等品			
																							
																				埋込穴 60φ 埋込深さ = 66			
C21	XLX200AENCLE9	LED 11.6W	新設																				
																							

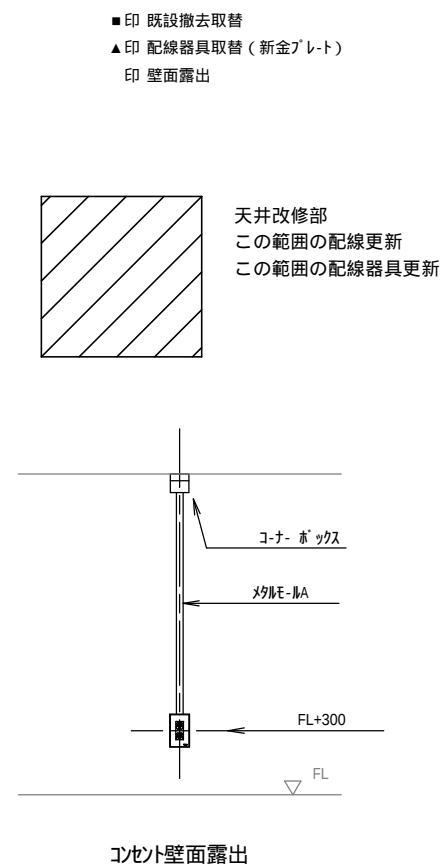
特記仕様			株式会社 木下建築設計事務所 611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野幹生	製図年月日 R07.01 訂正年月日			建 築 主 本庁舎洋式トイレ温水洗浄機能化改修工事 工事名称			縮尺	図面番号
				監修 設計 製図			図面名称 照明器具姿図				No E-03 号図
											枚ノ内



記載なき配管記号は、下記に依る。（コンセント設備）		
	IV 2.0 × 2	(CD16)
	IV 2.0 × 3	(CD16)
	EEf 1.6 - 2C	(PF16)
	EEf 1.6 - 3C	(PF22)
	EEf 1.6 - 3C (1E)	(PF22)
	EEf 2.0 - 2C	(PF16)
	EEf 2.0 - 3C (1E)	(PF22)
二重天井内はころし記号とする。		

コンクリート壁面露出

特記仕様	 株式会社 木下建築設計事務所 611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹生	製図年月日 令07.01			工事名称 本庁舎洋式トイレ温水洗浄機能化改修工事	縮尺	図面番号
		訂正年月日				1/100	No E-04 号図
		監修	設計	製図	図面名称 1階東 便所平面図		枚ノ内



記載なき配管配線は、下記に依る。(照明設備)		
	EEF 1.6 - 2C	(PF16)
	EEF 1.6 - 3C	(PF22)
	EEF 1.6 - 2C × 2	(PF22)
	EEF 2.0 - 2C	(PF16)
	EEF 2.0 - 3C (1E)	(PF22)
	FPC 2.0-2C	(PF22)
二重天井内はこがし配線とする。		

凡 例		電灯盤	
	●	壁付スイッチ	1P15A
	○	"	1P 4A 片側照明用
	● 3	"	3W15A
	● K	換気スイッチ	1P15A 24H換気スイッチ貼付け
	Ⓐ ₂	埋込コンセント	2P 15A × 2
	Ⓐ _{ET}	"	2P 15A × 1 接地端子付
	Ⓐ _{2ET}	"	2P 15A × 2 接地極接地端子付
	Ⓐ _{EWIP}	"	2P 15A × 2 接地極付防雨形
	⌈ ⌋	自動水栓・消音器	機械設備工事
	⊗	接続ボックス	
	RC貫通	50φ × 200L	

F：国交省認定区画貫通処理

記載なき配管記線は、下記に依る。(コンセント設備)		
	IV 2.0 × 2	(CD16)
	IV 2.0 × 3	(CD16)
	EEF 1.6 - 2C	(PF16)
	EEF 1.6 - 3C	(PF22)
	EEF 1.6 - 3C (1E)	(PF22)
	EEF 2.0 - 2C	(PF16)
	EEF 2.0 - 3C (1E)	(PF22)
二重天井内はこしがし配線とする。		

特記仕様	 株式会社 木下建築設計事務所 611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹生	製図年月日 令07.01			工事名称 本庁舎洋式トイレ温水洗浄機能化改修工事	縮尺	図面番号
		訂正年月日				1/100	No E-05 号図
		監修	設計	製図	図面名称 1階西 便所平面図		枚ノ内



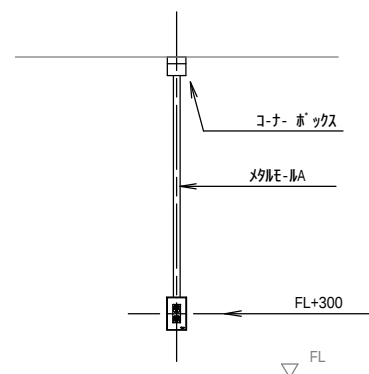
男子便所			女子便所		
■	A41	2	■	A41	2
■	DL40	2	■	DL40	2
■	Y2	1	■	Y2	1

2階東 電灯設備



2階東 コンセント設備

天井改修部
この範囲の配線更新
この範囲の配線器具更新



コンセント壁面露出

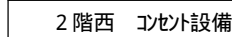
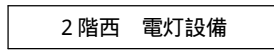
記載なき配管記号は、下記に依る。(照明設備)		
	EEF 1.6 - 2C	(PF16)
	EEF 1.6 - 3C	(PF22)
	EEF 1.6 - 2C × 2	(PF22)
	EEF 2.0 - 2C	(PF16)
	EEF 2.0 - 3C (1E)	(PF22)
	FPC 2.0-2C	(PF22)
二重天井内はこしが記線とする。		

凡 例		電 灯 盤	
	●	壁付スイッチ	1P15A
	● _L	〃	1P 4A 片側2口タイプ付
	● ₃	〃	3W15A
	● _K	換気スイッチ	1P15A 24H換気シ-ル貼付
	 ₂	埋込コンセント	2P 15A × 2
	 ET	〃	2P 15A × 1 接地端子付
	 ₂ ET	〃	2P 15A × 2 接地極接地端子付
	 EWP	〃	2P 15A × 2 接地極付防雨形
		自動水栓・消音器	機械設備工事
		接続 [※] ヶス	
		RC貫通 50φ × 200L	
F : 国交省認定区画貫通処理			

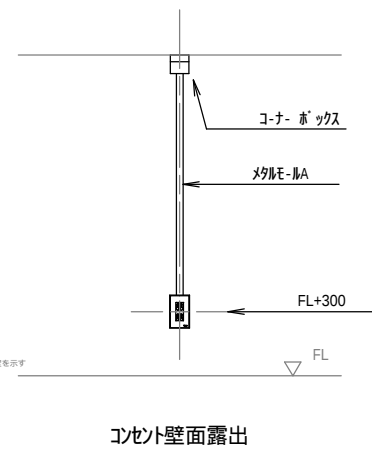
記載なき配管記号は、下記に依る。(コンセント設備)		
	IV 2.0 × 2	(CD16)
	IV 2.0 × 3	(CD16)
	EEF 1.6 - 2C	(PF16)
	EEF 1.6 - 3C	(PF22)
	EEF 1.6 - 3C (1E)	(PF22)
	EEF 2.0 - 2C	(PF16)
	EEF 2.0 - 3C (1E)	(PF22)

二重天井内はこがし配線とする。

特記仕様	 株式会社 木下建築設計事務所 611 - 0 0 2 6 京都府宇治市開町 3 7 - 1 0 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹生	製図年月日 令07.01			工事名称 本庁舎洋式トイレ温水洗浄機能化改修工事	縮尺	図面番号
		訂正年月日				1/100	No E-06 号図
		監修	設計	製図	図面名称 2階東 便所平面図		枚ノ内

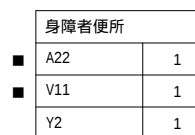


天井改修部
この範囲の配線更新
この範囲の配線器具更新



記載なき配管配線は、下記に依る。(コンセント設備)		
	IV 2.0 × 2	(CD16)
	IV 2.0 × 3	(CD16)
	EEF 1.6 - 2C	(PF16)
	EEF 1.6 - 3C	(PF22)
	EEF 1.6 - 3C (1E)	(PF22)
	EEF 2.0 - 2C	(PF16)
	EEF 2.0 - 3C (1E)	(PF22)
二重天井内はころがし配線とする。		

特記仕様	 株式会社 木下建築設計事務所 611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹生	製図年月日 令07.12			工事名称 本庁舎洋式トイレ温水洗浄機能化改修工事	縮尺	図面番号
		訂正年月日				1/100	No. E-07 号図
		監修	設計	製図	図面名称 2階西 便所平面図		枚ノ内

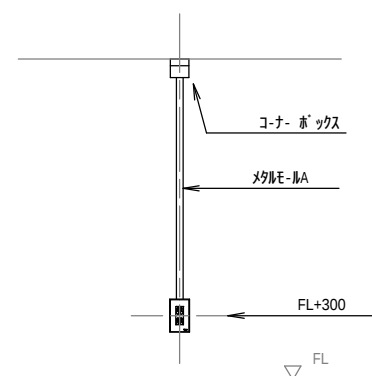


記載なき配管記号は、下記に依る。(照明設備)		
	EEF 1.6 - 2C	(PF16)
	EEF 1.6 - 3C	(PF22)
	EEF 1.6 - 2C × 2	(PF22)
	EEF 2.0 - 2C	(PF16)
	EEF 2.0 - 3C (1E)	(PF22)
	FPC 2.0-2C	(PF22)
二重天井内はこしが記線とする。		

3 階東 コンセント設備

- 印 新設
- 印 既設撤去取替
- ▲印 配線器具取替（新金フレート）
- 印 壁面露出
- ▼印 取外し再取付

天井改修部
この範囲の配線更新
この範囲の配線器具更新



コンクリート壁面露出

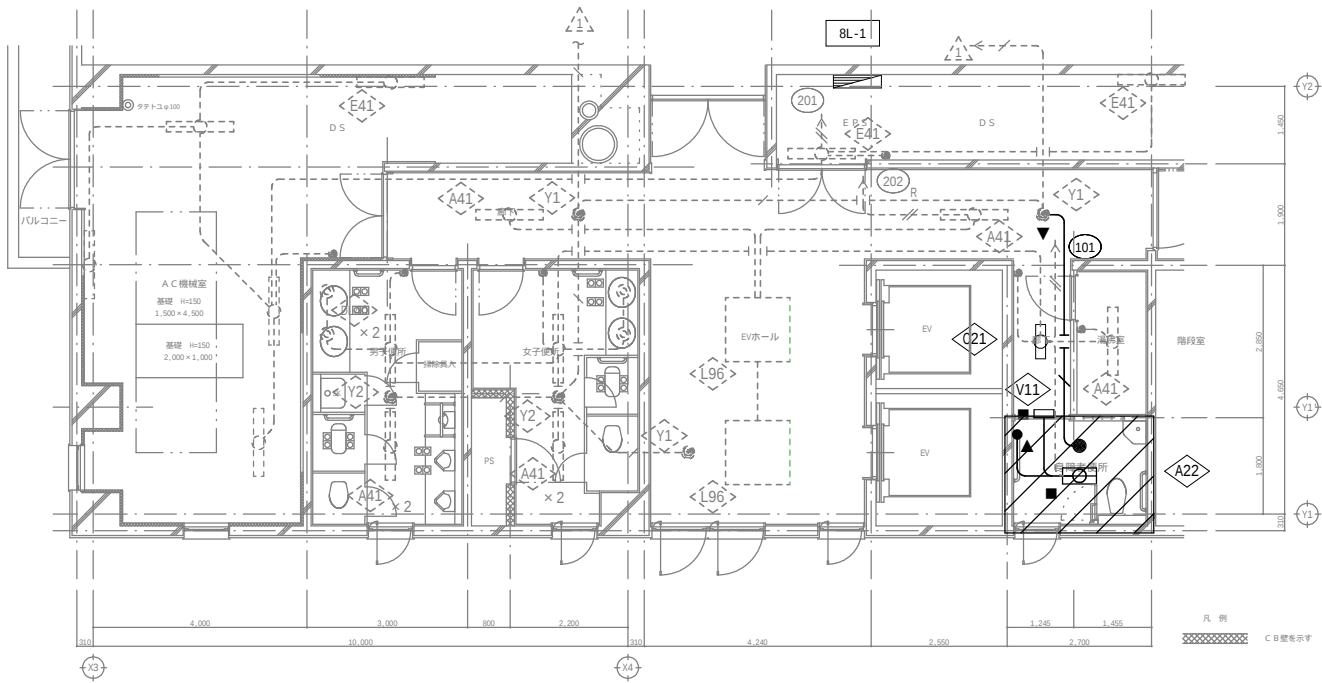
- ☒ 天井点検口 450×450
(建築工事)

凡 例		電 灯 盤	
	●	壁付スイッチ	1P15A
	● _L	〃	1P 4A 片側2方向付
	● ₃	〃	3W15A
	● _K	換気スイッチ	1P15A 24H換気・貼付
		埋込コンセント	2P 15A × 2
		〃	2P 15A × 1 接地端子付
		〃	2P 15A × 2 接地極接地端子付
		〃	2P 15A × 2 接地極付防雨形
		自動水栓・消音器	機械設備工事
		接続ボックス	
	RC貫通 50φ × 200L		
F：国交省認定区画貫通処理			

記載なきき配管記線は、下記に依る。(コンセント設備)		
	IV 2.0 × 2	(CD16)
	IV 2.0 × 3	(CD16)
	EEF 1.6 - 2C	(PF16)
	EEF 1.6 - 3C	(PF22)
	EEF 1.6 - 3C (1E)	(PF22)
	EEF 2.0 - 2C	(PF16)
	EEF 2.0 - 3C (1E)	(PF22)

二重天井内はころがし記線とする。

特記仕様	 株式会社 木下建築設計事務所 611 - 0 0 2 6 京都府宇治市開町 3 7 - 1 0 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹生	製図年月日 令07.01			工事名称 本庁舎洋式トイレ温水洗浄機能化改修工事	縮尺	図面番号
		訂正年月日				1/100	No E-08 号図
		監修	設計	製図	図面名称 3階東 便所平面図		枚ノ内

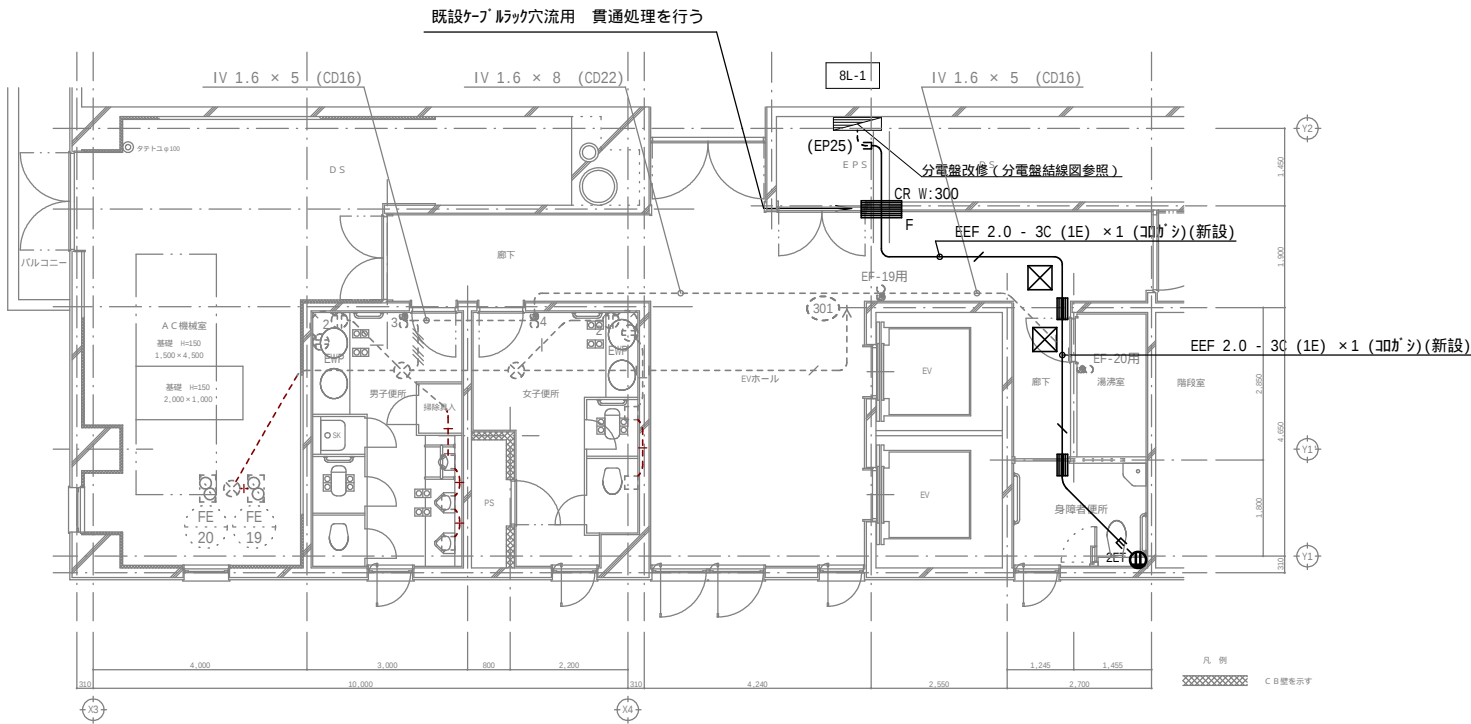


8階東 電灯設備

通路	
C21	1

身障者便所	
A22	1
V11	1
Y2	1

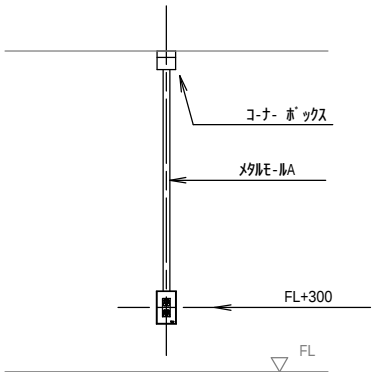
記載なき配管配線は、下記に依る。(照明設備)		
	EEF 1.6 - 2C	(PF16)
	EEF 1.6 - 3C	(PF22)
	EEF 1.6 - 2C × 2	(PF22)
	EEF 2.0 - 2C	(PF16)
	EEF 2.0 - 3C (1E)	(PF22)
	FPC 2.0-2C	(PF22)
二重天井内はこがし配線とする。		



8階東 コンセント設備

- 印 新設
- 印 既設撤去取替
- ▲印 配線器具取替 (新金プレート)
- 印 壁面露出
- ▼印 取外し再取付

天井改修部
この範囲の配線更新
この範囲の配線器具更新

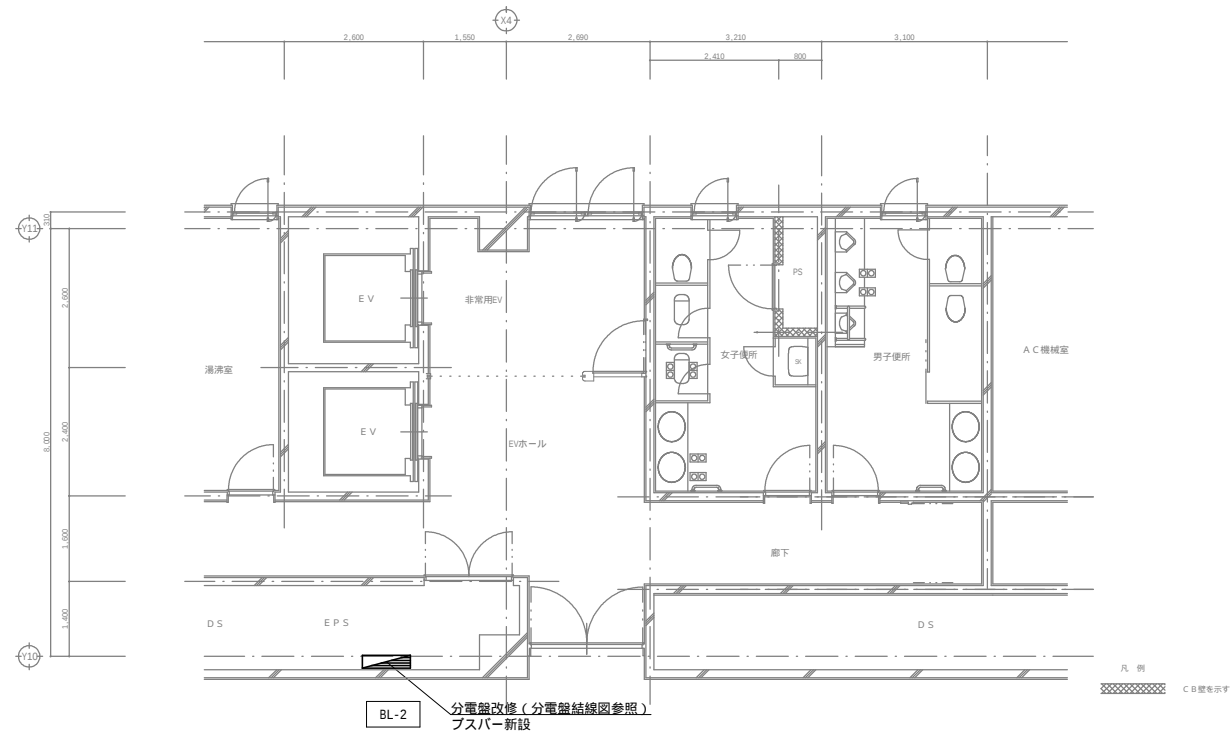


コンセント壁面露出

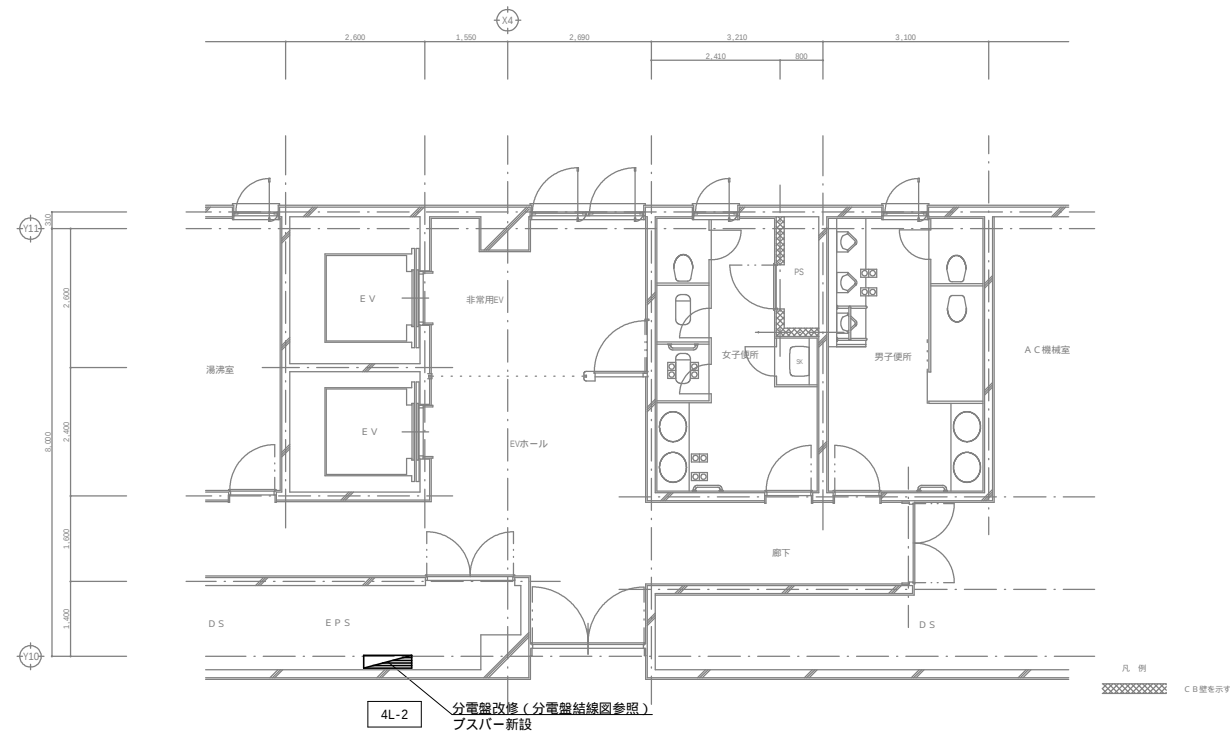
☒ 天井点検口 450 × 450
(建築工事)

凡 例		電灯盤	
	●	壁付スイッチ	1P15A
	● L	"	1P 4A Ⅱ' 100mm付
	● 3	"	3W15A
	● K	換気スイッチ	1P15A 24H換気スイッチ付
	Ⓜ2	埋込コンセント	2P 15A × 2
	ⓂET	"	2P 15A × 1 接地端子付
	Ⓜ2ET	"	2P 15A × 2 接地極接地端子付
	ⓂEMP	"	2P 15A × 2 接地極付防雨形
	□	自動水栓・消音器	機械設備工事
	⊗	接続ボックス	
	■	RC貫通	50φ × 200L
	F : 国交省認定区画貫通処理		

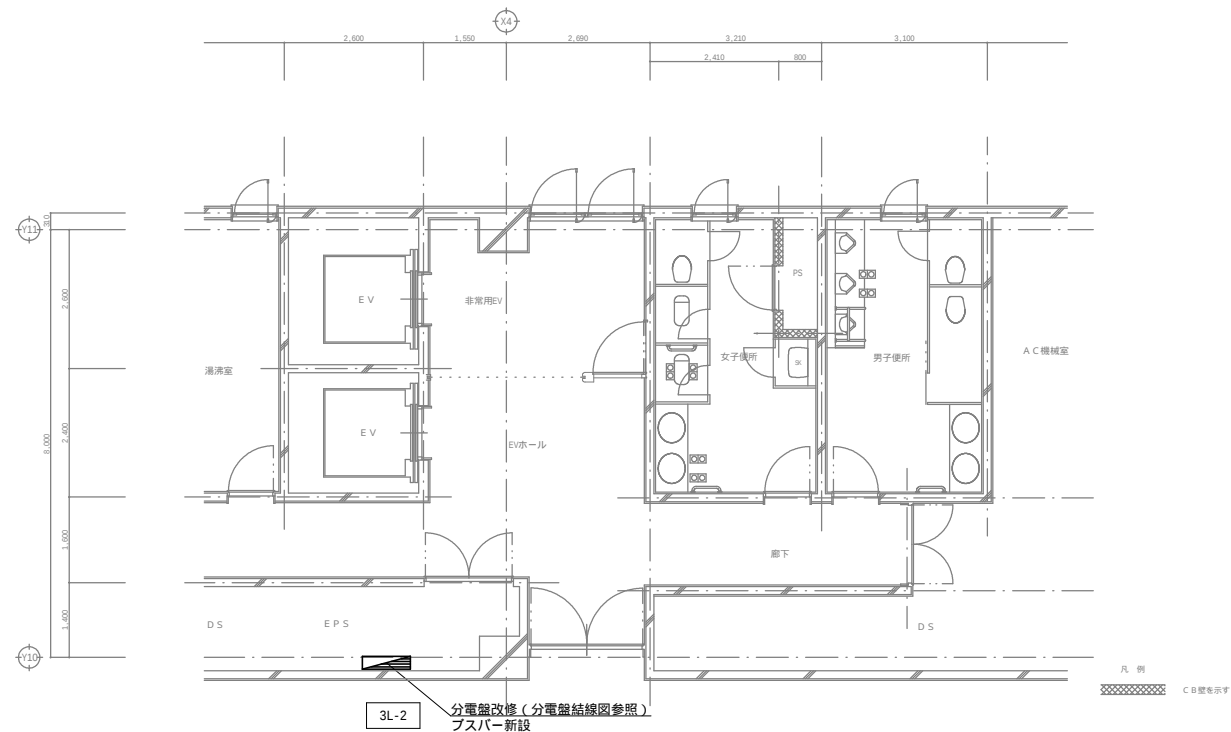
記載なき配管配線は、下記に依る。(コンセント設備)		
	IV 2.0 × 2	(CD16)
	IV 2.0 × 3	(CD16)
	EEF 1.6 - 2C	(PF16)
	EEF 1.6 - 3C	(PF22)
	EEF 1.6 - 3C (1E)	(PF22)
	EEF 2.0 - 2C	(PF16)
	EEF 2.0 - 3C (1E)	(PF22)
二重天井内はこがし配線とする。		



地下階西 コンセント設備



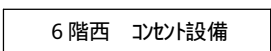
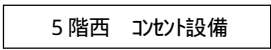
4 階西 コンセント設備



3 階西 コンセント設備

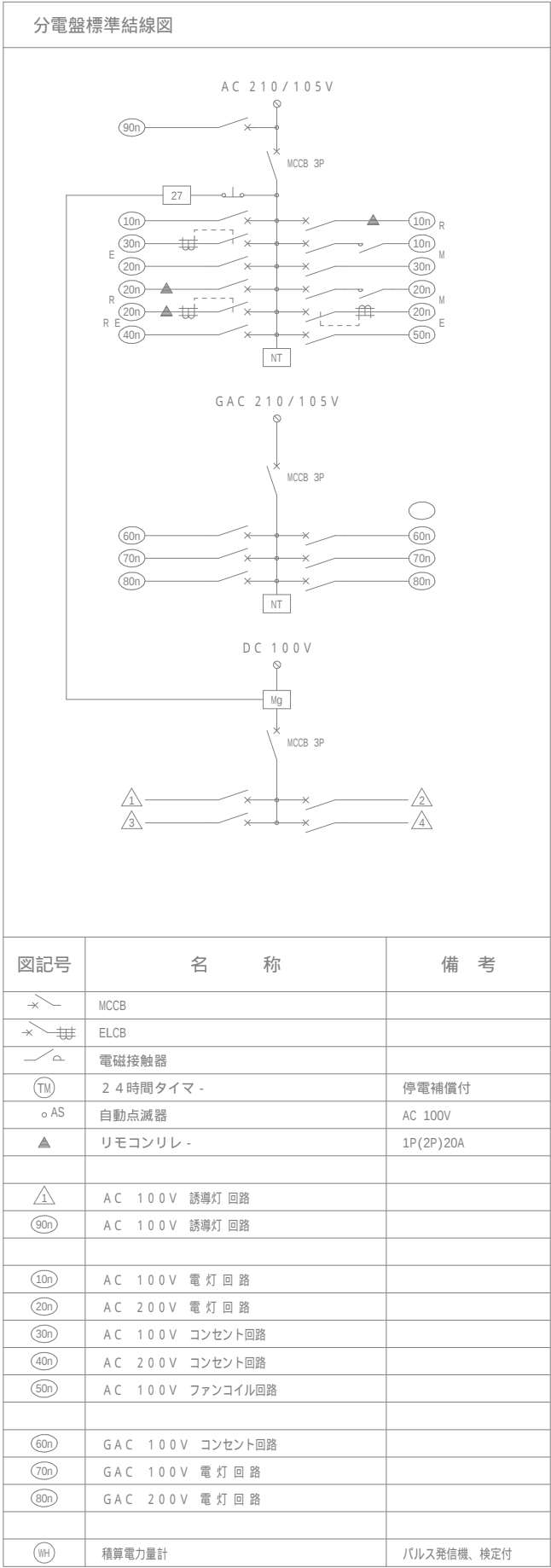
凡 例		電灯盤	
	●	壁付スイッチ	1P15A
	● L	"	1P 4A ﾈﾞｲｯﾄﾗﾝﾌﾞ 付
	● 3	"	3W15A
	● K	換気スイッチ	1P15A 24H換気ｼｰﾙ貼付け
		埋込ｺﾝﾍﾞﾝﾄ	2P 15A x 2
		"	2P 15A x 1 接地端子付
		"	2P 15A x 2 接地極接地端子付
		"	2P 15A x 2 接地極付防雨形
		自動水栓・消音器	機械設備工事
		接続ｶﾞｽ	
		RC貫通	50φ x 200L
	F：国交省認定区画貫通処理		

特記仕様		株式会社 木下建築設計事務所	製図年月日 令07.01			工事名称 本庁舎洋式トイレ温水洗浄機能化改修工事	縮尺	図面番号
			訂正年月日				1/100	No E-10 号図
			監修	設計	製図	図面名称 地階西、3階西、4階西 平面図		枚ノ内
			611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号					
			TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹生					



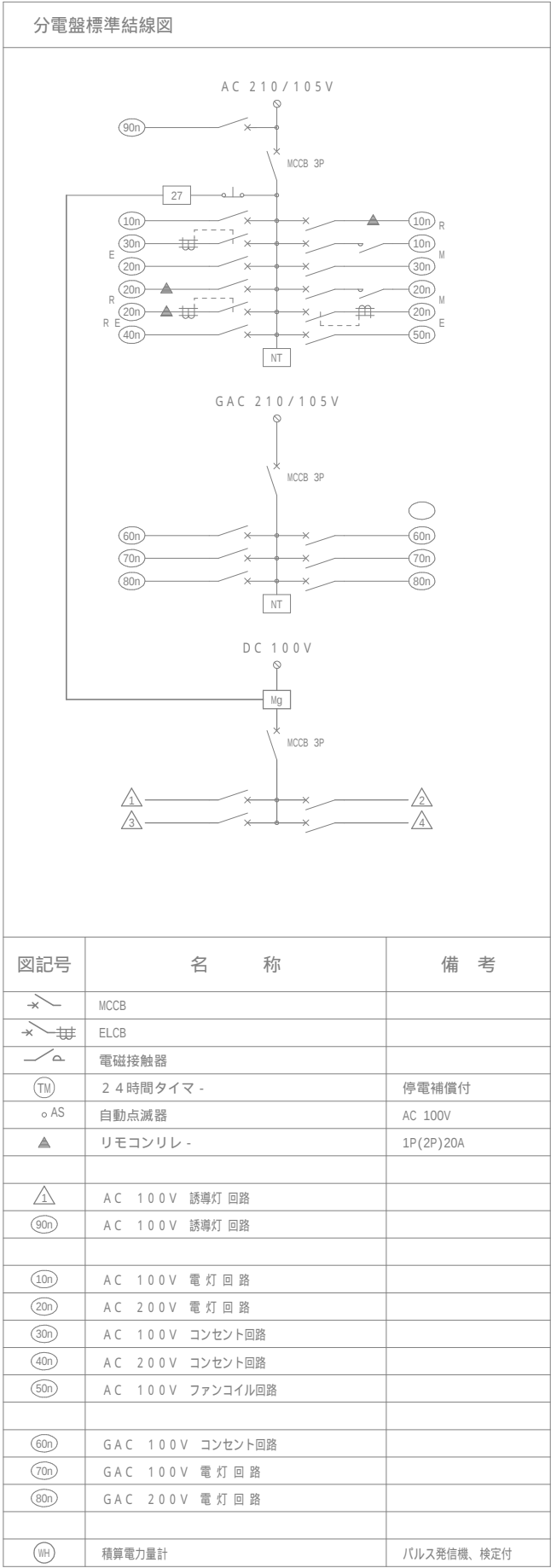
凡 例		電 灯 盤	
	●	壁付スイッチ	1P15A
	● _L	"	1P 4A 1" イットランフ 付
	● ₃	"	3W15A
	● _K	換気スイッチ	1P15A 24H換気シ-ル貼付け
	① ₂	埋込コンセント	2P 15A × 2
	① _{ET}	"	2P 15A × 1 接地端子付
	② _{2ET}	"	2P 15A × 2 接地極接地端子付
	① _{ENP}	"	2P 15A × 2 接地極付防雨形
		自動水栓・消音器	機械設備工事
		接続ボックス	
		RC貫通 50φ × 200L	
F : 国交省認定区画貫通処理			

特記仕様	 株式会社 木下建築設計事務所 611-0026 京都府宇治市開町3-7-10 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野 幹 生	製図年月日 令07.01 訂正年月日 監修 設計 製図			工事名称 本庁舎洋式トイレ温水洗浄機能化改修工事	縮尺 1/100	図面番号 No E-11 号図
					図面名称 5 階西、6 階西 平面図		枚ノ内



盤名称 幹 線 番号	回路 番号	回路名称	分岐開閉器					負 荷 容量(VA)	備 考
			ELB	MCB	P	AF	AT		
BL-2									
	901	誘導灯			2	50	20		
	201	電子計算機室 照明			2	50	20	200V回路	
	202	ソフト開発室 照明			"	"	"	200V回路	
	203	OAルーム・データ処理室2照明			"	"	"	200V回路	
	204	地下書庫1照明			"	"	"	200V回路	
	205	地下書庫2照明			"	"	"	200V回路	
	206	休憩室及基倉庫照明			"	"	"	200V回路	
	207	更衣室照明			"	"	"	200V回路	
	208	洗面・手洗車輻係室照明			"	"	"	200V回路	
	209	駐車場1照明			"	"	"	200V回路	
	210	駐車場2照明			"	"	"	200V回路	
	211	DS・EPS機械室照明			"	"	"	200V回路	
	212	ELV照明			"	"	"	200V回路	
	213	階段照明			"	"	"	200V回路	
	214	予備			"	"	"	200V回路	
	215	外部照明			"	"	"	200V回路	
	216	外部照明			"	"	"	200V回路	
	217	テラス照明 (ライトアップ 照明)			"	"	"	200V回路	
	218	予備			"	"	"	200V回路	
	219	IT推進課 1			"	"	"	200V回路	
	220	IT推進課2			"	"	"	200V回路	
	221	予備			"	"	"	200V回路	
	222	予備			"	"	"	200V回路	
NT									
	101	便所照明			1	50	20		
	102	予備			1	50	20		
	301	便所廻り電源			2	50	20		
	302	EPS・DSコンセント			1	"	"		
	303	廊下コンセント			"	"	"		
	304	湯沸室コンセント			2	"	"		
	305	大倉庫、地下書庫コンセント			1	"	"		
	306	休憩室他コンセント			"	"	"		
	307	更衣室コンセント			"	"	"		
	308	駐車場コンセント			"	"	"		
	309	車輻係室コンセント			"	"	"		
	310	車輻係室予備			2	"	"		
	311	ブローヒーター			"	"	"		
	312	乾燥機用			"	"	"		
	313	湯沸室専用コンセント			2	50	20	撤去・新設	
	314	予備			1	"	"		
NT									
	501	ソフト開発室FCC			1	50	20		
	502	休憩室FCC			"	"	"		
	503	電子計算機室Dｽｲﾁ			"	"	"		
	504	ソフト開発室1,2Dｽｲﾁ			"	"	"		
	505	ソフト開発室Dｽｲﾁ			1	50	20		
	506	データ処理室2Dｽｲﾁ			"	"	"		
	507	休憩室Dｽｲﾁ			"	"	"		
	508	車輻係室Dｽｲﾁ			"	"	"		
	509	IT推進課3			"	"	"		
	510	IT推進課4			"	"	"		

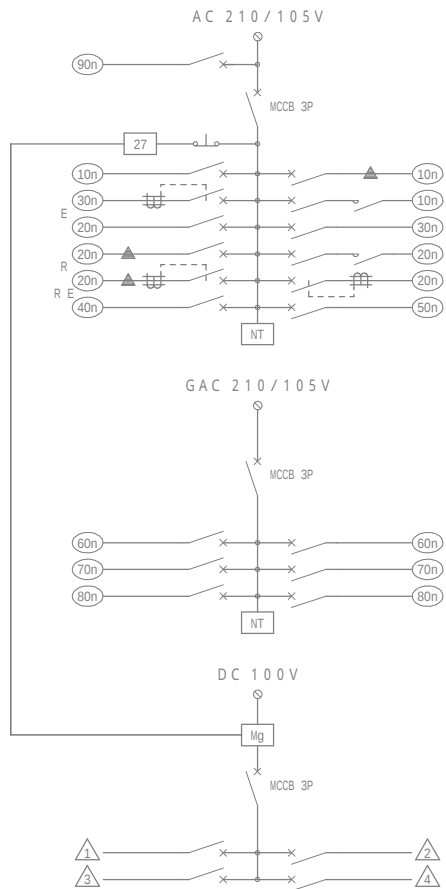
盤名称 幹 線 番号	回路 番号	回路名称	分岐開閉器					負 荷 容量(VA)	備 考
			ELB	MCB	P	AF	AT		
BL-2									
	A	BLM-1			3	50	20		CVT14
	801	電気室 照明			2	50	20		
	802	駐輪場 照明			"	"	"		
	803	エレベーターホール照明			"	"	"		
	804	予備			"	"	"		
	601	ソフト開発室GTV			1	50	20		
	602	車輻係室GTV			"	"	"		
	603	ELVビット			"	"	"		
	604	OA電源			"	"	"		
	605	ブロースター電源			"	"	"		
	606	B階段室 照明			"	"	"		
	607	予備			"	"	"		
	608	リモコンランス・伝送用ユニット			"	"	"		
NT									
FP 38'-2C	1	非常照明			2	50	20		
	2	非常照明			"	"	"		
NT									



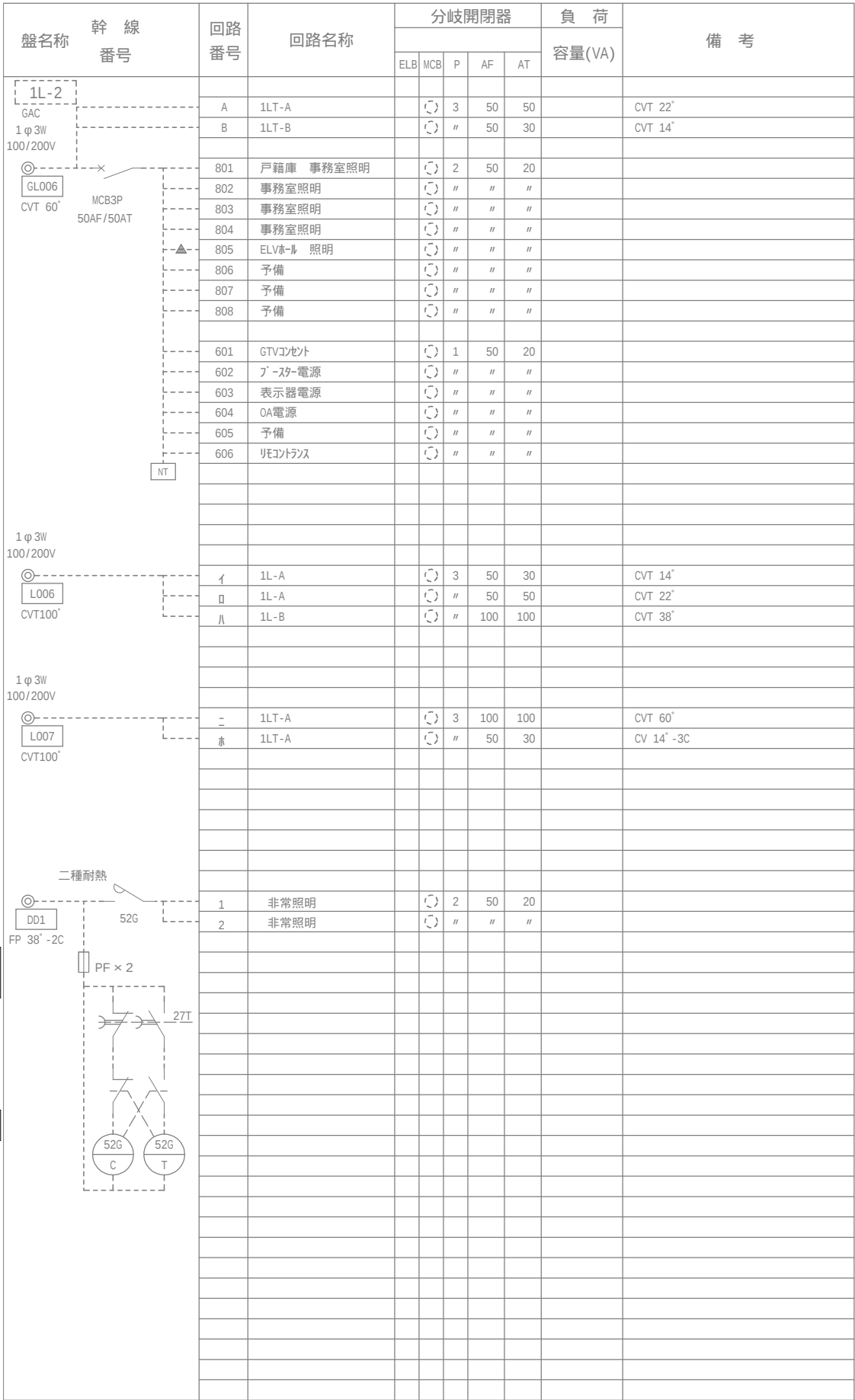
盤名称	幹 線 番号	回路 番号	回路名称	分岐開閉器					負 荷 容量(VA)	備 考
				ELB	MCB	P	AF	AT		
1L-1	1φ3W 100/200V MCB3P 225AF/150AT 撤去 225AF/200AT 新設 NT	A	1L-C,D							CVT 38'
		B	市民交流広場							
		901	誘導灯							
		201	ELVホール照明							200V回路
		202	PS機械室照明							200V回路
		203	オートリフト制御盤							200V回路
		204	予備							200V回路
		205	予備							200V回路
		206	エントランスホール照明							200V回路
		207	エントランスホール照明							200V回路
		208	エントランスホール照明							200V回路
		209	エントランスホール照明							200V回路
		210	エントランスホール照明							200V回路
		211	エントランスホール照明							200V回路
		212	市民行政コーナー照明							200V回路
		101	便所照明							
		102	EPS下部照明							
		103	EPS下部照明							
		104	EPS下部照明							
		105	EPS下部照明							
		106	展示コーナー照明							
		107	展示コーナー照明							
		108	風除室照明							
		109	展示コーナー照明							
		110	ギャラリー電源							
		111	風除室ダクトライト							
		112	風除室ダクトライト							
		113	市民相談室照明							
		114	市民相談室照明							
		115	玄関底下照明							
		116	ELVホールスポット照明							
		117	予備							
		118	身障者便所						1261	撤去・新設
		301	便所廻り電源							
		302	PS エントランスホールコンセント							
		303	相談コーナーコンセント							
		304	展示コーナーコンセント							
		305	受付カウンター後ろコンセント							
		306	受付カウンター後ろコンセント							
		307	PT電源							
		308	自動販売機コンセント							
		309	自動販売機コンセント							
		310	自動販売機コンセント							
		311	自動販売機コンセント							
		312	外部コンセント							
		313	エレベーターコンセント							
		314	エレベーターコンセント							
		315	エレベーターコンセント							
		316	誘導鈴							
		317	誘導鈴							
		318	インターホンコンセント (受付カウンター)							
		319	受付板電源							
		320	サキレクター電源							
		321	吹抜サキレクター電源							
		322	女子便所						1261	撤去・新設
		323	"						1261	撤去・新設
		324	男子便所						1261	撤去・新設
		501	ファンコイル電源							
		502	ファンコイル電源 展示コーナー							
		503	2階エレベーターコンセント							
		504	2階エレベーターコンセント							

盤名称	幹 線 番号	回路 番号	回路名称	分岐開閉器					負 荷 容量(VA)	備 考
				ELB	MCB	P	AF	AT		
1L-1	1φ3W 100/200V MCB3P 50AF/50AT NT	801	エントランスホール照明							
		802	予備							
		601	エレベーター-TV電源							
		602	自動ドア電源							
		603	自動ドア電源							
		604	自動ドア電源							
		605	PS内 OA電源							
		606	リモコンリレ							
		607	予備							
		608	予備							
		1	非常照明							
		2	非常照明							

分電盤標準結線図



図記号	名 称	備 考
	MCCB	
	ELCB	
	電磁接触器	
	2 4 時間タイマ -	停電補償付
	自動点滅器	AC 100V
	リモコンリレ -	1P(2P)20A
	AC 100V 誘導灯 回路	
	AC 100V 誘導灯 回路	
	AC 100V 電 灯 回 路	
	AC 200V 電 灯 回 路	
	AC 100V コンセント回路	
	AC 200V コンセント回路	
	AC 100V ファンコイル回路	
	GAC 100V コンセント回路	
	GAC 100V 電 灯 回 路	
	GAC 200V 電 灯 回 路	
	積算電力量計	パルス発信機、検定付

[illegible]

特記仕様	 株式会社 木下建築設計事務所 611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野幹生	製図年月日 R07.01 訂正年月日		建築主 本庁舎洋式トイレ温水洗浄機能化改修工事 工事名称	縮尺 1/50	図面番号 No. E-14 号図
		監修 設計 製図	図面名称 分電盤結線図(3)			
						校ノ内



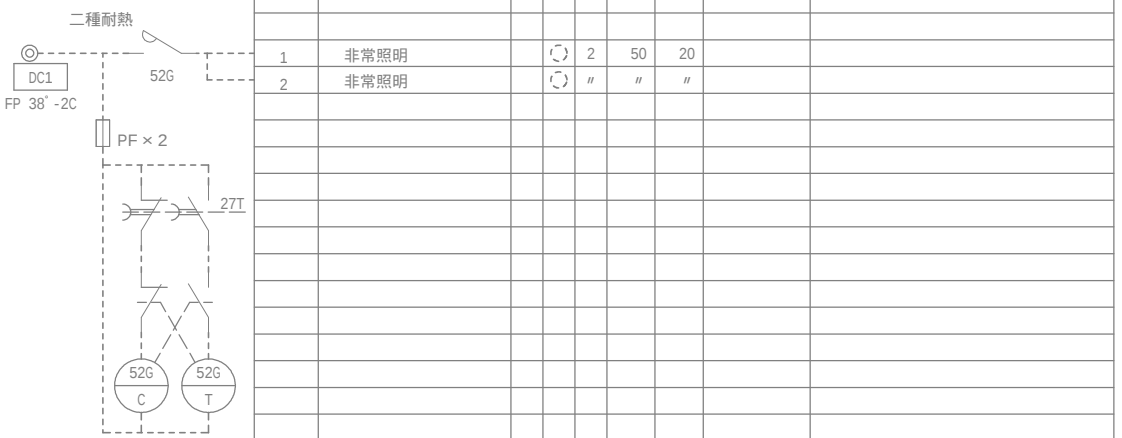
改修前403番は200V回路

改修前404番は200V回路

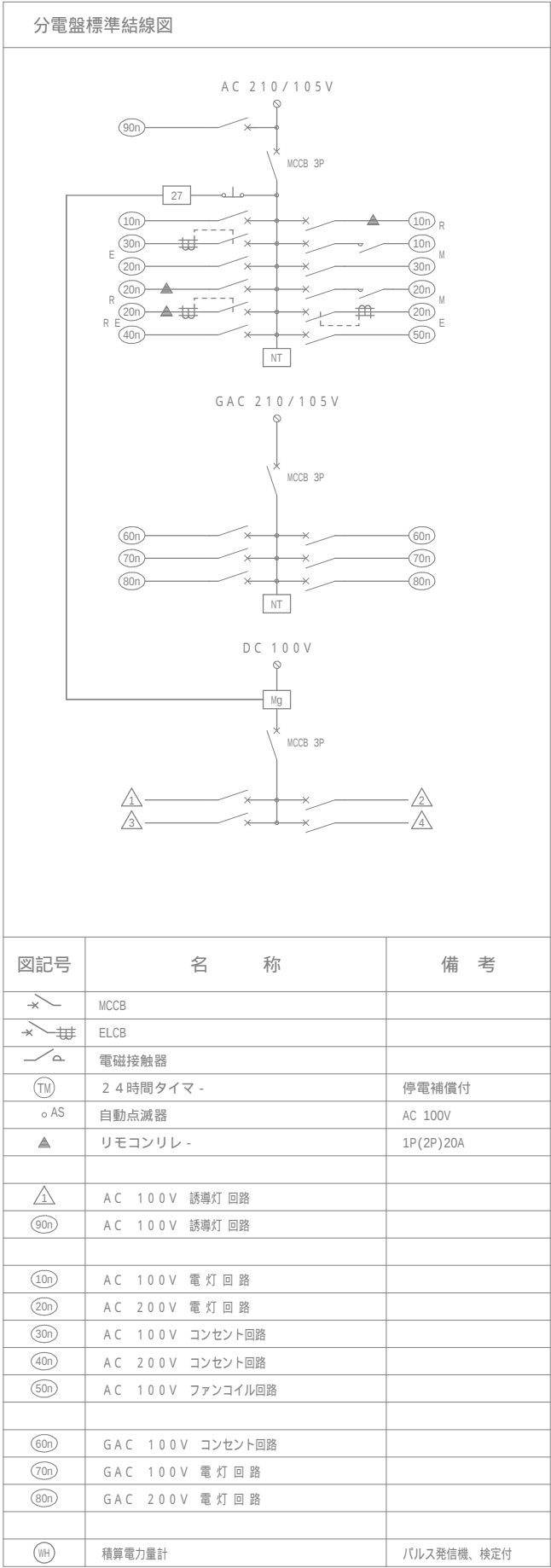
分岐 取替
現況予備回路×2

改修前 MCB 2P 50/20AT
改修後 ELB 2P 50/20AT
新設ELB はコバ'クタイ'
BV-C2 三菱電機
下記の枠内について
改修範囲を示す。

313	女子便所コンセント	○	2	50	20	1261	撤去・新設
314	男子便所コンセント	○	"	"	"	1261	"
315	湯沸室専用コンセント	○	"	"	"	600	"
316	湯沸室専用コンセント	○	"	"	"	600	"
101	便所・湯沸室	○	1	50	20		
102	EP上部ダ'クライト	○	"	"	"		
103	EP上部ダ'クライト	○	"	"	"		
104	EP上部ダ'クライト	○	"	"	"		
105	EP上部ダ'クライト	○	"	"	"		
106	陶板照明（将来用）	○	"	"	"		
107	陶板照明（将来用）	○	"	"	"		
108	予備	○	"	"	"		
301	便所電源	○	2	50	20		
302	EPS機械室コンセント	○	1	"	"		
303	湯沸・冷蔵庫コンセント	○	2	"	"		
304	湯沸・電磁パ'キ	○	"	"	"		
305	湯沸・電磁パ'キ	○	"	"	"		
306	収入役室会議室コンセント	○	1	"	"		
307	会議室203コンセント	○	"	"	"		
308	収入役室701コンセント	○	"	"	"		
309	会議室202コンセント	○	"	"	"		
310	収入役室電気温水器電源	○	2	"	"		
311	202会議室露出コンセント北	○	1	"	"		
312	202会議室露出コンセント南	○	"	"	"		
501	会議室ファンコイル#201	○	1	50	20		
502	会議室ファンコイル#202	○	"	"	"		
503	北側ダ'クタイ	○	"	"	"		
504	会計側ダ'クタイ	○	"	"	"		
505	西露出201	○	"	"	"		
506	東露出201	○	"	"	"		
NT							



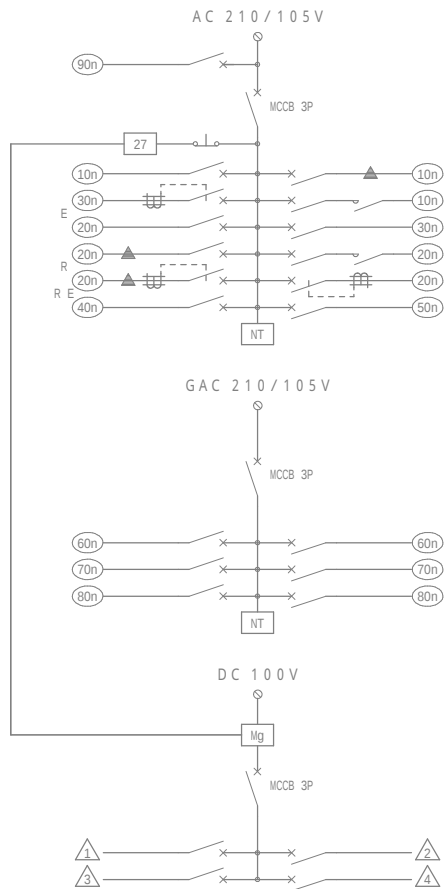
特記仕様	 株式会社 木下建築設計事務所 611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野幹生	製図年月日 R07.01			建 築 主 工 事 名 称 本庁舎洋式トイレ温水洗浄機能化改修工事	縮 尺	図面番号
		訂正年月日					No E-15 号図
		監修	設計	製図	図面名称 分電盤結線図(4)		枚ノ内



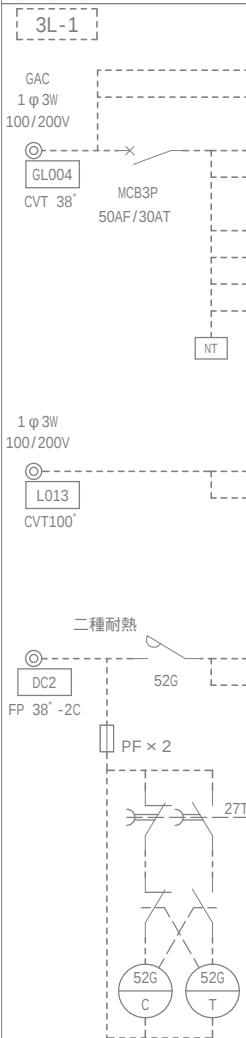
盤名称 幹 線 番号	回路 番号	回路名称	分岐開閉器					負 荷 容量(VA)	備 考
			ELB	MCB	P	AF	AT		
2L-2 1φ3W 100/200V L010 CVT150 PF×2 400AF/250AT E 27 T									
	201	EPS・DS照明			2	50	20		200V回路
	202	ELVホ-ル電源			"	"	"		200V回路
	203	倉庫・休憩室照明			"	"	"		200V回路
	204	事務室照明			"	"	"		200V回路
	205	事務室照明			"	"	"		200V回路
	206	事務室照明			"	"	"		200V回路
	207	事務室照明			"	"	"		200V回路
	208	事務室照明			"	"	"		200V回路
	209	事務室照明			"	"	"		200V回路
	210	事務室照明			"	"	"		200V回路
	211	事務室照明			"	"	"		200V回路
	212	事務室照明			"	"	"		200V回路
	213	事務室照明			"	"	"		200V回路
	214	事務室照明			"	"	"		200V回路
	215	事務室照明			"	"	"		200V回路
	216	事務室照明			"	"	"		200V回路
	217	待合ホ-ル照明			"	"	"		200V回路
	218	事務室照明			"	"	"		200V回路
	219	事務室照明			"	"	"		200V回路
	220	事務室照明			"	"	"		200V回路
	221	事務室照明			"	"	"		200V回路
	222	待合ホ-ル照明			"	"	"		200V回路
	223	待合ホ-ル照明			"	"	"		200V回路
	224	事務室・通路部照明			"	"	"		200V回路
	225	トップライト照明			"	"	"		200V回路
	226	予備			"	"	"		200V回路
	227	予備			"	"	"		200V回路
	228	予備			"	"	"		200V回路
NT									
	101	便所照明			1	"	"		
	102	予備			"	"	"		
	301	便所コンセント			2	50	20		
	302	EPS内コンセント			1	"	"		
	303	事務室柱コンセント			"	"	"		
	304	事務室コンセント			"	"	"		
NT	305	湯沸室コンセント			2	"	"		
	306	倉庫・休憩室コンセント			1	"	"		
	307	AMP電源			"	"	"		
	308	トップライト開閉器盤			"	"	"		
	309	男子便所コンセント			2	50	20	1261	撤去・新設
	310	男子便所コンセント			2	50	20	1261	撤去・新設
	501	ファンコイル待合			1	50	20		
	502	ファンコイル休憩室			"	"	"		
NT	503	ロスタイ休憩室			"	"	"		
	504	IT-搬送FAN北事務室他			"	"	"		
	505	女子便所コンセント			2	50	20	1261	撤去・新設
	506	IT-搬送FAN南事務室他			1	50	"		
	507	湯沸室専用コンセント			2	50	20	600	増設
									内蓋を加工する。

盤名称 幹 線 番号	回路 番号	回路名称	分岐開閉器					負 荷 容量(VA)	備 考
			ELB	MCB	P	AF	AT		
2L-2 GAC 1φ3W 100/200V GL009 CVT100 PF×2 50AF/50AT NT	A	2LT-B			3	50	50		CVT 22'
	B	2LT-C			"	"	"		CVT 22'
	801	事務室GAC 照明			2	50	20		
	802	事務室 照明			"	"	"		
	803	事務室GAC 照明			"	"	"		
	804	事務室 照明			"	"	"		
	805	ELVホ-ル照明			"	"	"		
	806	休憩室照明			"	"	"		
	807	予備			"	"	"		
	808	予備			"	"	"		
	601	事務室 GTV電源			1	50	20		
	602	OA電源			"	"	"		
	603	予備			"	"	"		
	604	リモコントランス			"	"	"		
1φ3W 100/200V L012 CVT150 二種耐熱 DD1 FP 38'-2C PF×2 52G 27T 52G C T	イ	2L-A			3	50	30		CV14'-3C
	ロ	2LT-B			"	100	100		CVT 60'
	ハ	2LT-C			"	50	50		CVT 22'
NT									
NT	1	非常照明			2	50	20		
	2	非常照明			"	"	"		

分電盤標準結線図



図記号	名 称	備 考
	MCCB	
	ELCB	
	電磁接触器	
	2 4 時間タイマ -	停電補償付
	自動点滅器	AC 100V
	リモコンリレ -	1P(2P)20A
	AC 100V 誘導灯 回路	
	AC 100V 誘導灯 回路	
	AC 100V 電 灯 回 路	
	AC 200V 電 灯 回 路	
	AC 100V コンセント回路	
	AC 200V コンセント回路	
	AC 100V ファンコイル回路	
	GAC 100V コンセント回路	
	GAC 100V 電 灯 回 路	
	GAC 200V 電 灯 回 路	
	積算電力量計	パルス発信機、検定付

[illegible]

盤名称	幹線 番号	回路 番号	回路名称	分岐開閉器					負荷	備考
				ELB	MCB	P	AF	AT	容量(VA)	
3L-1										
GAC 1φ3W 100/200V GL004 CVT 38' MCB3P 50AF/30AT NT	A	3LT-A			3	50	30		CVT 14'	
	B	3LT-C			"	"	"		CVT 14'	
	801	事務室GAC照明			2	50	20			
	802	予備			"	"	"			
	601	EPS・OA用電源			1	50	20			
	602	GTVコンセント			"	"	"			
	603	トイレ警報			"	"	"			
	604	エレコンタンス			"	"	"			
1φ3W 100/200V L013 CVT100'	イ	3LT-A			3	50	50		CVT 22'	
	ロ	3LT-C			"	100	75		CVT 38'	
二種耐熱 DC2 FP 38'-2C PF×2 27T 52G C 52G T	1	非常照明			2	50	20			
	2	非常照明			"	"	"			

特記仕様	 株式会社 木下建築設計事務所 611 - 0 0 2 6 京都府宇治市開町 3 7 - 1 0 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野幹生	製図年月日 R07.01			建 築 主 工 事 名 称	本庁舎洋式トイレ温水洗浄機能化改修工事	縮 尺	図面番号
		訂正年月日						No E-17 号図
		監修	設計	製図	図面名称	分電盤結線図（6）		枚ノ内

分電盤標準結線図

AC 210 / 105 V

MCCB 3P

27

10n R

10n M

30n M

20n E

40n

NT

GAC 210 / 105 V

MCCB 3P

60n

70n

80n

NT

DC 100 V

Mg

MCCB 3P

1 2

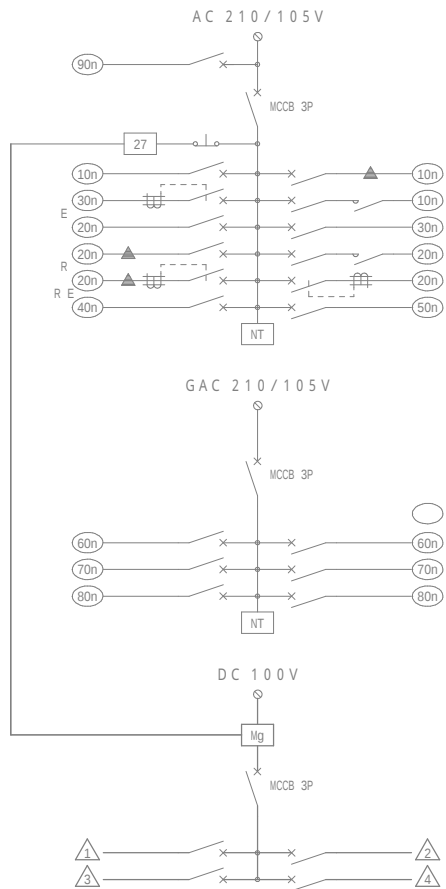
3 4

図記号	名 称	備 考
	MCCB	
	ELCB	
	電磁接触器	
	24時間タイマ -	停電補償付
	自動点滅器	AC 100V
	リモコンリレ -	1P(2P)20A
	AC 100V 誘導灯 回路	
	AC 100V 誘導灯 回路	
	AC 100V 電灯 回路	
	AC 200V 電灯 回路	
	AC 100V コンセント回路	
	AC 200V コンセント回路	
	AC 100V ファンコイル回路	
	GAC 100V コンセント回路	
	GAC 100V 電灯 回路	
	GAC 200V 電灯 回路	
	積算電力量計	パルス発信機、検定付

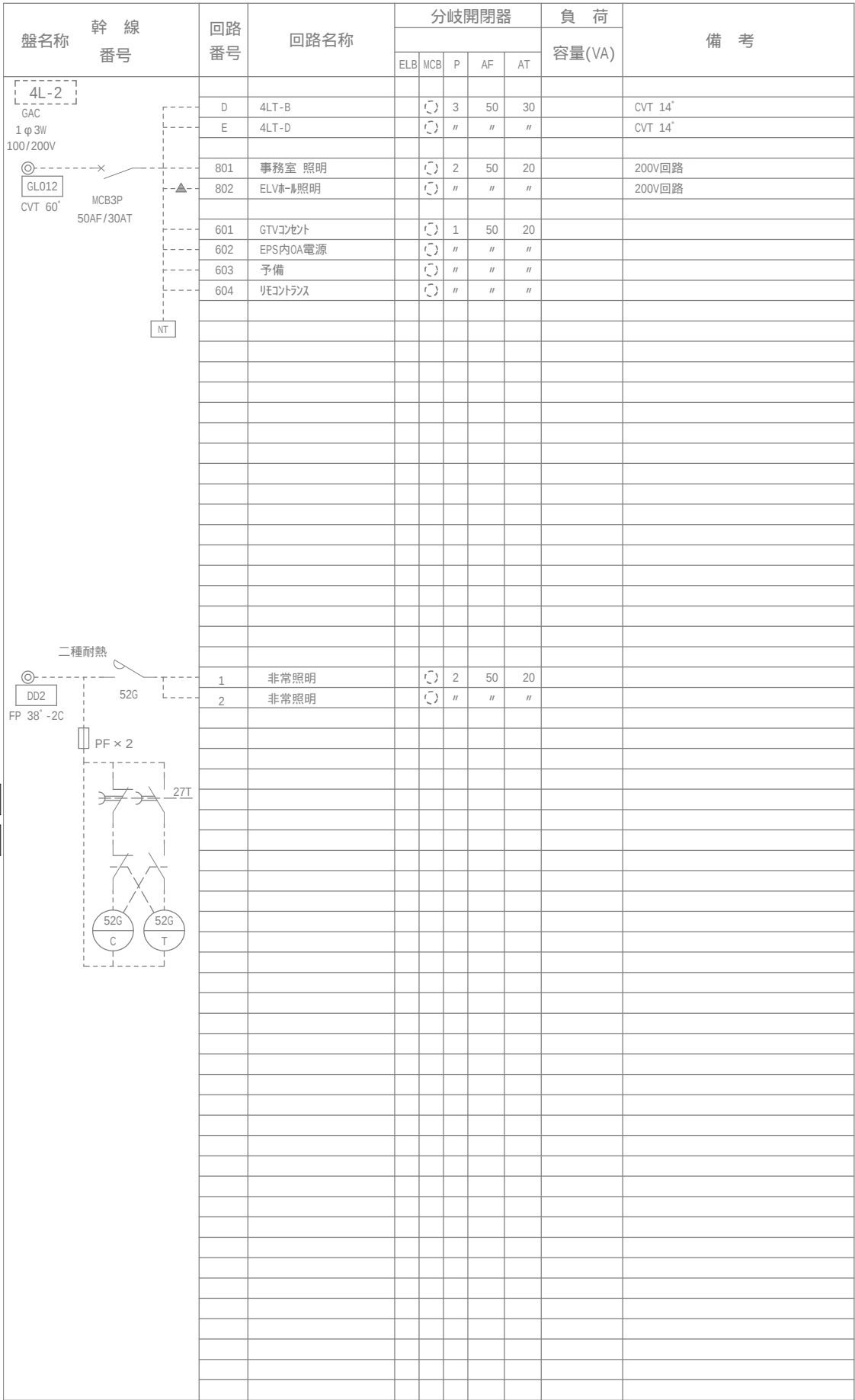
[illegible][illegible]

特記仕様	株式会社 木下建築設計事務所 611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野幹生	製図年月日 R07.01			建 築 主 工 事 名 称 本庁舎洋式トイレ温水洗浄機能化改修工事	縮 尺	図面番号
		訂正年月日					No E-18 号図
		監修	設計	製図	図面名称 分電盤結線図(7)		枚ノ内

分電盤標準結線図

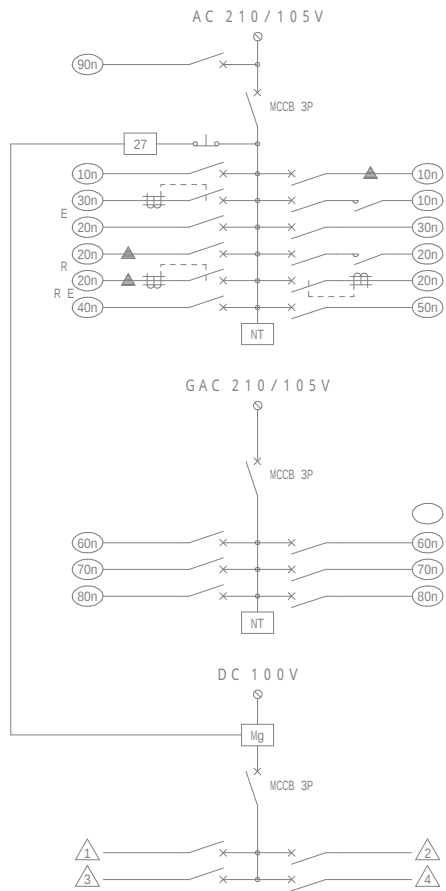


図記号	名 称	備 考
	MCCB	
	ELCB	
	電磁接触器	
	2 4 時間タイマ -	停電補償付
	自動点滅器	AC 100V
	リモコンリレ -	1P(2P)20A
	AC 100V 誘導灯 回路	
	AC 100V 誘導灯 回路	
	AC 100V 電 灯 回 路	
	AC 200V 電 灯 回 路	
	AC 100V コンセント回路	
	AC 200V コンセント回路	
	AC 100V ファンコイル回路	
	GAC 100V コンセント回路	
	GAC 100V 電 灯 回 路	
	GAC 200V 電 灯 回 路	
	積算電力量計	パルス発信機、検定付

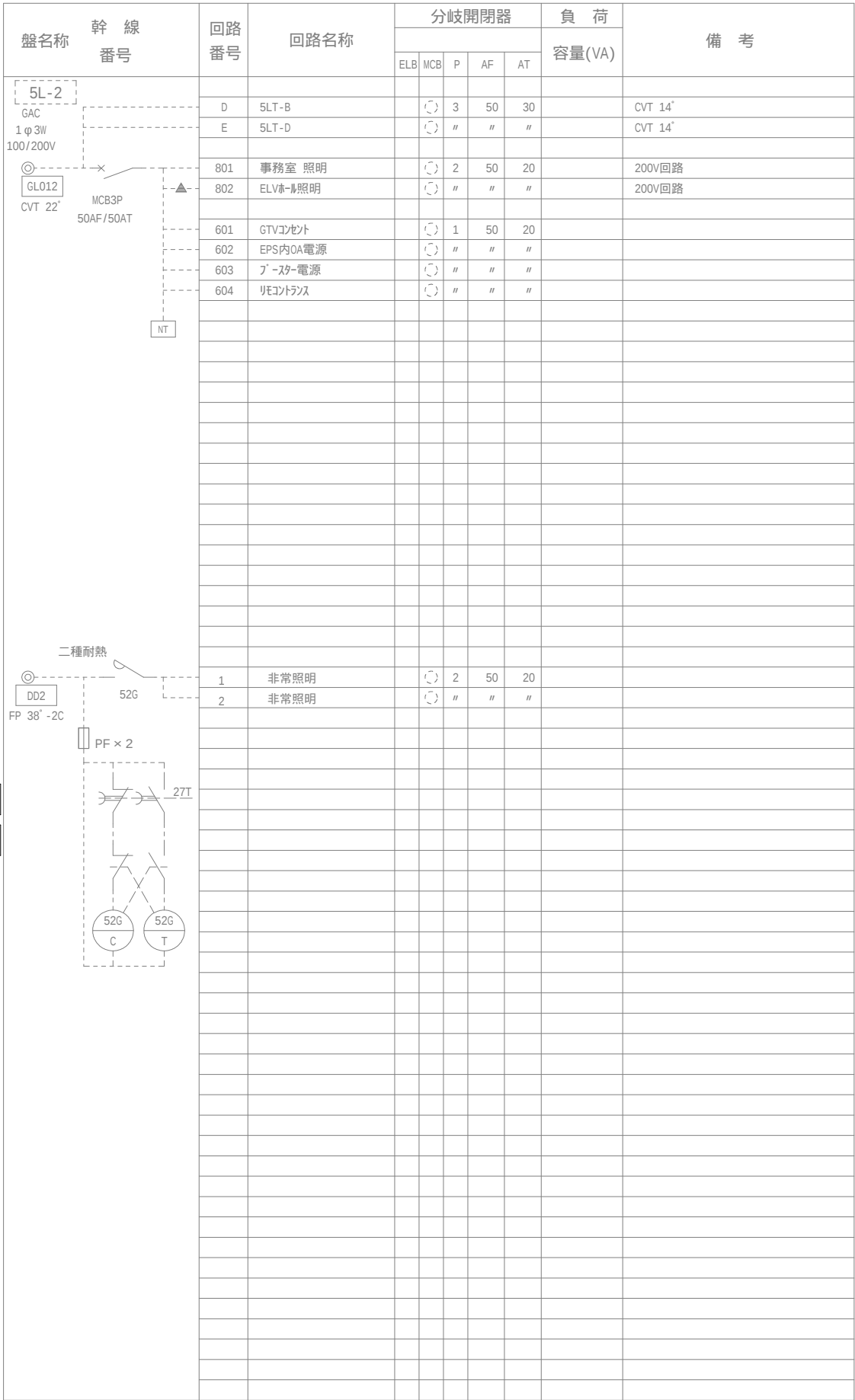
[illegible]

特記仕様	株式会社 木下建築設計事務所 611 - 0 0 2 6 京都府宇治市開町 3 7 - 1 0 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野幹生	製図年月日 R07.01			建 築 主 本庁舎洋式トイレ温水洗浄機能化改修工事		縮 尺	図面番号
		訂正年月日			工 事 名 称			N o E-19 号図
		監修			設計	製図	図面名称	
					分電盤結線図（8）			
								枚ノ内

分電盤標準結線図



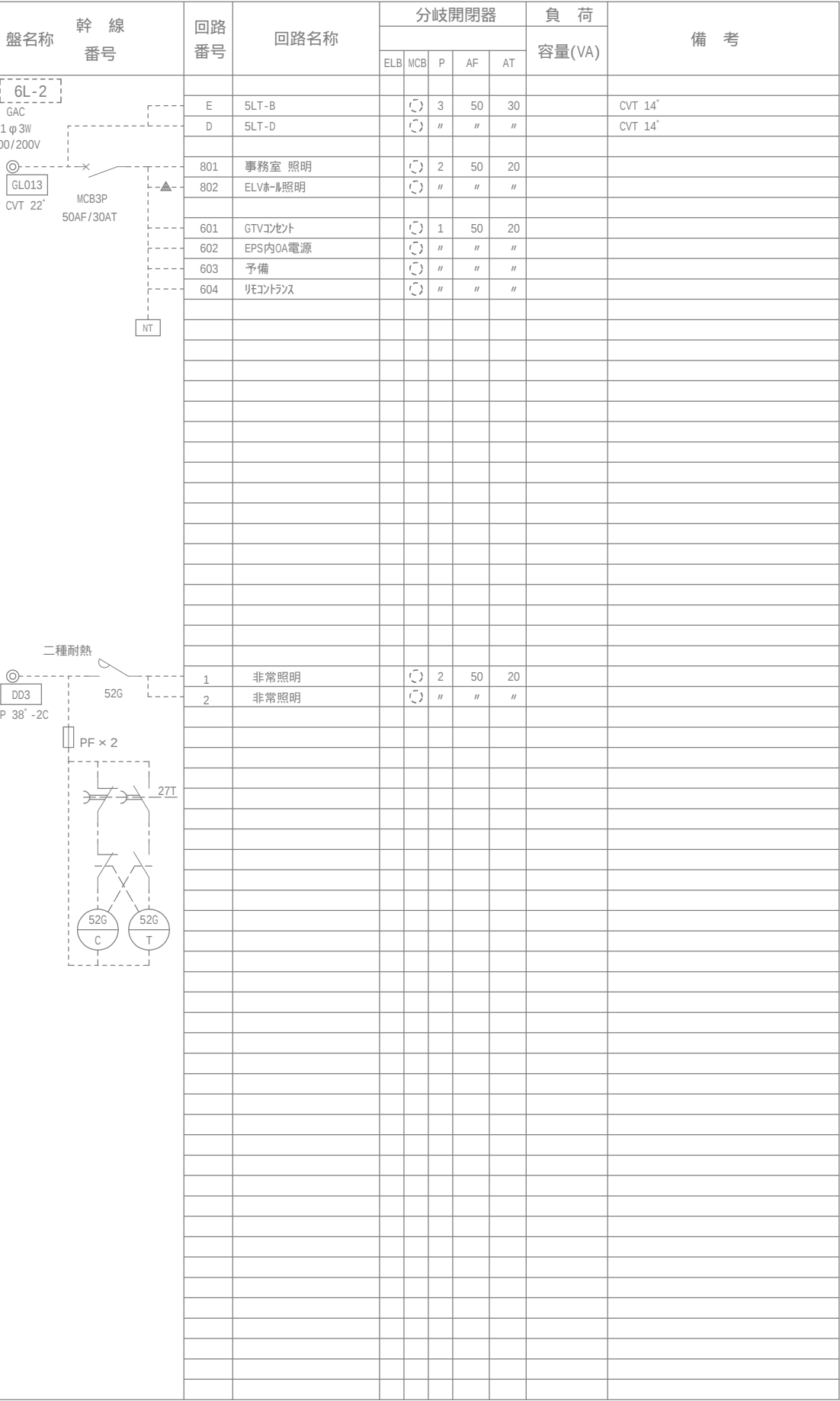
図記号	名 称	備 考
	MCCB	
	ELCB	
	電磁接触器	
	2 4 時間タイマ -	停電補償付
	自動点滅器	AC 100V
	リモコンリレ -	1P(2P)20A
	AC 100V 誘導灯 回路	
	AC 100V 誘導灯 回路	
	AC 100V 電 灯 回 路	
	AC 200V 電 灯 回 路	
	AC 100V コンセント回路	
	AC 200V コンセント回路	
	AC 100V ファンコイル回路	
	GAC 100V コンセント回路	
	GAC 100V 電 灯 回 路	
	GAC 200V 電 灯 回 路	
	積算電力量計	パルス発信機、検定付

[illegible]

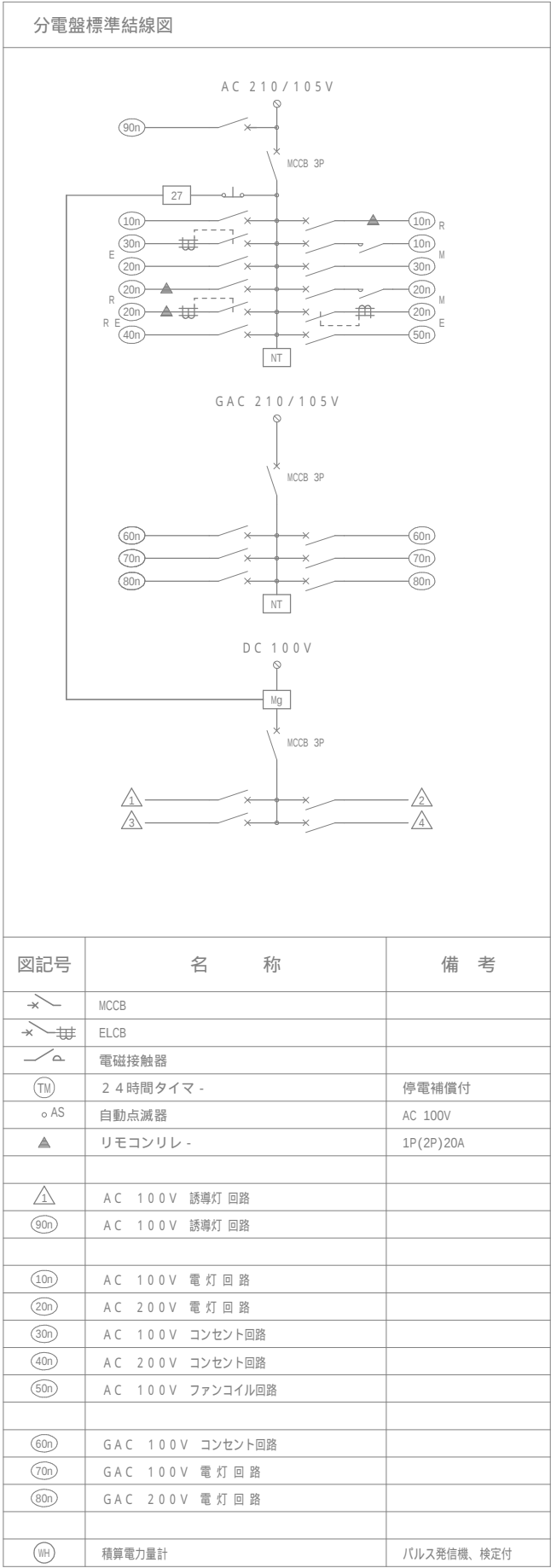
特記仕様	株式会社 木下建築設計事務所 611 - 0 0 2 6 京都府宇治市開町 3 7 - 1 0 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野幹生	製図年月日 R07.01			建 築 主 本庁舎洋式トイレ温水洗浄機能化改修工事		縮 尺	図面番号
		訂正年月日			工 事 名 称			N o E - 2 0 号 図
		監修			設計	製図	図面名称	
					分電盤結線図（9）			枚ノ内

分電盤標準結線図

図記号	名 称	備 考
	MCCB	
	ELCB	
	電磁接触器	
	24時間タイマ -	停電補償付
	自動点滅器	AC 100V
	リモコンリレ -	1P(2P)20A
	AC 100V 誘導灯 回路	
	AC 100V 誘導灯 回路	
	AC 100V 電灯 回路	
	AC 200V 電灯 回路	
	AC 100V コンセント回路	
	AC 200V コンセント回路	
	AC 100V ファンコイル回路	
	GAC 100V コンセント回路	
	GAC 100V 電灯 回路	
	GAC 200V 電灯 回路	
	積算電力量計	パルス発信機、検定付

[illegible]

特記仕様	株式会社 木下建築設計事務所 611-0026 京都府宇治市開町37-10 一級建築士登録 第125477号 TEL (0774) 41-6514 FAX (0774) 44-1080 細野幹生	製図年月日 R07.01			建 築 主 工 事 名 称 本庁舎洋式トイレ温水洗浄機能化改修工事	縮 尺	図面番号
		訂正年月日					No E-21 号図
		監修	設計	製図	図面名称 分電盤結線図(10)		
							枚ノ内



盤名称 幹 線 番号	回路 番号	回路名称	分岐開閉器					負 荷 容量(VA)	備 考
			ELB	MCB	P	AF	AT		
8L-1									
	201	PS機械室照明			2	50	20		200V回路
	202	ELVホ-ル照明			"	"	"		200V回路
	203	倉庫・保健室照明			"	"	"		200V回路
	204	農業委員会 照明			"	"	"		200V回路
	205	PH倉庫照明			"	"	"		200V回路
	206	PH・ELVホ-ル照明			"	"	"		200V回路
	207	予備			"	"	"		200V回路
	208	予備			"	"	"		200V回路
	209	予備			"	"	"		200V回路
	210	予備			"	"	"		200V回路
	211	予備			"	"	"		200V回路
	212	予備			"	"	"		200V回路
	401	湯沸室温水器			"	"	"		200V回路
	402	予備			"	"	"		200V回路
	101	湯沸・便所照明			1	"	"		
	102	大会議室照明			"	"	"		
	103	大会議室照明			"	"	"		
	104	大会議室照明			"	"	"		
	105	大会議室照明			"	"	"		
	106	予備			"	"	"		
	301	便所電源			2	50	20		
	302	冷蔵庫			"	"	"		
	303	電磁パ 裃			"	"	"		
	304	保健室湯沸器			"	"	"		
	305	EPS・機械室			1	"	"		
	306	北'-室コンセント			"	"	"		
	307	北'-室コンセント			"	"	"		
	308	予備			"	"	"		
	309	予備			"	"	"		
	310	PHコンセント			"	"	"		
	311	PH外部コンセント			2	"	"		
	312	予備			1	"	"		
	313	予備			"	"	"		
	314	予備			"	"	"		
	315	予備			"	"	"		
	316	身障者便所コンセント			2	50	20	1261	撤去・新設
NT									
	501	保健室ファンコイル			1	50	20		
	502	予備			"	"	"		
	503	農業委員会Hタイ			"	"	"		
	504	予備			"	"	"		
	505	屋上TD盤			"	"	"		
	506	不明			"	"	"		

盤名称 幹 線 番号	回路 番号	回路名称	分岐開閉器					負 荷 容量(VA)	備 考
			ELB	MCB	P	AF	AT		
8L-1									
	A	8L-A			3	50	30		IV 14'
	B	8L-B			"	"	"		IV 14'
	C	8L-C			"	"	"		IV 14'
	D	8L-D			"	"	"		IV 14'
	801	事務室GAC照明			2	50	20		
	802	予備			"	"	"		
	601	事務室GAC照明			1	50	20		
	602	予備			"	"	"		
	603	EPS・OA用電源			"	"	"		
	604	EPS・OA用電源			"	"	"		
	605	GTVコンセント			"	"	"		
	606	トイレ警報			"	"	"		
	607	リモコンラジオ			"	"	"		
	608				"	"	"		
NT									
イ		8L-A			3	50	30		IV 14'
	ロ	8L-B			"	"	"		IV 14'
	ハ	8L-C			"	"	"		IV 14'
	ニ	8L-D			"	"	"		IV 14'
1		非常照明			2	50	20		
	2	非常照明			"	"	"		
FP 38'-2C									